

# 村上市人権に関する市民意識調査 結果報告書

令和3年(2021年)4月

村 上 市  
村上市教育委員会

# 目 次

I	調査の概要	1
II	調査の結果と分析	
	1 人権全般について(問1～問6)	3
	2 女性の人権について(問7、問8)	12
	3 子どもの人権について(問9～問11)	14
	4 高齢者の人権について(問12、問13)	18
	5 障がいのある人の人権について(問14、問15)	21
	6 同和問題(部落差別問題)について(問16～問27)	24
	7 外国籍住民の人権について(問28、問29)	44
	8 インターネットによる人権侵害について(問30、問31)	46
	9 LGBT(性的少数者)の人権について(問32、問33)	49
	10 身元調査について(問34、問35)	51
	11 差別を解消するための法律について(問36)	53
	12 人権問題に関する講演会・研修会について(問37～問40)	56
	13 人権問題に関するご意見・ご要望(問41～問43)	60
III	調査結果のまとめ	68

## I 調査の概要

### 1. 目的

村上市民の人権問題に対する意識を把握し、「第2次村上市人権教育・啓発推進計画」の策定と、今後の人権教育・啓発の施策を推進するための基礎資料とする。

### 2. 調査方法等

#### (1) 調査時期（基準日）

令和2年10月1日（調査期間10月1日～31日）

#### (2) 調査対象及び区分

調査対象は、村上市住民基本台帳を基に18歳以上の2,000人を無作為に抽出した。集計については、全体・男女別・年代別（20代（18歳～29歳）、30代、40代、50代、60代、70代以上の6階層）に分類した。

#### (3) 調査票の発送及び回収

調査票は、郵送により発送し、郵送による回収を行った。

#### (4) 調査の内容

2011年（平成23年）実施の「人権に関する市民意識調査」及び他市の意識調査等を参考に設問を設け実施した。

### 3. 報告書の見方について

(1) 回答比率（％）は、その質問の回答者数を基数として算出した。

(2) 集計結果はすべて、小数点第2以下を四捨五入して算出しており、比率の合計が100%にならない場合がある。

(3) 複数回答の場合は、選択ごとの割合を合計すると100%を超えている場合がある。

(4) 2011年（平成23年）に実施した調査から継続する設問については、比較を行った。

4. 地区別、年代別、男女別の回答状況

年代	性別	村上地域			荒川地域			神林地域			朝日地域			山北地域			不明			合計			
		対象	回答	回答率	対象	回答	回答率	対象	回答	回答率	対象	回答	回答率	対象	回答	回答率	対象	回答	回答率	対象	回答	回答率	
18～29歳	男	52	22	42.3%	20	9	45.0%	15	4	26.7%	17	5	29.4%	7	3	42.9%	/	0	/	111	43	38.7%	
	女	46	22	47.8%	17	8	47.1%	13	5	38.5%	13	3	23.1%	7	4	57.1%				96	42	43.8%	
	不明	/	1	/	/	0	/	/	0	/	/	0	/	/	0	/				0	/	1	/
	計	98	45	45.9%	37	17	45.9%	28	9	32.1%	30	8	26.7%	14	7	50.0%				207	86	41.5%	
30～39歳	男	44	18	40.9%	20	8	40.0%	16	7	43.8%	14	5	35.7%	6	2	33.3%	/	0	/	100	40	40.0%	
	女	41	20	48.8%	18	12	66.7%	13	3	23.1%	11	6	54.5%	5	2	40.0%				88	43	48.9%	
	不明	/	1	/	/	0	/	/	0	/	/	0	/	/	0	/				0	/	1	/
	計	85	39	45.9%	38	20	52.6%	29	10	34.5%	25	11	44.0%	11	4	36.4%				188	84	44.7%	
40～49歳	男	67	29	43.3%	24	8	33.3%	21	8	38.1%	19	5	26.3%	10	3	30.0%	/	0	/	141	53	37.6%	
	女	63	33	52.4%	24	13	54.2%	18	6	33.3%	17	7	41.2%	9	2	22.2%				131	61	46.6%	
	不明	/	2	/	/	2	/	/	0	/	/	0	/	/	0	/				0	/	4	/
	計	130	64	49.2%	48	23	47.9%	39	14	35.9%	36	12	33.3%	19	5	26.3%				272	118	43.4%	
50～59歳	男	66	24	36.4%	24	9	37.5%	20	10	50.0%	23	12	52.2%	14	5	35.7%	/	0	/	147	60	40.8%	
	女	65	40	61.5%	24	15	62.5%	21	14	66.7%	21	6	28.6%	12	6	50.0%				143	81	56.6%	
	不明	/	0	/	/	0	/	/	1	/	/	1	/	/	1	/				0	/	3	/
	計	131	64	48.9%	48	24	50.0%	41	25	61.0%	44	19	43.2%	26	12	46.2%				290	144	49.7%	
60～69歳	男	69	48	69.6%	30	21	70.0%	28	15	53.6%	31	13	41.9%	19	12	63.2%	/	0	/	177	109	61.6%	
	女	75	44	58.7%	32	21	65.6%	27	21	77.8%	29	15	51.7%	18	13	72.2%				181	114	63.0%	
	不明	/	2	/	/	1	/	/	1	/	/	1	/	/	0	/				0	/	5	/
	計	144	94	65.3%	62	43	69.4%	55	37	67.3%	60	29	48.3%	37	25	67.6%				358	228	63.7%	
70歳以上	男	118	74	62.7%	42	27	64.3%	39	17	43.6%	44	22	50.0%	31	22	71.0%	/	0	/	274	162	59.1%	
	女	173	97	56.1%	59	34	57.6%	58	27	46.6%	69	31	44.9%	52	19	36.5%				411	208	50.6%	
	不明	/	3	/	/	2	/	/	2	/	/	3	/	/	2	/				0	/	12	/
	計	291	174	59.8%	101	63	62.4%	97	46	47.4%	113	56	49.6%	83	43	51.8%				685	382	55.8%	
不明	男	/	0	/	/	0	/	/	0	/	/	1	/	/	0	/	/	0	/	1	/		
	女	/	0	/	/	0	/	/	0	/	/	1	/	/	0	/	/	0	/	1	/		
	不明	/	0	/	/	0	/	/	0	/	/	0	/	/	0	/	/	14	/	14	/		
	計	/	0	/	/	0	/	/	0	/	/	2	/	/	0	/	/	14	/	16	/		
合計	男	416	215	51.7%	160	82	51.3%	139	61	43.9%	148	63	42.6%	87	47	54.0%	/	0	/	950	468	49.3%	
	女	463	256	55.3%	174	103	59.2%	150	76	50.7%	160	69	43.1%	103	46	44.7%				1,050	550	52.4%	
	不明	/	9	/	/	5	/	/	4	/	/	5	/	/	3	/				14	/	40	/
	計	879	480	54.6%	334	190	56.9%	289	141	48.8%	308	137	44.5%	190	96	50.5%				2,000	1,058	52.9%	

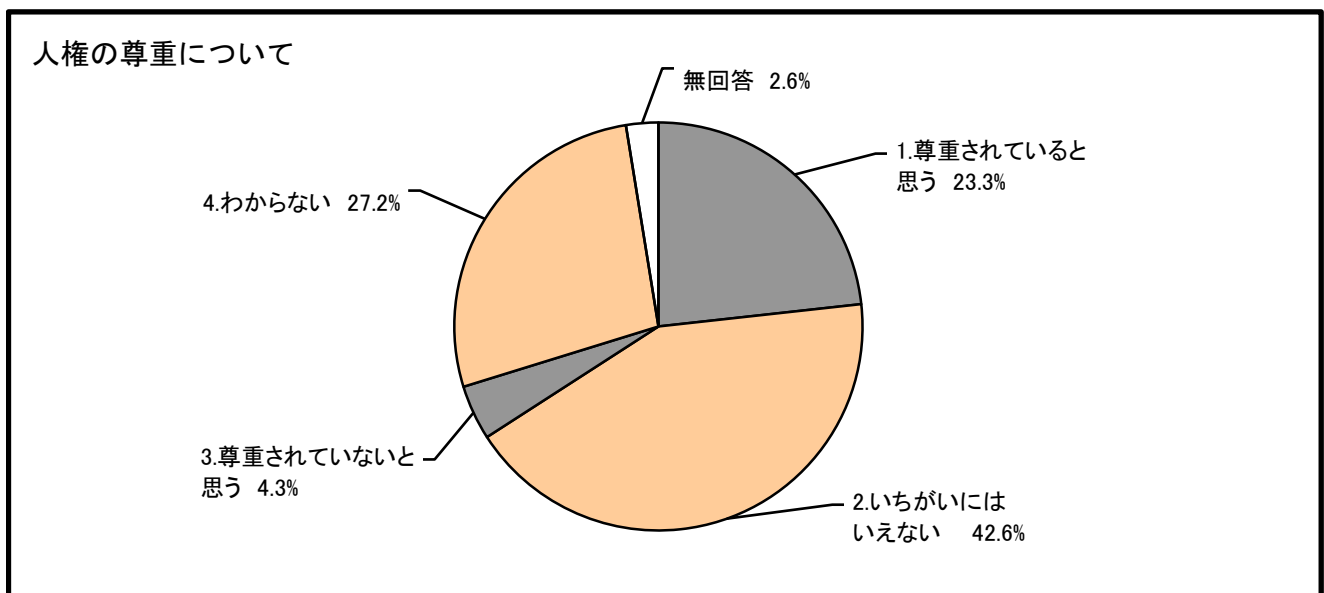
## Ⅱ 調査の結果と分析

### 1 人権全般について

問1 村上市は、人権が尊重されている市だと思いますか。（○は1つだけ）

番号	区 分	村上市 (2020)	村上市 (2011)
1	尊重されていると思う	23.3%	18.7%
2	いちがいいにはいけない	42.6%	48.9%
3	尊重されていないと思う	4.3%	4.3%
4	わからない	27.2%	27.1%
	無回答	2.6%	1.0%

区分	全体	男	女	不明	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明
回答者数	1,058人	468人	550人	40人	86人	84人	118人	144人	228人	382人	16人
1	23.3%	24.6%	23.5%	5.0%	30.2%	25.0%	18.6%	21.5%	16.7%	27.7%	12.5%
2	42.6%	44.0%	42.2%	32.5%	32.6%	40.5%	41.5%	46.5%	49.6%	41.4%	12.5%
3	4.3%	4.9%	3.8%	5.0%	5.8%	6.0%	3.4%	6.3%	4.4%	3.4%	0.0%
4	27.2%	25.9%	28.0%	32.5%	29.1%	28.6%	35.6%	24.3%	28.1%	25.1%	12.5%
無回答	2.6%	0.6%	2.5%	25.0%	2.3%	0.0%	0.8%	1.4%	1.3%	2.4%	62.5%



#### <全体結果>

人権の尊重については、「いちがいいにはいけない」と思っている人の割合が最も高く、4割強を占めている。一方、「わからない」と思っている人も3割弱を占めている。前回の調査と比べ、「尊重されていると思う」がやや増加し、「いちがいいにはいけない」は減少している。

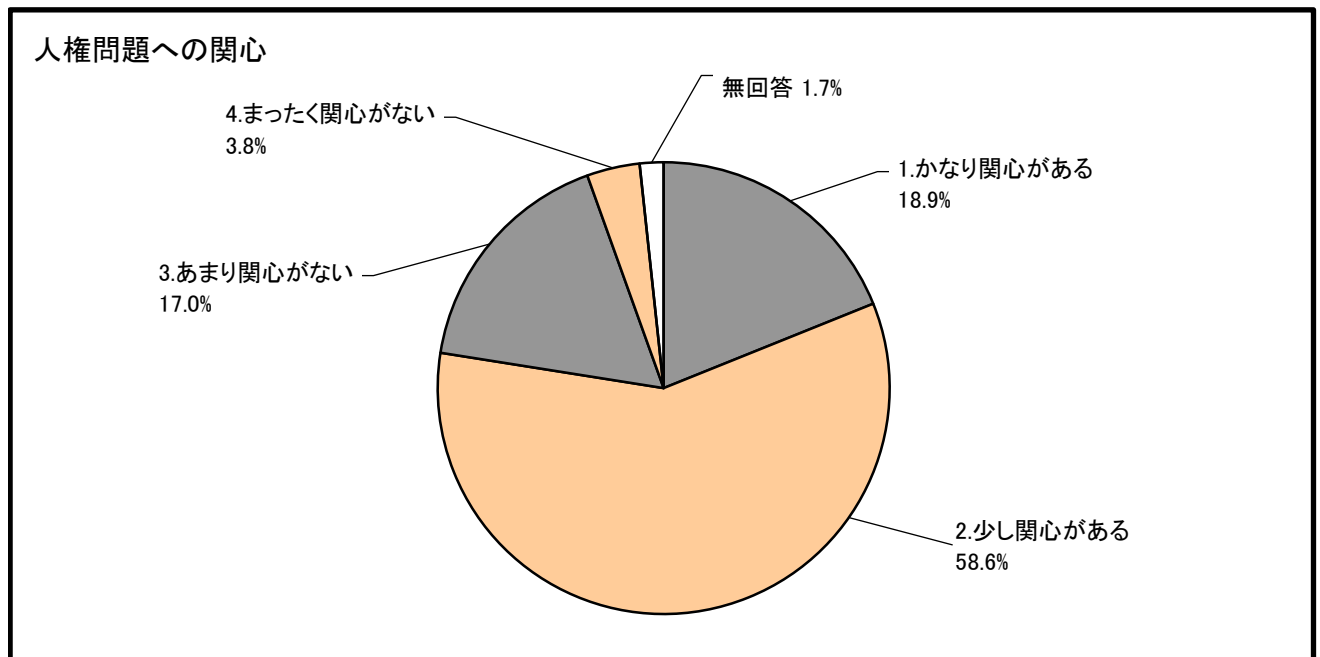
#### <性別・年代別>

男女別では、特に大きな差は見られない。年代別では、「尊重されていると思う」と感じている人は、20代で約3割と最も高く、60代で2割弱と最も低くなっている。

問2 あなたは、人権や差別問題にどの程度関心を持っていますか。(○は1つだけ)

番号	区 分	村上市 (2020)	村上市 (2011)
1	かなり関心がある	18.9%	15.3%
2	少し関心がある	58.6%	57.4%
3	あまり関心がない	17.0%	22.4%
4	まったく関心がない	3.8%	4.0%
	無回答	1.7%	0.9%

区分	全体	男	女	不明	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明
回答者数	1,058人	468人	550人	40人	86人	84人	118人	144人	228人	382人	16人
1	18.9%	21.2%	18.0%	5.0%	18.6%	16.7%	16.9%	15.3%	20.2%	21.5%	0.0%
2	58.6%	59.4%	58.7%	47.5%	61.6%	63.1%	65.3%	63.9%	59.6%	53.7%	25.0%
3	17.0%	16.2%	17.8%	15.0%	15.1%	20.2%	14.4%	18.8%	15.8%	18.1%	6.3%
4	3.8%	3.0%	4.4%	5.0%	2.3%	0.0%	3.4%	2.1%	4.4%	5.2%	6.3%
無回答	1.7%	0.2%	1.1%	27.5%	2.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.6%	62.5%



### <全体結果>

人権問題への関心については、「かなり関心がある」と「少し関心がある」の合計の割合が高く、8割弱を占めている。前回の調査と比べ、「かなり関心がある」と「少し関心がある」の合計の割合は、4.8%増加している。

### <性別・年代別>

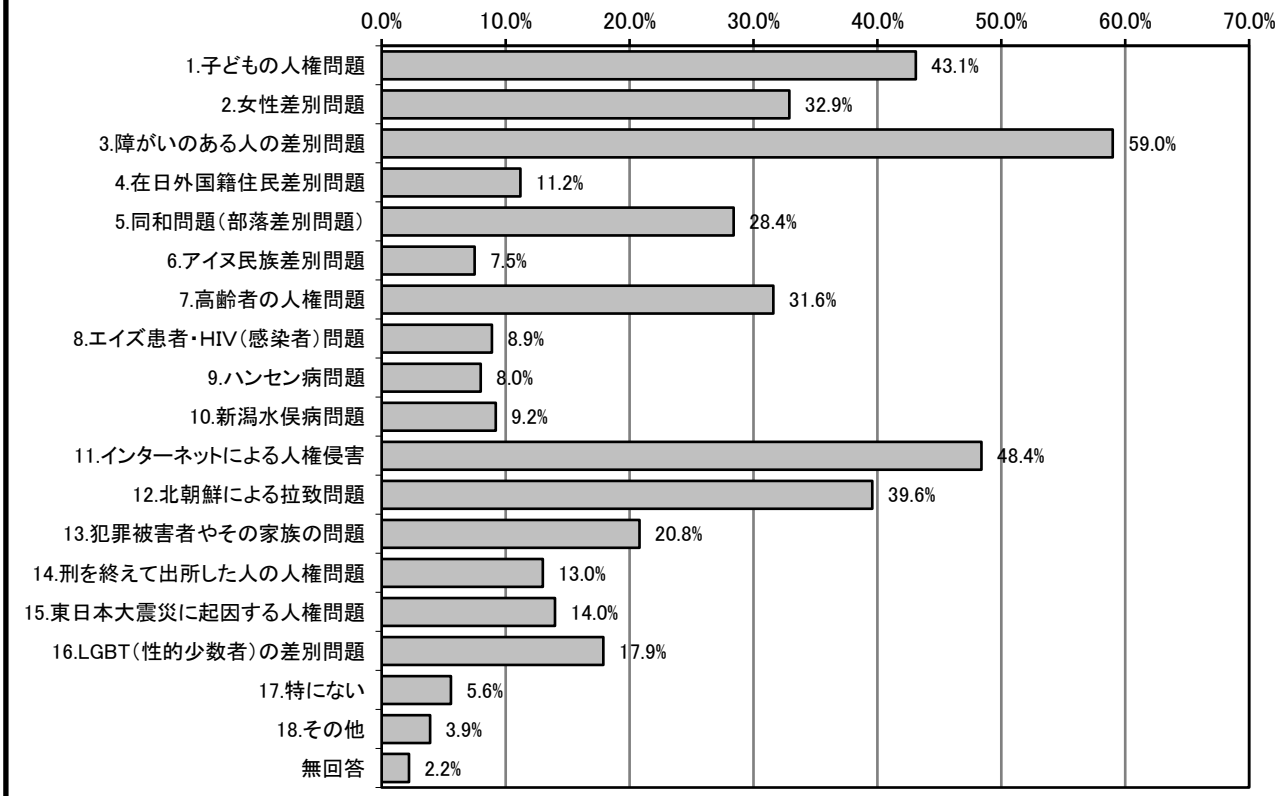
男女別では、「かなり関心がある」と「少し関心がある」の合計の割合は、男性が約8割で女性よりやや高くなっている。年代別では、「かなり関心がある」と「少し関心がある」の合計の割合は、20代と40代で高く、8割を超えている。

問3 問2で1～3と答えた方にお聞きします。基本的人権に関わる次の問題のうち、関心があるものすべてを選んでください。(あてはまるものすべてに○)

番号	区 分	村上市 (2020)	村上市 (2011)
1	子どもの人権問題	43.1%	39.4%
2	女性差別問題	32.9%	26.7%
3	障がいのある人の差別問題	59.0%	49.8%
4	在日外国籍住民差別問題	11.2%	8.4%
5	同和問題(部落差別問題)	28.4%	25.2%
6	アイヌ民族差別問題	7.5%	4.0%
7	高齢者の人権問題	31.6%	34.0%
8	エイズ患者・HIV(感染者)問題	8.9%	11.3%
9	ハンセン病問題	8.0%	5.2%
10	新潟水俣病問題	9.2%	7.4%
11	インターネットによる人権侵害	48.4%	17.5%
12	北朝鮮による拉致問題	39.6%	49.3%
13	犯罪被害者やその家族の問題	20.8%	21.6%
14	刑を終えて出所した人の人権問題	13.0%	
15	東日本大震災に起因する人権問題	14.0%	
16	LGBT(性的少数者)の差別問題	17.9%	
17	特になし	5.6%	5.4%
18	その他	3.9%	1.0%
	無回答	2.2%	4.1%

区分	全体	男	女	不明	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明
回答者数	1,000人	453人	520人	27人	82人	84人	114人	141人	218人	356人	5人
1	43.1%	42.8%	43.7%	37.0%	41.5%	54.8%	49.1%	45.4%	42.7%	38.2%	40.0%
2	32.9%	29.8%	35.2%	40.7%	50.0%	40.5%	38.6%	32.6%	28.4%	28.4%	20.0%
3	59.0%	62.7%	56.0%	55.6%	72.0%	54.8%	51.8%	61.7%	61.0%	53.9%	80.0%
4	11.2%	13.9%	9.0%	7.4%	12.2%	8.3%	13.2%	8.5%	10.6%	12.4%	20.0%
5	28.4%	29.1%	27.7%	29.6%	28.0%	20.2%	27.2%	33.3%	33.9%	25.6%	20.0%
6	7.5%	8.2%	6.9%	7.4%	7.3%	1.2%	7.0%	7.8%	7.8%	9.0%	0.0%
7	31.6%	30.2%	32.9%	29.6%	20.7%	15.5%	21.9%	24.1%	27.1%	45.5%	40.0%
8	8.9%	9.9%	7.9%	11.1%	18.3%	8.3%	7.9%	6.4%	6.9%	9.3%	20.0%
9	8.0%	7.9%	7.5%	18.5%	7.3%	2.4%	7.0%	5.0%	7.8%	11.2%	0.0%
10	9.2%	9.7%	8.5%	14.8%	13.4%	6.0%	8.8%	6.4%	7.8%	12.1%	0.0%
11	48.4%	51.2%	46.0%	48.1%	64.6%	57.1%	54.4%	64.5%	50.5%	33.1%	40.0%
12	39.6%	41.3%	37.5%	51.9%	28.0%	27.4%	22.8%	32.6%	46.8%	50.0%	40.0%
13	20.8%	21.9%	19.2%	33.3%	26.8%	23.8%	21.1%	17.0%	24.3%	17.7%	40.0%
14	13.0%	14.3%	11.5%	18.5%	17.1%	14.3%	9.6%	10.6%	13.8%	13.2%	20.0%
15	14.0%	16.3%	11.3%	25.9%	17.1%	13.1%	10.5%	9.9%	13.3%	12.1%	20.0%
16	17.9%	16.3%	18.7%	29.6%	34.1%	34.5%	18.4%	14.2%	17.4%	5.6%	40.0%
17	5.6%	5.7%	5.6%	3.7%	6.1%	4.8%	4.4%	12.8%	22.0%	21.3%	80.0%
18	3.9%	3.5%	4.4%	0.0%	6.1%	7.1%	6.1%	17.0%	18.3%	6.2%	40.0%
無回答	2.2%	2.2%	1.9%	7.4%	1.2%	0.0%	2.6%	0.7%	0.5%	4.5%	0.0%

## 関心のある人権問題



### <全体結果>

関心のある人権問題については、「障がいのある人の差別問題」が最も多く6割弱となっている。次いで、「インターネットによる人権侵害」、「子どもの人権問題」が4割台、「北朝鮮による拉致問題」、「女性差別問題」、「高齢者の人権問題」が3割台で続いている。

前回調査と比べ、「インターネットによる人権侵害」は大きく増加し、「北朝鮮による拉致問題」などは減少している。

### <性別・年代別>

男女別では、男性は「障がいのある人の差別問題」などの割合が女性より高くなっているが、女性は「女性差別問題」などが男性より高くなっている。

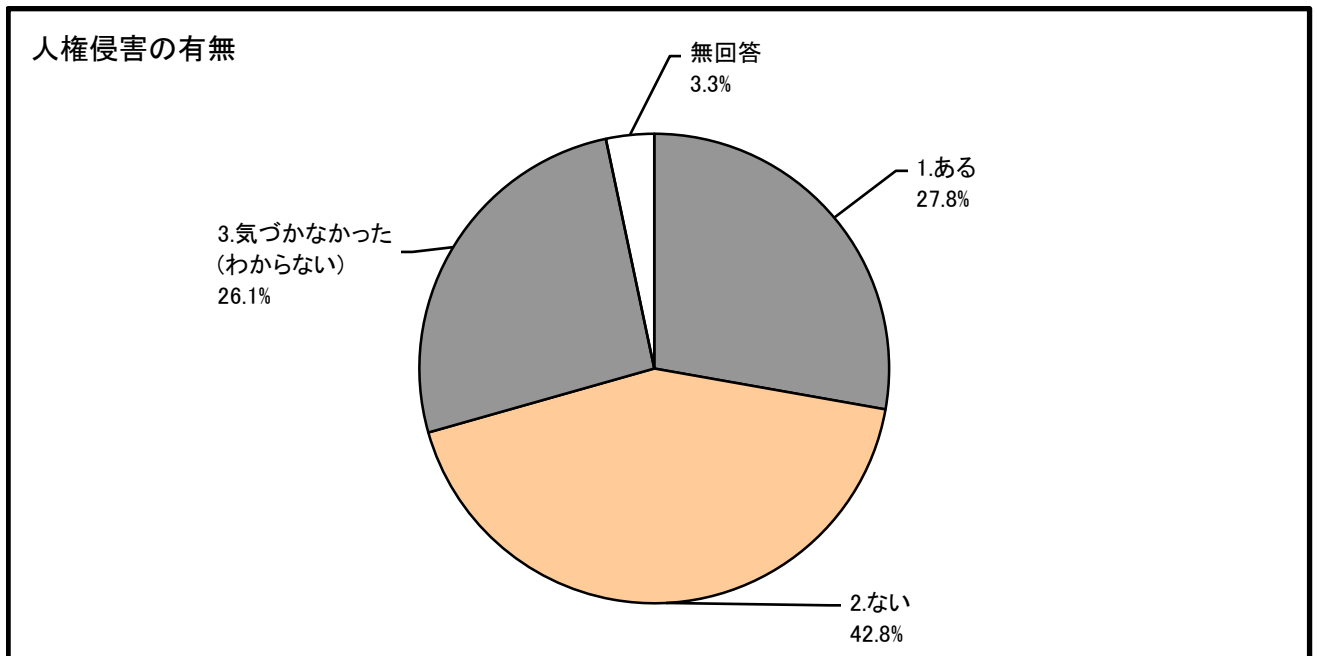
年代別では、20代と30代では「女性差別問題」、20代では「障がいのある人の差別問題」、50代と60代では「同和問題(部落差別問題)」、70代では「高齢者の人権問題」、60代と70代では「北朝鮮による拉致問題」、20代と30代では「LGBT(性的少数者)の差別問題」が、他年齢層よりも高くなっている。



問4 あなたはこれまでに自分の人権が侵害されたと思ったことがありますか。(○は1つだけ)

番号	区 分	村上市 (2020)	村上市 (2011)
1	ある	27.8%	23.0%
2	ない	42.8%	48.2%
3	気づかなかった(わからない)	26.1%	27.8%
	無回答	3.3%	1.0%

区分	全体	男	女	不明	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明
回答者数	1,058人	468人	550人	40人	86人	84人	118人	144人	228人	382人	16人
1	27.8%	24.8%	30.4%	27.5%	41.9%	38.1%	35.6%	34.7%	26.8%	18.6%	12.5%
2	42.8%	42.9%	43.3%	35.0%	29.1%	38.1%	39.0%	43.1%	39.5%	50.0%	43.8%
3	26.1%	28.8%	23.8%	25.0%	25.6%	21.4%	24.6%	20.8%	29.8%	27.5%	25.0%
無回答	3.3%	3.4%	2.5%	12.5%	3.5%	2.4%	0.8%	1.4%	3.9%	3.9%	18.8%



#### <全体結果>

人権侵害の有無については、「ある」の割合が3割弱を占めている。前回の調査と比べ、「ある」の割合は、4.8%増加している。

#### <性別・年代別>

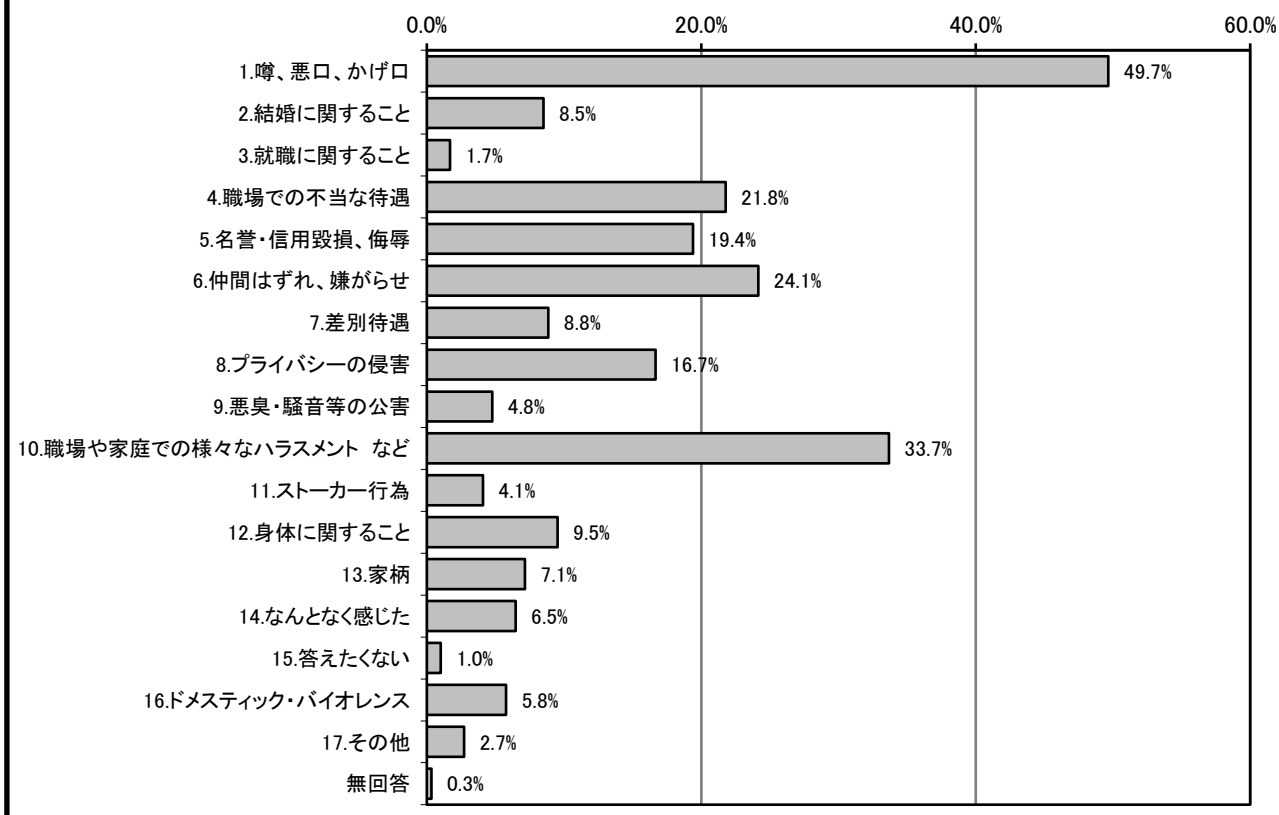
男女別では、「ある」の割合は女性の方が高く、「気づかなかった(わからない)」の割合は男性の方が高くなっている。年代別では、「ある」の割合が20代で高く、4割を超えている。一方、「ない」の割合は、70代で半数となっている。

問5 問4で「1 ある」と答えた人にお聞きします。あなたが受けたと思う人権侵害は、次のどのようなことでしたか。（あてはまるものすべてに○）

番号	区 分	村上市 (2020)	村上市 (2011)
1	噂、悪口、かげ口	49.7%	57.4%
2	結婚に関すること	8.5%	11.1%
3	就職に関すること	1.7%	4.7%
4	職場での不当な待遇	21.8%	23.4%
5	名誉・信用毀損、侮辱	19.4%	25.5%
6	仲間はずれ、嫌がらせ	24.1%	27.2%
7	差別待遇	8.8%	8.5%
8	プライバシーの侵害	16.7%	19.1%
9	悪臭・騒音等の公害	4.8%	6.4%
10	職場や家庭でのセクシャル・ハラスメント、パワー・ハラスメント、モラル・ハラスメント、マタニティ・ハラスメント、パタニティ・ハラスメント など	33.7%	
	セクシャル・ハラスメント(性的いやがらせ)		6.4%
11	ストーカー行為	4.1%	4.7%
12	身体に関すること	9.5%	9.4%
13	家柄	7.1%	9.4%
14	なんとなく感じた	6.5%	6.4%
15	答えたくない	1.0%	3.0%
16	ドメスティック・バイオレンス	5.8%	
17	その他	2.7%	4.3%
	無回答	0.3%	2.1%

区分	全体	男	女	不明	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明
回答者数	294人	116人	167人	11人	36人	32人	42人	50人	61人	71人	2人
1	49.7%	52.6%	49.1%	27.3%	66.7%	59.4%	40.5%	56.0%	44.3%	43.7%	0.0%
2	8.5%	5.2%	11.4%	0.0%	2.8%	9.4%	11.9%	16.0%	6.6%	5.6%	0.0%
3	1.7%	2.6%	1.2%	0.0%	0.0%	3.1%	0.0%	0.0%	3.3%	1.4%	0.0%
4	21.8%	24.1%	20.4%	18.2%	16.7%	37.5%	23.8%	20.0%	24.6%	15.5%	0.0%
5	19.4%	25.9%	15.0%	18.2%	8.3%	18.8%	11.9%	20.0%	23.0%	26.8%	0.0%
6	24.1%	22.4%	25.7%	18.2%	44.4%	25.0%	23.8%	28.0%	13.1%	21.1%	0.0%
7	8.8%	8.6%	7.8%	27.3%	2.8%	9.4%	9.5%	6.0%	9.8%	11.3%	50.0%
8	16.7%	17.2%	16.2%	18.2%	5.6%	15.6%	26.2%	20.0%	14.8%	15.5%	50.0%
9	4.8%	6.9%	4.2%	9.1%	2.8%	0.0%	4.8%	2.0%	9.8%	7.0%	0.0%
10	33.7%	22.4%	41.9%	27.3%	33.3%	46.9%	47.6%	40.0%	32.8%	14.1%	100.0%
11	4.1%	4.3%	4.2%	0.0%	2.8%	3.1%	11.9%	4.0%	1.6%	2.8%	0.0%
12	9.5%	12.9%	7.2%	9.1%	11.1%	12.5%	7.1%	10.0%	6.6%	11.3%	0.0%
13	7.1%	7.8%	7.2%	0.0%	8.3%	6.3%	7.1%	12.0%	6.6%	4.2%	0.0%
14	6.5%	5.2%	7.2%	18.2%	11.1%	3.1%	0.0%	0.0%	9.8%	11.3%	0.0%
15	1.0%	0.9%	0.6%	9.1%	2.8%	0.0%	0.0%	2.0%	0.0%	1.4%	0.0%
16	5.8%	1.7%	9.0%	0.0%	0.0%	9.4%	4.8%	10.0%	8.2%	2.8%	0.0%
17	2.7%	3.4%	1.8%	9.1%	5.6%	0.0%	4.8%	2.0%	3.3%	1.4%	0.0%
無回答	0.3%	0.0%	0.0%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.6%	0.0%	0.0%

## 人権侵害の具体的内容



### <全体結果>

人権侵害の具体的内容としては、「噂、悪口、かげ口」をあげる人が最も多く5割弱となっている。次いで「職場や家庭での様々なハラスメント など」が3割台、「仲間はずれ、嫌がらせ」、「職場での不当な待遇」が2割台で続いている。前回調査と比べ、回答項目を追加及び変更したため全体的に減少している。

### <性別・年代別>

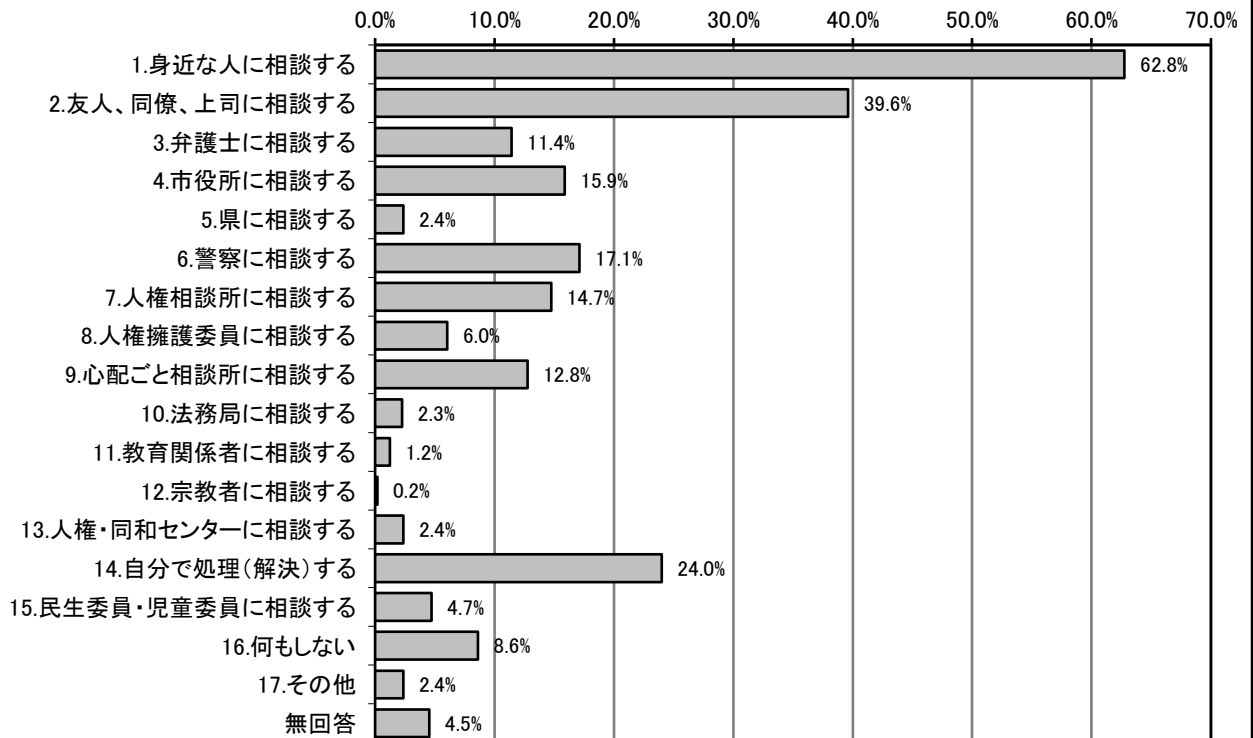
男女別では、「職場や家庭での様々なハラスメント など」の割合が女性は4割を超え、男性を大きく上回っている。「ドメスティック・バイオレンス」の割合も男性より高くなっている。年代別では、「職場での不当な待遇」の割合が30代では4割弱、「仲間はずれ、嫌がらせ」の割合が20代では4割強で、他年代層よりも高くなっている。また、「噂、悪口、かげ口」の割合は20代が高く6割を超えている。

問6 あなたは自分の人権が侵害されたと思った場合には、どのように対応しようと思いますか。  
(あてはまるものすべてに○)

番号	区 分	村上市 (2020)	村上市 (2011)
1	身近な人(両親、兄弟姉妹、子ども、親戚等)に相談する	62.8%	62.7%
2	友人、同僚、上司に相談する	39.6%	33.2%
3	弁護士に相談する	11.4%	11.4%
4	市役所に相談する	15.9%	15.8%
5	県に相談する	2.4%	1.6%
6	警察に相談する	17.1%	13.2%
7	人権相談所に相談する	14.7%	16.2%
8	人権擁護委員に相談する	6.0%	8.7%
9	心配ごと相談所に相談する	12.8%	12.6%
10	法務局に相談する	2.3%	2.4%
11	教育関係者に相談する	1.2%	0.9%
12	宗教者に相談する	0.2%	0.4%
13	人権・同和センターに相談する	2.4%	1.8%
14	自分で処理(解決)する	24.0%	23.2%
15	民生委員・児童委員に相談する	4.7%	
16	何もしない	8.6%	6.3%
17	その他	2.4%	1.2%
	無回答	4.5%	4.9%

区分	全体	男	女	不明	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明
回答者数	1,058人	468人	550人	40人	86人	84人	118人	144人	228人	382人	16人
1	62.8%	53.4%	70.7%	62.5%	68.6%	67.9%	71.2%	70.8%	61.0%	55.8%	62.5%
2	39.6%	36.8%	42.7%	30.0%	57.0%	51.2%	55.1%	49.3%	35.1%	27.7%	31.3%
3	11.4%	15.6%	8.2%	7.5%	8.1%	11.9%	14.4%	12.5%	12.3%	10.7%	0.0%
4	15.9%	19.7%	13.5%	5.0%	4.7%	10.7%	9.3%	13.9%	18.9%	21.2%	0.0%
5	2.4%	3.8%	1.3%	0.0%	1.2%	4.8%	3.4%	4.2%	1.8%	1.6%	0.0%
6	17.1%	20.5%	14.7%	10.0%	9.3%	22.6%	15.3%	17.4%	19.7%	17.3%	0.0%
7	14.7%	16.0%	13.8%	12.5%	7.0%	9.5%	12.7%	13.9%	19.3%	16.2%	6.3%
8	6.0%	8.3%	4.4%	2.5%	0.0%	0.0%	1.7%	3.5%	8.3%	9.9%	0.0%
9	12.8%	10.7%	14.7%	10.0%	4.7%	3.6%	7.6%	11.1%	17.5%	16.0%	12.5%
10	2.3%	3.4%	1.5%	0.0%	1.2%	0.0%	1.7%	2.8%	1.3%	3.7%	0.0%
11	1.2%	1.7%	2.7%	2.5%	4.7%	2.4%	2.5%	0.7%	0.9%	0.3%	0.0%
12	0.2%	0.0%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	2.5%	0.7%	0.4%	0.0%	0.0%
13	2.4%	3.4%	1.6%	0.0%	3.5%	0.0%	3.4%	0.7%	3.1%	2.6%	0.0%
14	24.0%	27.8%	21.6%	12.5%	37.2%	28.6%	28.8%	29.9%	22.4%	17.5%	18.8%
15	4.7%	4.5%	5.3%	0.0%	0.0%	0.0%	1.7%	2.1%	3.5%	9.7%	0.0%
16	8.6%	8.8%	8.2%	12.5%	11.6%	7.1%	7.6%	11.8%	7.5%	8.4%	0.0%
17	2.4%	1.7%	2.7%	5.0%	2.3%	6.0%	1.7%	4.2%	2.2%	1.0%	6.3%
無回答	4.5%	4.5%	4.4%	7.5%	3.5%	2.4%	0.8%	1.4%	4.8%	6.5%	25.0%

## 人権を侵害された場合の対応



### <全体結果>

人権を侵害された場合の対応としては、「身近な人に相談する」が最も多く6割台となっている。次いで「友人、同僚、上司に相談する」が4割弱、「自分で処理(解決)する」が2割台で続いている。前回調査と比べ、「友人、同僚、上司に相談する」が増加している。

### <性別・年代別>

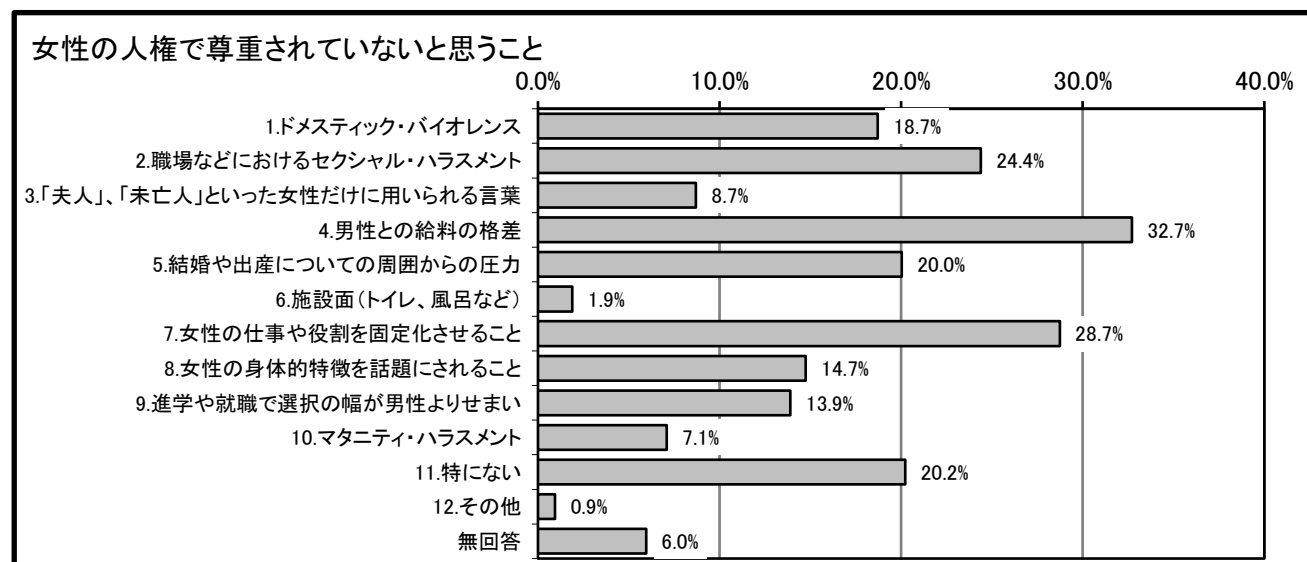
男女別では、「身近な人に相談する」の割合が女性は約7割で、男性より大幅に高くなっている。年代別では、「友人、同僚、上司に相談する」は50代以下で、「市役所に相談する」、「心配ごと相談所に相談する」は60代以上で、「自分で処理(解決)する」は20代で、他年代層よりも高くなっている。

## 2 女性の人権について

問7 女性の人権で尊重されていないと思うことを次の中から選んでください。(○は3つまで)

番号	区 分	村上市 (2020)	村上市 (2011)
1	ドメスティック・バイオレンス 家庭内での夫から妻への暴言・暴力(酒によってなぐるなど) (夫や恋人からの精神的、身体的な暴言・暴力)	18.7%	27.1%
2	職場などにおけるセクシャル・ハラスメント(性的ないやがらせ)	24.4%	18.1%
3	「夫人」、「未亡人」といった女性だけに用いられる言葉	8.7%	9.3%
4	男性との給料の格差	32.7%	27.6%
5	結婚や出産についての周囲からの圧力	20.0%	15.6%
6	施設面(トイレ、風呂など)	1.9%	2.9%
7	女性の仕事や役割を固定化させること	28.7%	28.2%
8	女性の身体的特徴を話題にされること	14.7%	10.4%
9	進学や就職で選択の幅が男性よりせまい	13.9%	15.1%
10	マタニティ・ハラスメント	7.1%	
11	特にない	20.2%	24.3%
12	その他	0.9%	0.7%
	無回答	6.0%	6.0%

区分	全体	男	女	不明	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明
回答者数	1,058人	468人	550人	40人	86人	84人	118人	144人	228人	382人	16人
1	18.7%	20.9%	17.3%	12.5%	22.1%	14.3%	18.6%	24.3%	25.4%	13.1%	12.5%
2	24.4%	29.3%	20.7%	17.5%	33.7%	31.0%	31.4%	31.9%	24.1%	16.5%	12.5%
3	8.7%	8.3%	8.9%	10.0%	3.5%	3.6%	7.6%	9.7%	7.0%	11.5%	18.8%
4	32.7%	34.4%	31.6%	27.5%	36.0%	32.1%	32.2%	32.6%	40.8%	27.7%	25.0%
5	20.0%	17.9%	21.6%	22.5%	31.4%	46.4%	28.8%	23.6%	17.1%	8.9%	31.3%
6	1.9%	2.8%	1.1%	2.5%	0.0%	1.2%	1.7%	1.4%	3.1%	2.1%	0.0%
7	28.7%	30.1%	27.3%	32.5%	25.6%	26.2%	33.1%	27.1%	32.5%	23.3%	50.0%
8	14.7%	12.6%	15.6%	27.5%	14.0%	10.7%	12.7%	22.9%	16.7%	11.8%	25.0%
9	13.9%	14.1%	13.6%	15.0%	16.3%	13.1%	13.6%	11.8%	11.8%	15.4%	18.8%
10	7.1%	8.3%	6.2%	5.0%	18.6%	25.0%	8.5%	8.3%	2.6%	2.4%	6.3%
11	20.2%	20.3%	20.5%	15.0%	12.8%	10.7%	17.8%	13.2%	17.5%	29.6%	6.3%
12	0.9%	0.6%	1.1%	2.5%	2.3%	1.2%	0.0%	1.4%	0.4%	0.8%	6.3%
無回答	6.0%	4.7%	6.5%	12.5%	1.2%	0.0%	0.8%	2.1%	3.5%	12.8%	6.3%



### <全体結果>

女性の人権で尊重されていないと思うことについては、「男性との給料の格差」をあげた人が最も多く3割台となっている。次いで「女性の仕事や役割を固定化させること」、「職場などにおけるセクシャル・ハラスメント」、「特にない」、「結婚や出産についての周囲からの圧力」が2割台で続いている。前回調査と比べ、「男性との給料の格差」、「職場などにおけるセクシャル・ハラスメント(性的ないやがらせ)」などが増加している。

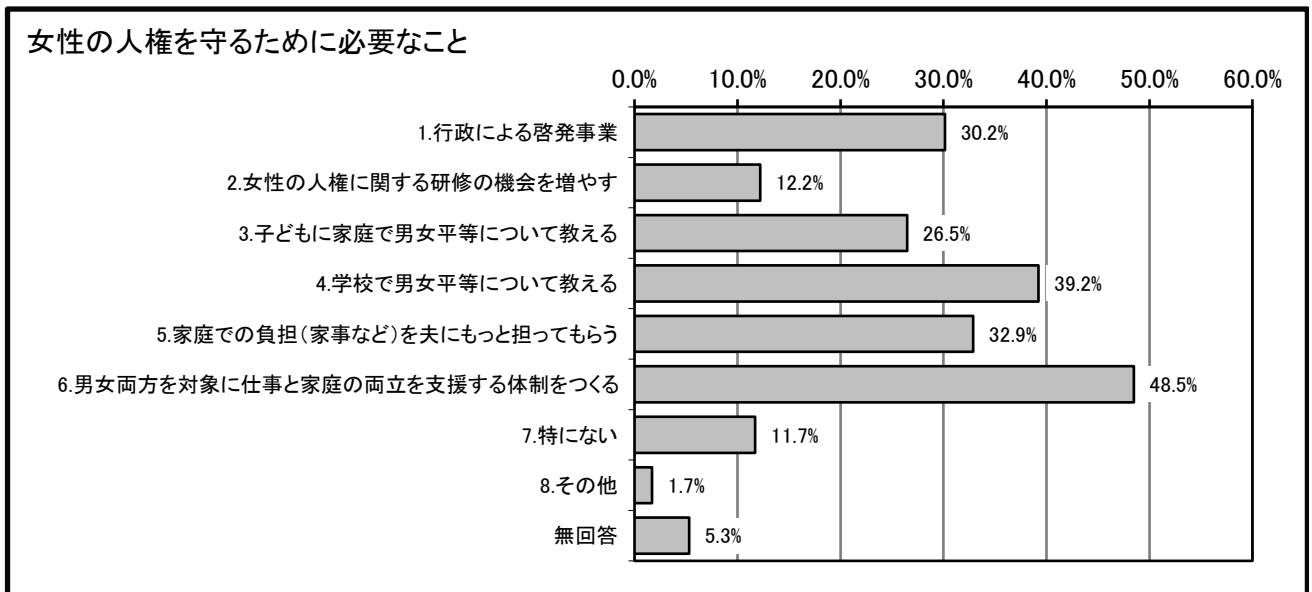
### <性別・年代別>

男女別では、「職場などにおけるセクシャル・ハラスメント(性的ないやがらせ)」の割合が、女性よりも男性の方が高くなっている。年代別では、「結婚や出産についての周囲からの圧力」は30代で、「女性の仕事や役割を固定化させること」は40代と60代で、「マタニティ・ハラスメント」は20代と30代で、「特にない」は70代で、他年代層よりも高くなっている。

問8 女性の人権を守るために必要と思われることを次の中から選んでください。(○は3つまで)

番号	区 分	村上市 (2020)	村上市 (2011)
1	行政による啓発事業	30.2%	26.5%
2	女性の人権に関する研修の機会を増やす	12.2%	13.4%
3	子どもに家庭で男女平等について教える	26.5%	25.7%
4	学校で男女平等について教える	39.2%	31.2%
5	家庭での負担(家事など)を夫にもっと担ってもらう	32.9%	31.4%
6	男性と女性の両方を対象に、仕事と家庭の両立を支援する体制をつくる	48.5%	50.1%
7	特にない	11.7%	16.0%
8	その他	1.7%	0.4%
	無回答	5.3%	4.5%

区分	全体	男	女	不明	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明
回答者数	1,058人	468人	550人	40人	86人	84人	118人	144人	228人	382人	16人
1	30.2%	35.7%	26.7%	12.5%	26.7%	26.2%	35.6%	34.0%	34.2%	27.2%	6.3%
2	12.2%	13.9%	10.9%	10.0%	10.5%	4.8%	15.3%	9.7%	12.7%	14.1%	6.3%
3	26.5%	26.7%	26.4%	25.0%	27.9%	26.2%	23.7%	29.9%	29.4%	23.6%	37.5%
4	39.2%	42.9%	36.7%	30.0%	45.3%	50.0%	36.4%	41.7%	43.9%	33.0%	31.3%
5	32.9%	25.0%	39.6%	32.5%	31.4%	42.9%	34.7%	35.4%	36.4%	27.2%	37.5%
6	48.5%	49.6%	48.2%	40.0%	60.5%	60.7%	58.5%	52.1%	48.2%	39.0%	43.8%
7	11.7%	10.7%	12.7%	10.0%	7.0%	8.3%	7.6%	9.7%	7.5%	18.3%	6.3%
8	1.7%	1.7%	1.6%	2.5%	5.8%	2.4%	3.4%	0.7%	1.3%	0.8%	0.0%
無回答	5.3%	4.9%	4.4%	22.5%	1.2%	1.2%	0.0%	2.8%	5.3%	8.9%	25.0%



### <全体結果>

女性の人権を守るために必要なことについては、「男性と女性の両方を対象に、仕事と家庭の両立を支援する体制をつくる」が最も多く4割台となっている。次いで「学校で男女平等について教える」、「家庭での負担(家事など)を夫にもっと担ってもらう」、「行政による啓発事業」が3割台、「子どもに家庭で男女平等について教える」が2割台で続いている。前回調査と比べ、「学校で男女平等について教える」が増加している。

### <性別・年代別>

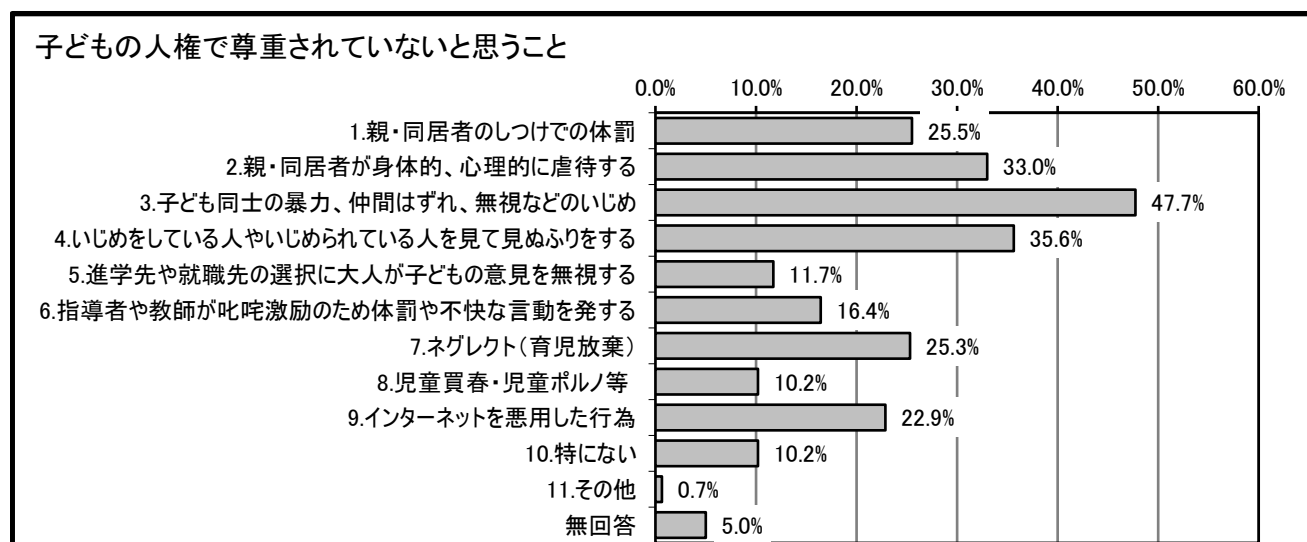
男女別では、「家庭での負担(家事など)を夫にもっと担ってもらう」の割合が女性は高く、男性より大幅に高くなっている。年代別では、「学校で男女平等について教える」の割合は、30代で高く半数となっている。また、各年代とも「男性と女性の両方を対象に、仕事と家庭の両立を支援する体制をつくる」が最も多いが、20代と30代では6割を超えているのに対し、40代と50代では5割、60代では4割、70代では3割になっている。

### 3 子どもの人権について

問9 子どもの人権で尊重されていないと思うことを次の中から選んでください。(〇は3つまで)

番号	区 分	村上市 (2020)	村上市 (2011)
1	親・同居者のしつけでの体罰	25.5%	19.2%
2	親・同居者が身体的、心理的に虐待する	33.0%	33.5%
3	子ども同士の暴力、仲間はずれ、無視などのいじめ	47.7%	45.4%
4	いじめをしている人やいじめられている人を見て見ぬふりをする	35.6%	42.1%
5	進学先や就職先の選択に大人が子どもの意見を無視する	11.7%	11.2%
6	指導者や教師が叱咤激励のため体罰や不快な言動を発する	16.4%	10.9%
7	ネグレクト(育児放棄)	25.3%	21.1%
8	児童買春・児童ポルノ等	10.2%	13.3%
9	インターネットを悪用した行為	22.9%	
10	特にない	10.2%	13.0%
11	その他	0.7%	0.7%
	無回答	5.0%	7.5%

区分	全体	男	女	不明	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明
回答者数	1,058人	468人	550人	40人	86人	84人	118人	144人	228人	382人	16人
1	25.5%	27.4%	24.5%	17.5%	32.6%	23.8%	16.9%	28.5%	32.5%	22.3%	12.5%
2	33.0%	33.8%	33.6%	15.0%	41.9%	44.0%	38.1%	41.7%	38.6%	21.7%	0.0%
3	47.7%	50.0%	45.5%	52.5%	52.3%	42.9%	47.5%	50.0%	57.0%	41.1%	56.3%
4	35.6%	41.0%	31.3%	32.5%	31.4%	35.7%	31.4%	34.7%	39.0%	36.4%	31.3%
5	11.7%	12.6%	11.5%	5.0%	18.6%	22.6%	11.9%	9.0%	10.5%	9.2%	0.0%
6	16.4%	14.7%	18.0%	15.0%	14.0%	28.6%	14.4%	16.0%	14.0%	17.0%	6.3%
7	25.3%	23.5%	26.2%	35.0%	40.7%	28.6%	29.7%	34.7%	22.8%	17.8%	25.0%
8	10.2%	9.4%	10.9%	10.0%	10.5%	14.3%	13.6%	12.5%	10.5%	7.6%	0.0%
9	22.9%	24.4%	21.8%	20.0%	31.4%	26.2%	31.4%	31.3%	21.9%	15.2%	18.8%
10	10.2%	8.1%	11.8%	12.5%	2.3%	2.4%	8.5%	4.2%	5.7%	18.8%	18.8%
11	0.7%	0.6%	0.7%	0.0%	1.2%	0.0%	3.4%	1.4%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	5.0%	2.4%	6.4%	17.5%	1.2%	0.0%	0.8%	3.5%	3.5%	9.2%	18.8%



#### <全体結果>

子どもの人権で尊重されていないと思うことについては、「子ども同士の暴力、仲間はずれ、無視などのいじめ」をあげる人が最も多く4割台となっている。次いで「いじめをしている人やいじめられている人を見て見ぬふりをする」、「親・同居者が身体的、心理的に虐待する」が3割台で続いている。前回調査と比べ、「親・同居者のしつけでの体罰」などが増加し、「いじめをしている人やいじめられている人を見て見ぬふりをする」は減少している。

#### <性別・年代別>

男女別では、「いじめをしている人やいじめられている人を見て見ぬふりをする」の割合が、女性よりも男性の方が高くなっている。年代別では、30代では「指導者や教師が叱咤激励のため体罰や不快な言動を発する」、20代では「ネグレクト(育児放棄)」が、他年代層よりも高くなっている。また、「子ども同士の暴力、仲間はずれ、無視などのいじめ」の割合は、20代と50代、60代で高く半数を超えている。

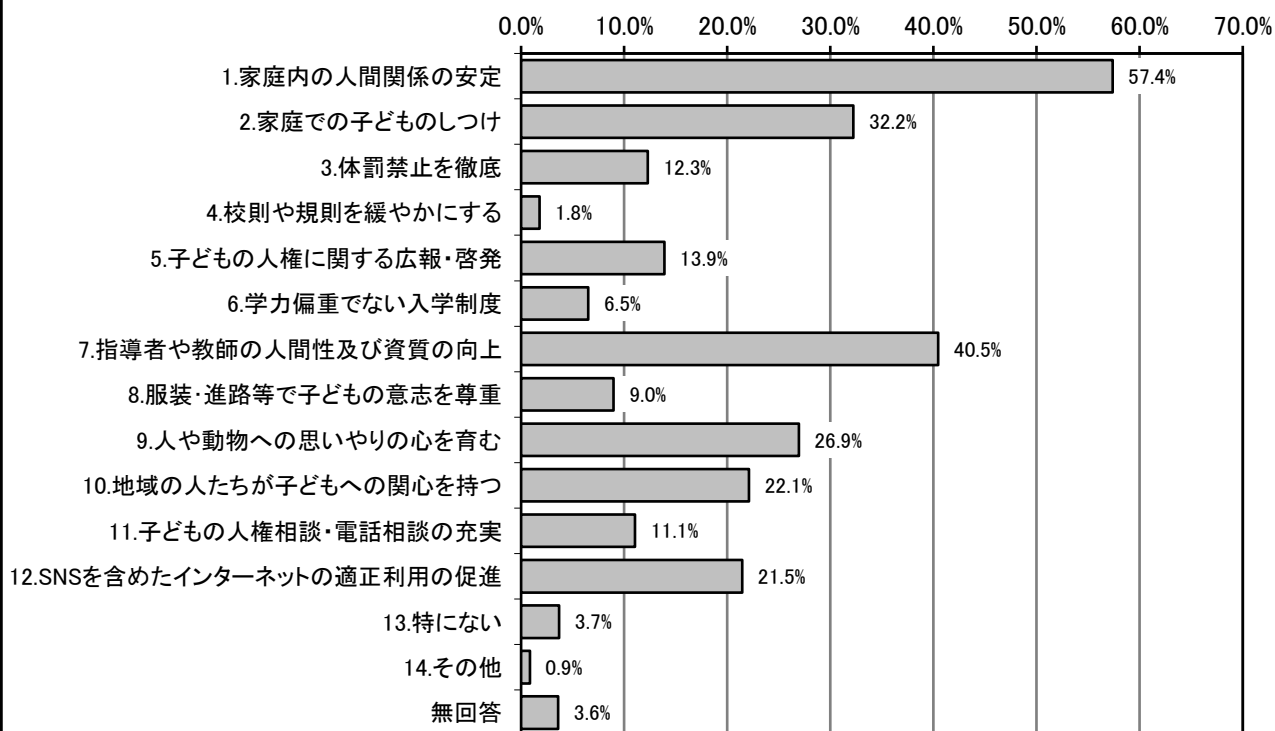


問10 子どもの人権を守るために必要と思われることを次の中から選んでください。（○は3つまで）

番号	区 分	村上市 (2020)	村上市 (2011)
1	家庭内の人間関係の安定	57.4%	59.5%
2	家庭での子どものしつけ	32.2%	45.8%
3	体罰禁止を徹底	12.3%	4.9%
4	校則や規則を緩やかにする	1.8%	0.3%
5	子どもの人権に関する広報・啓発	13.9%	8.8%
6	学力偏重でない入学制度	6.5%	7.9%
7	指導者や教師の人間性及び資質の向上	40.5%	38.6%
8	服装・進路等で子どもの意志を尊重(個性を尊重)	9.0%	5.0%
9	人や動物への思いやりの心を育む	26.9%	34.6%
10	地域の人たちが子どもへの関心を持つ	22.1%	32.0%
11	子どもの人権相談・電話相談の充実	11.1%	6.3%
12	SNSを含めたインターネットの適正利用の促進	21.5%	
13	特にない	3.7%	4.7%
14	その他	0.9%	0.8%
	無回答	3.6%	4.0%

区分	全体	男	女	不明	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明
回答者数	1,058人	468人	550人	40人	86人	84人	118人	144人	228人	382人	16人
1	57.4%	53.0%	61.6%	50.0%	57.0%	61.9%	56.8%	58.3%	53.1%	59.7%	37.5%
2	32.2%	35.0%	30.2%	27.5%	26.7%	25.0%	34.7%	26.4%	32.0%	36.4%	37.5%
3	12.3%	12.4%	12.7%	5.0%	18.6%	10.7%	7.6%	10.4%	13.6%	13.1%	0.0%
4	1.8%	2.4%	1.5%	0.0%	10.5%	3.6%	1.7%	0.7%	0.9%	0.5%	0.0%
5	13.9%	15.2%	13.5%	5.0%	12.8%	8.3%	17.8%	19.4%	17.5%	10.5%	0.0%
6	6.5%	6.2%	6.5%	10.0%	4.7%	8.3%	5.9%	6.9%	7.9%	5.2%	18.8%
7	40.5%	41.5%	39.8%	37.5%	32.6%	38.1%	42.4%	53.5%	42.1%	36.1%	43.8%
8	9.0%	9.8%	7.5%	20.0%	20.9%	23.8%	7.6%	4.9%	4.8%	7.3%	12.5%
9	26.9%	25.4%	29.1%	15.0%	23.3%	32.1%	28.0%	29.2%	29.8%	24.3%	12.5%
10	22.1%	24.1%	20.9%	15.0%	16.3%	19.0%	16.1%	17.4%	28.1%	24.6%	12.5%
11	11.1%	12.0%	10.7%	5.0%	16.3%	9.5%	13.6%	7.6%	11.0%	11.0%	6.3%
12	21.5%	20.5%	22.7%	15.0%	36.0%	34.5%	27.1%	27.8%	21.5%	11.5%	12.5%
13	3.7%	3.4%	3.8%	5.0%	2.3%	2.4%	3.4%	1.4%	2.2%	6.3%	0.0%
14	0.9%	1.5%	0.4%	0.0%	3.5%	1.2%	0.8%	2.1%	0.0%	0.3%	0.0%
無回答	3.6%	2.6%	3.6%	15.0%	1.2%	0.0%	0.8%	2.8%	2.6%	5.8%	25.0%

## 子どもの人権を守るために必要なこと



### <全体結果>

子どもの人権を守るために必要なことについては、「家庭内の人間関係の安定」が最も多く半数を超えている。次いで「指導者や教師の人間性及び資質の向上」が4割台、「家庭での子どものしつけ」が3割台で続いている。前回調査と比べ、回答項目を増やしたため全体的に減少しているが、「体罰禁止を徹底」などが増加し、「家庭での子どものしつけ」が減少している。

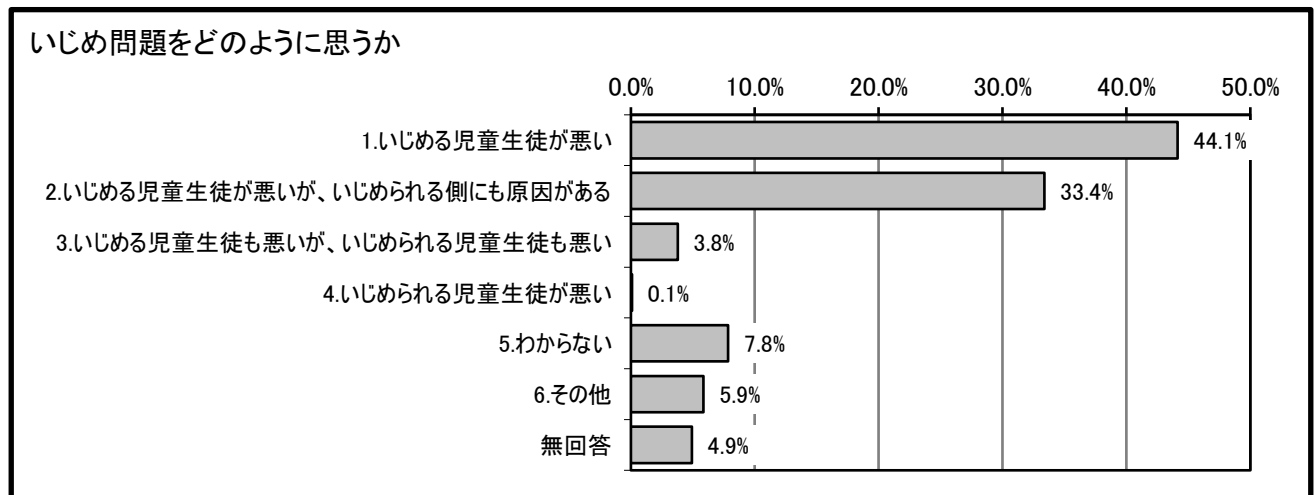
### <性別・年代別>

男女別では、「家庭内の人間関係の安定」の割合が、女性の方が男性よりも高くなっている。年代別では、「服装・進路等で子どもの意志を尊重(個性を尊重)」は20代と30代で、「指導者や教師の人間性及び資質の向上」は40代から60代で他年代層よりも高くなっている。「SNSを含めたインターネットの適正利用の促進」の割合は20代で4割弱となっているが、年代が上がるにしたがい割合が減少している。

問11 あなたは、いじめ問題について、どのように思いますか。(〇は1つだけ)

番号	区 分	村上市 (2020)	村上市 (2011)
1	いじめる児童生徒が悪い	44.1%	35.5%
2	いじめる児童生徒が悪いが、いじめられる側にも原因がある	33.4%	43.5%
3	いじめる児童生徒も悪いが、いじめられる児童生徒も悪い	3.8%	4.6%
4	いじめられる児童生徒が悪い	0.1%	0.4%
5	わからない	7.8%	8.5%
6	その他	5.9%	3.4%
	無回答	4.9%	4.1%

区分	全体	男	女	不明	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明
回答者数	1,058人	468人	550人	40人	86人	84人	118人	144人	228人	382人	16人
1	44.1%	44.4%	44.4%	37.5%	48.8%	46.4%	44.9%	46.5%	48.2%	39.5%	31.3%
2	33.4%	35.5%	32.2%	25.0%	23.3%	32.1%	38.1%	34.0%	32.0%	35.6%	18.8%
3	3.8%	4.5%	3.1%	5.0%	3.5%	3.6%	2.5%	2.8%	3.9%	4.5%	6.3%
4	0.1%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%	0.0%
5	7.8%	6.2%	9.1%	10.0%	5.8%	4.8%	5.1%	4.9%	6.6%	11.8%	6.3%
6	5.9%	5.6%	6.0%	7.5%	15.1%	10.7%	8.5%	9.7%	4.4%	1.3%	6.3%
無回答	4.9%	3.6%	5.3%	15.0%	3.5%	2.4%	0.8%	2.1%	4.8%	7.1%	31.3%



### <全体結果>

いじめ問題をどのように思うかについては、「いじめる児童生徒が悪い」が最も多く、4割を超えている。次いで「いじめる児童生徒が悪いが、いじめられる側にも原因がある」が3割台で続いている。前回調査と比べ、「いじめる児童生徒が悪い」が増加し、「いじめる児童生徒が悪いが、いじめられる側にも原因がある」は減少している。

### <性別・年代別>

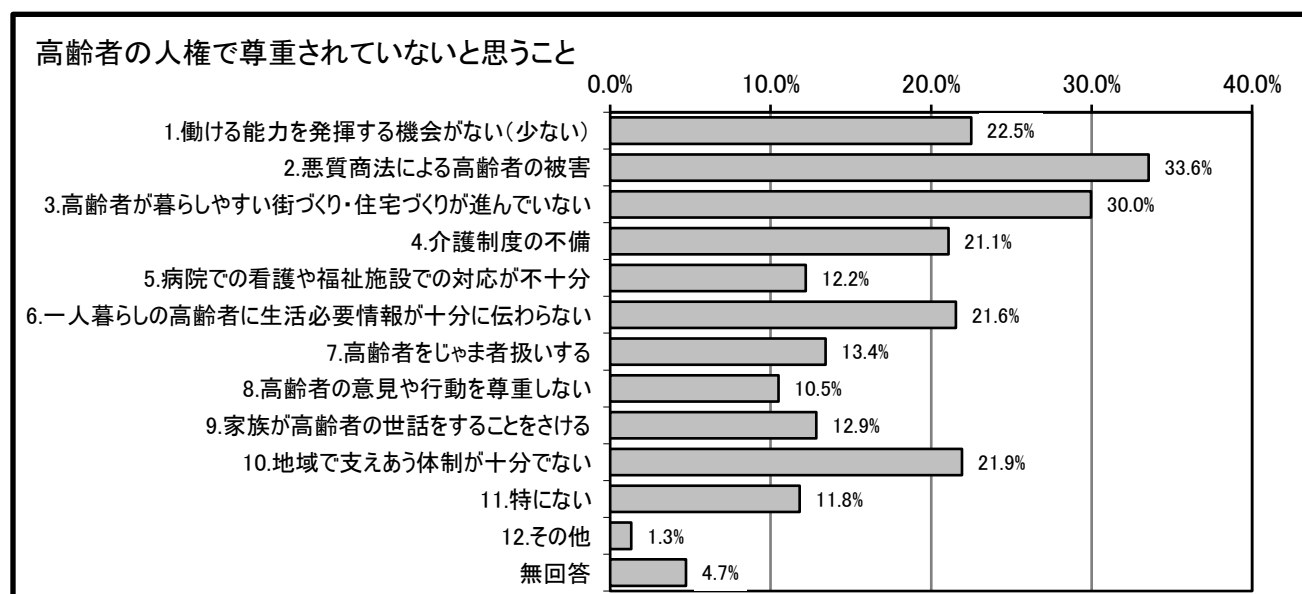
男女別では、特に大きな差は見られない。年代別では、60代以下で「いじめる児童生徒が悪い」の割合が4割台を超えて、「いじめられる児童生徒が悪い」の割合は0%となっている。

#### 4 高齢者の人権について

問12 高齢者の人権で尊重されていないと思うことを次の中から選んでください。(〇は3つまで)

番号	区 分	村上市 (2020)	村上市 (2011)
1	働ける能力を発揮する機会がない(少ない)	22.5%	37.5%
2	悪質商法による高齢者の被害	33.6%	24.5%
3	高齢者が暮らしやすい街づくり・住宅づくりが進んでいない	30.0%	31.9%
4	介護制度の不備	21.1%	27.9%
5	病院での看護や福祉施設での対応が不十分	12.2%	16.0%
6	一人暮らしの高齢者に生活必要情報が十分に伝わらない	21.6%	24.0%
7	高齢者をじゃま者扱いする	13.4%	15.0%
8	高齢者の意見や行動を尊重しない	10.5%	14.0%
9	家族が高齢者の世話をすることをさける	12.9%	19.0%
10	地域で支えあう体制が十分でない	21.9%	
11	特になし	11.8%	10.1%
12	その他	1.3%	0.6%
	無回答	4.7%	3.4%

区分	全体	男	女	不明	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明
回答者数	1,058人	468人	550人	40人	86人	84人	118人	144人	228人	382人	16人
1	22.5%	22.9%	21.8%	27.5%	22.1%	17.9%	24.6%	30.6%	26.3%	18.1%	12.5%
2	33.6%	34.8%	32.5%	32.5%	50.0%	44.0%	30.5%	37.5%	28.1%	29.8%	43.8%
3	30.0%	29.7%	30.2%	30.0%	25.6%	27.4%	18.6%	35.4%	39.5%	27.7%	18.8%
4	21.1%	21.4%	20.7%	22.5%	19.8%	23.8%	20.3%	28.5%	22.8%	17.8%	6.3%
5	12.2%	11.5%	13.5%	2.5%	10.5%	16.7%	15.3%	21.5%	12.3%	7.6%	0.0%
6	21.6%	23.9%	20.0%	15.0%	16.3%	29.8%	18.6%	22.9%	25.0%	19.6%	12.5%
7	13.4%	14.5%	13.1%	5.0%	12.8%	19.0%	14.4%	12.5%	14.9%	12.0%	0.0%
8	10.5%	9.8%	10.7%	15.0%	8.1%	10.7%	14.4%	4.2%	10.5%	12.6%	0.0%
9	12.9%	14.5%	12.2%	2.5%	11.6%	17.9%	11.9%	15.3%	11.8%	12.3%	6.3%
10	21.9%	22.0%	22.4%	15.0%	10.5%	22.6%	21.2%	25.7%	26.3%	20.9%	12.5%
11	11.8%	12.0%	12.0%	7.5%	11.6%	4.8%	15.3%	2.8%	9.2%	17.3%	12.5%
12	1.3%	1.7%	1.1%	0.0%	1.2%	0.0%	1.7%	1.4%	2.2%	1.0%	0.0%
無回答	4.7%	3.8%	4.5%	17.5%	2.3%	1.2%	1.7%	2.8%	3.9%	7.1%	31.3%



#### <全体結果>

高齢者の人権で尊重されていないと思うことについては、「悪質商法による高齢者の被害」、「高齢者が暮らしやすい街づくり・住宅づくりが進んでいない」をあげる人が多く3割台となっている。次いで「働ける能力を発揮する機会がない(少ない)」、「地域で支えあう体制が十分でない」、「一人暮らしの高齢者に生活必要情報が十分に伝わらない」、「介護制度の不備」が2割台で続いている。前回調査と比べ、回答項目を増やしたため全体的に減少しているが、「悪質商法による高齢者の被害」が増加している。

#### <性別・年代別>

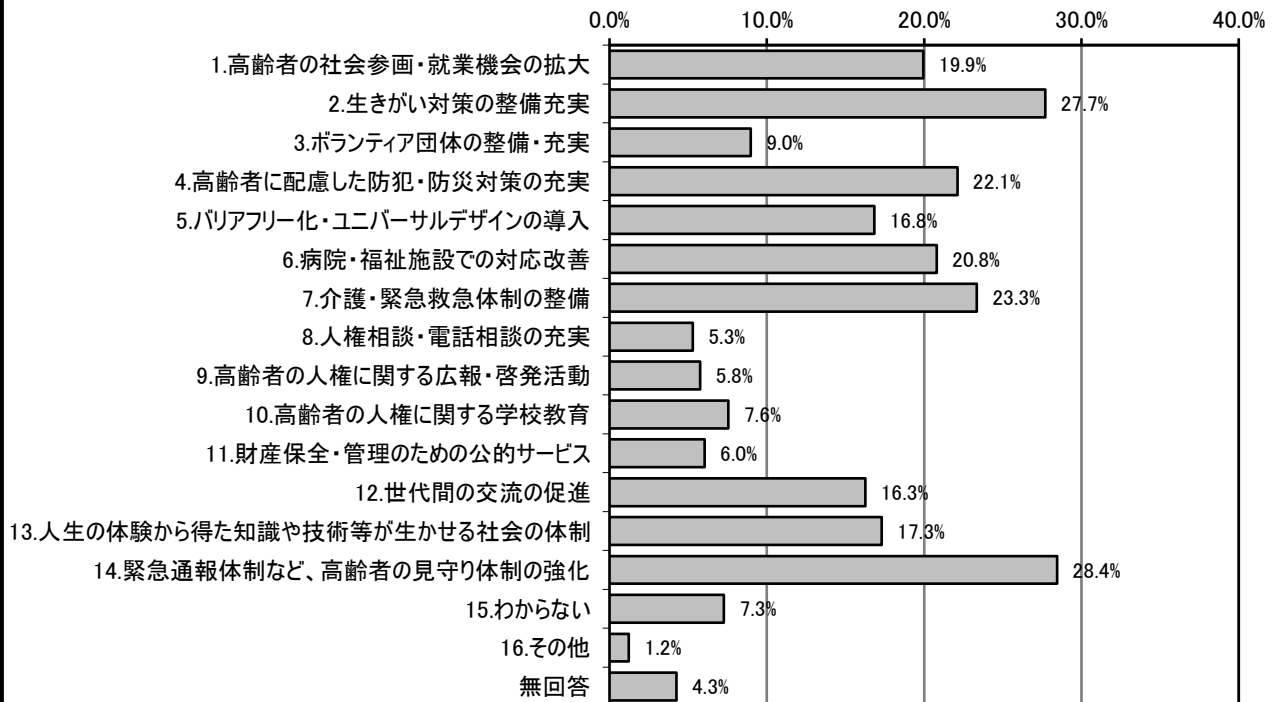
男女別では、特に大きな差は見られない。  
年代別では、20代と30代では「悪質商法による高齢者の被害」、50代と60代では「高齢者が暮らしやすい街づくり・住宅づくりが進んでいない」が、他年代層よりも高くなっている。

問13 高齢者の人権を守るために必要と思うことを次の中から選んでください。(○は3つまで)

番号	区 分	村上市 (2020)	村上市 (2011)
1	高齢者の社会参画・就業機会の拡大	19.9%	25.0%
2	生きがい対策の整備充実	27.7%	32.7%
3	ボランティア団体の整備・充実	9.0%	10.3%
4	高齢者に配慮した防犯・防災対策の充実	22.1%	17.7%
5	バリアフリー化・ユニバーサルデザインの導入	16.8%	
	住居・交通・公的施設のバリアフリー化		16.8%
6	病院・福祉施設での対応改善	20.8%	23.4%
7	介護・緊急救急体制の整備	23.3%	24.7%
8	人権相談・電話相談の充実	5.3%	3.4%
9	高齢者の人権に関する広報・啓発活動	5.8%	6.6%
10	高齢者の人権に関する学校教育	7.6%	5.4%
11	財産保全・管理のための公的サービス	6.0%	6.0%
12	世代間の交流の促進	16.3%	14.6%
13	人生の体験から得た知識や技術等が生かせる社会の体制づくり	17.3%	20.8%
14	緊急通報体制など、高齢者の見守り体制の強化	28.4%	22.1%
15	わからない	7.3%	6.3%
16	その他	1.2%	0.5%
	無回答	4.3%	3.6%

区分	全体	男	女	不明	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明
回答者数	1,058人	468人	550人	40人	86人	84人	118人	144人	228人	382人	16人
1	19.9%	22.6%	17.6%	20.0%	19.8%	20.2%	22.0%	26.4%	25.0%	14.1%	12.5%
2	27.7%	28.8%	26.7%	27.5%	33.7%	22.6%	28.0%	23.6%	30.7%	26.7%	37.5%
3	9.0%	9.8%	8.7%	2.5%	10.5%	10.7%	11.0%	11.1%	10.5%	6.0%	6.3%
4	22.1%	23.1%	21.6%	17.5%	24.4%	31.0%	16.9%	19.4%	21.1%	23.0%	18.8%
5	16.8%	16.9%	16.9%	15.0%	31.4%	23.8%	10.2%	16.0%	16.2%	14.9%	12.5%
6	20.8%	18.6%	22.7%	20.0%	14.0%	20.2%	22.9%	28.5%	23.7%	17.8%	6.3%
7	23.3%	22.2%	23.8%	30.0%	24.4%	29.8%	24.6%	27.1%	24.1%	19.1%	31.3%
8	5.3%	6.2%	4.9%	0.0%	2.3%	2.4%	3.4%	4.9%	6.1%	7.1%	0.0%
9	5.8%	8.8%	3.3%	5.0%	2.3%	3.6%	2.5%	2.8%	10.5%	6.3%	6.3%
10	7.6%	7.1%	8.0%	7.5%	7.0%	7.1%	10.2%	7.6%	10.1%	5.8%	0.0%
11	6.0%	6.4%	5.8%	5.0%	7.0%	8.3%	9.3%	6.3%	3.9%	5.5%	6.3%
12	16.3%	19.0%	14.4%	10.0%	15.1%	23.8%	18.6%	16.7%	12.3%	16.2%	18.8%
13	17.3%	18.4%	16.5%	15.0%	9.3%	11.9%	20.3%	22.9%	15.8%	18.6%	6.3%
14	28.4%	24.1%	32.9%	17.5%	25.6%	35.7%	26.3%	29.2%	32.5%	26.4%	6.3%
15	7.3%	7.1%	7.5%	7.5%	8.1%	6.0%	9.3%	4.9%	4.8%	9.2%	6.3%
16	1.2%	0.9%	1.6%	0.0%	1.2%	1.2%	1.7%	2.1%	0.9%	1.0%	0.0%
無回答	4.3%	3.0%	4.5%	15.0%	2.3%	1.2%	0.8%	2.1%	3.9%	6.5%	25.0%

## 高齢者の人権を守るために必要なこと



### <全体結果>

高齢者の人権を守るために必要なことについては、「緊急通報体制など、高齢者の見守り体制の強化」をあげる人が最も多く3割弱となっている。次いで「生きがい対策の整備充実」、「介護・緊急救急体制の整備」、「高齢者に配慮した防犯・防災対策の充実」、「病院・福祉施設での対応改善」が2割台で続いている。

前回調査と比べ、「緊急通報体制など、高齢者の見守り体制の強化」が増加し、「高齢者の社会参画・就業機会の拡大」、「生きがい対策の整備充実」は減少している。

### <性別・年代別>

男女別では、「緊急通報体制など、高齢者の見守り体制の強化」の割合は女性の方が高くなっている。

年代別では、「バリアフリー化・ユニバーサルデザインの導入」は20代と30代で、「緊急通報体制など、高齢者の見守り体制の強化」は60代で、他年代層よりも高くなっている。

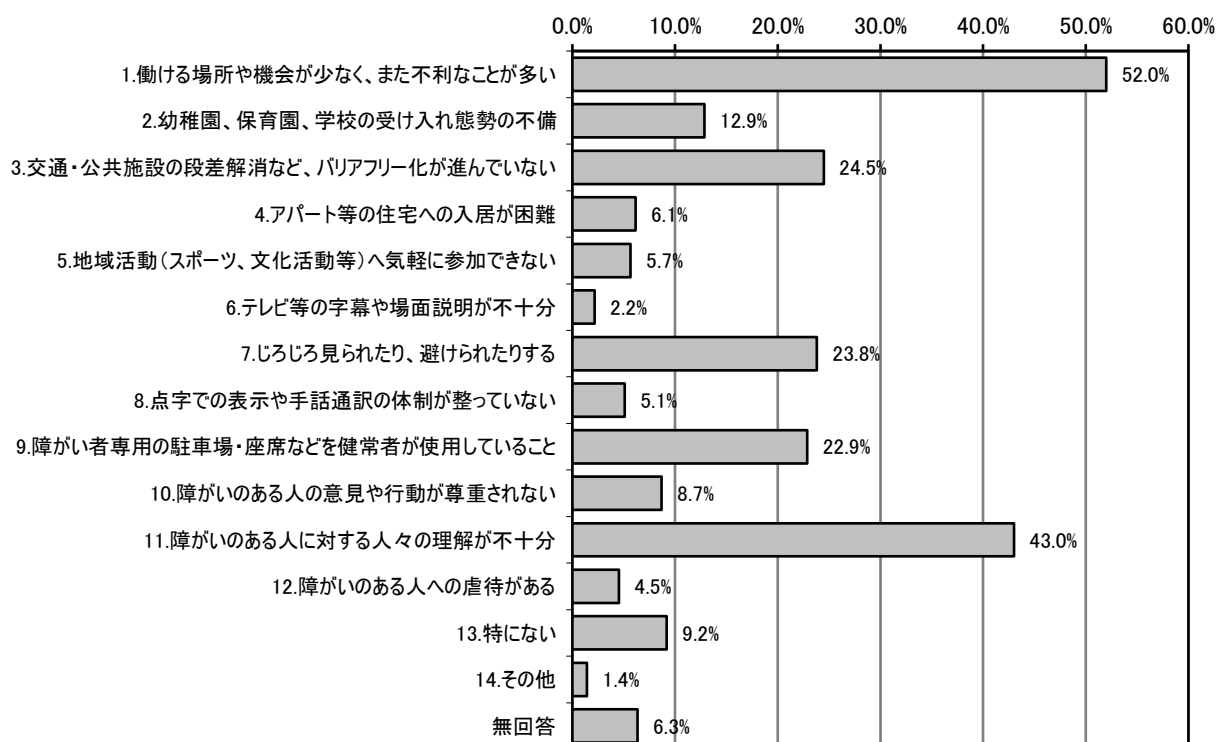
## 5 障がいのある人の人権について

問14 障がいのある人の人権で尊重されていないと思うことを次の中から選んでください。(○は3つまで)

番号	区 分	村上市 (2020)	村上市 (2011)
1	働ける場所や機会が少なく、また不利なことが多い	52.0%	59.2%
2	幼稚園、保育園、学校の受け入れ態勢の不備	12.9%	17.9%
3	交通・公共施設の段差解消など、バリアフリー化が進んでいない	24.5%	21.9%
4	アパート等の住宅への入居が困難	6.1%	6.7%
5	地域活動(スポーツ、文化活動等)へ気軽に参加できない	5.7%	7.5%
6	テレビ等の字幕や場面説明が不十分	2.2%	2.5%
7	じろじろ見られたり、避けられたりする	23.8%	23.3%
8	点字での表示や手話通訳の体制が整っていない	5.1%	6.0%
9	障がい者専用の駐車場・座席などを健常者が使用していること	22.9%	
10	障がいのある人の意見や行動が尊重されない	8.7%	10.1%
11	障がいのある人に対する人々の理解が不十分	43.0%	48.4%
12	障がいのある人への虐待がある	4.5%	
13	特になし	9.2%	10.1%
14	その他	1.4%	0.7%
	無回答	6.3%	6.5%

区分	全体	男	女	不明	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明
回答者数	1,058人	468人	550人	40人	86人	84人	118人	144人	228人	382人	16人
1	52.0%	57.5%	47.3%	52.5%	54.7%	56.0%	57.6%	57.6%	57.0%	44.2%	37.5%
2	12.9%	12.2%	13.8%	7.5%	20.9%	15.5%	16.9%	14.6%	15.8%	7.3%	0.0%
3	24.5%	21.8%	27.1%	20.0%	14.0%	25.0%	16.1%	30.6%	30.7%	23.3%	25.0%
4	6.1%	7.1%	5.1%	10.0%	2.3%	7.1%	5.9%	6.9%	7.0%	6.3%	6.3%
5	5.7%	6.8%	4.4%	10.0%	5.8%	3.6%	5.9%	4.9%	9.2%	4.2%	6.3%
6	2.2%	2.4%	2.2%	0.0%	0.0%	1.2%	3.4%	2.1%	1.3%	3.1%	0.0%
7	23.8%	22.4%	24.9%	25.0%	43.0%	31.0%	28.0%	25.7%	21.1%	17.3%	31.3%
8	5.1%	5.1%	4.9%	7.5%	1.2%	7.1%	5.1%	6.9%	5.7%	4.2%	12.5%
9	22.9%	24.6%	22.0%	15.0%	18.6%	29.8%	25.4%	23.6%	25.0%	20.2%	18.8%
10	8.7%	9.4%	8.2%	7.5%	11.6%	10.7%	5.1%	11.1%	9.6%	7.6%	0.0%
11	43.0%	46.2%	39.8%	50.0%	54.7%	52.4%	49.2%	45.8%	40.8%	36.9%	37.5%
12	4.5%	4.7%	4.7%	0.0%	10.5%	9.5%	4.2%	6.3%	3.1%	2.6%	0.0%
13	9.2%	10.0%	8.7%	5.0%	2.3%	3.6%	4.2%	2.1%	7.5%	17.3%	6.3%
14	1.4%	1.1%	1.8%	0.0%	2.3%	1.2%	2.5%	0.7%	0.4%	1.8%	0.0%
無回答	6.3%	4.7%	6.9%	17.5%	4.7%	0.0%	1.7%	3.5%	6.6%	9.4%	31.3%

## 障がいのある人の人権で尊重されていないと思うこと



### <全体結果>

障がいのある人の人権で尊重されていないと思うことについては、「働ける場所や機会が少なく、また不利なことが多い」が最も多く、5割を超えている。次いで「障がいのある人に対する人々の理解が不十分」が4割台で続いている。前回調査と比べ、回答項目を増やしたため全体的に減少している。

### <性別・年代別>

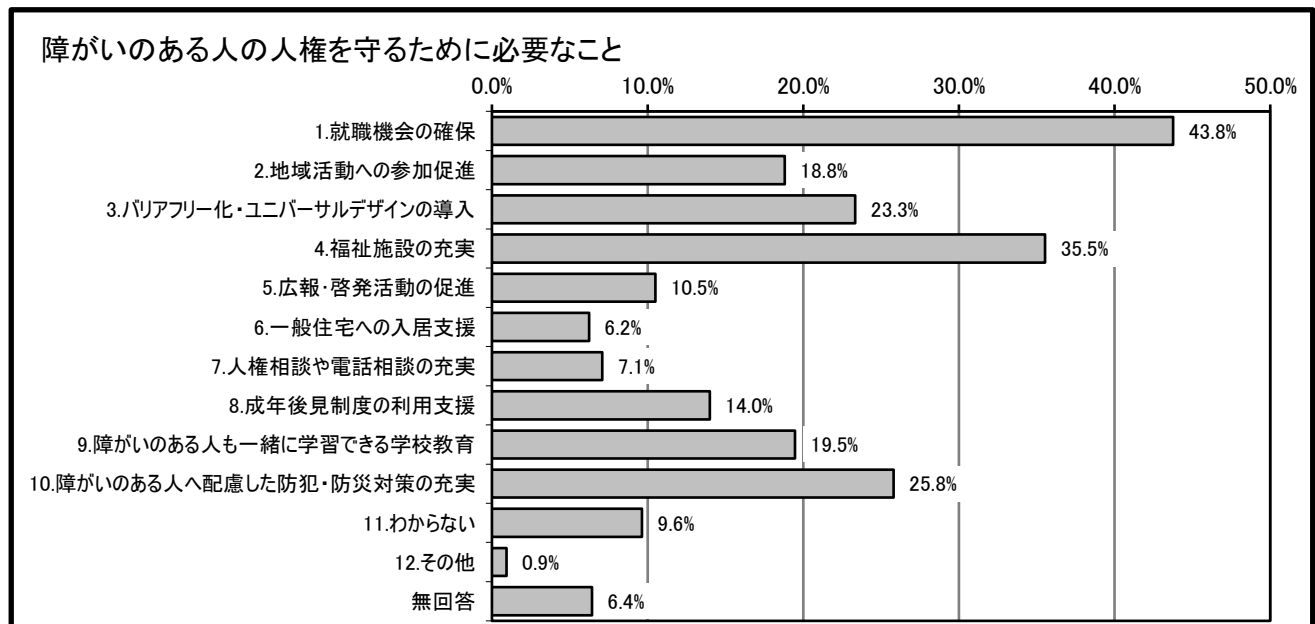
男女別では、「働ける場所や機会が少なく、また不利なことが多い」の割合は男性の方が高くなっている。年代別では、「交通・公共施設の段差解消など、バリアフリー化が進んでいない」は50代と60代で、「じろじろ見られたり、避けられたりする」は20代で、他年代層よりも高くなっている。また、「障がいのある人に対する人々の理解が不十分」の割合は、30代以下の割合が高く5割を超え、70代の割合が3割強と低くなっている。



問15 障がいのある人の人権を守るために必要と思われることを次の中から選んでください。  
(○は3つまで)

番号	区 分	村上市 (2020)	村上市 (2011)
1	就職機会の確保	43.8%	48.5%
2	地域活動への参加促進	18.8%	22.5%
3	バリアフリー化・ユニバーサルデザインの導入	23.3%	
	バリアフリー化の促進		22.3%
4	福祉施設の充実	35.5%	37.8%
5	広報・啓発活動の促進	10.5%	8.6%
6	一般住宅への入居支援	6.2%	3.1%
7	人権相談や電話相談の充実	7.1%	8.5%
8	成年後見制度の利用支援	14.0%	12.4%
9	障がいのある人も一緒に学習できる学校教育	19.5%	26.4%
10	障がいのある人へ配慮した防犯・防災対策の充実	25.8%	19.4%
11	わからない	9.6%	9.1%
12	その他	0.9%	0.5%
	無回答	6.4%	5.2%

区分	全体	男	女	不明	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明
回答者数	1,058人	468人	550人	40人	86人	84人	118人	144人	228人	382人	16人
1	43.8%	46.4%	42.0%	37.5%	57.0%	47.6%	49.2%	47.9%	46.9%	35.9%	18.8%
2	18.8%	20.1%	17.8%	17.5%	17.4%	20.2%	25.4%	18.8%	21.5%	15.4%	12.5%
3	23.3%	23.1%	23.8%	20.0%	22.1%	35.7%	19.5%	28.5%	27.6%	17.5%	25.0%
4	35.5%	36.3%	35.1%	32.5%	22.1%	29.8%	31.4%	41.0%	35.1%	39.3%	37.5%
5	10.5%	15.2%	7.3%	0.0%	12.8%	16.7%	7.6%	13.2%	11.4%	8.4%	0.0%
6	6.2%	7.1%	5.6%	5.0%	10.5%	7.1%	5.9%	4.2%	6.1%	6.3%	0.0%
7	7.1%	6.8%	7.3%	7.5%	5.8%	2.4%	5.9%	5.6%	7.5%	9.2%	6.3%
8	14.0%	13.2%	14.4%	17.5%	20.9%	13.1%	16.9%	19.4%	11.4%	11.3%	12.5%
9	19.5%	19.4%	19.5%	20.0%	19.8%	25.0%	19.5%	16.0%	21.9%	18.6%	6.3%
10	25.8%	27.6%	24.4%	25.0%	26.7%	20.2%	23.7%	22.9%	29.8%	25.7%	37.5%
11	9.6%	9.4%	10.0%	7.5%	7.0%	8.3%	8.5%	4.2%	9.6%	13.1%	6.3%
12	0.9%	0.6%	1.3%	0.0%	4.7%	2.4%	1.7%	1.4%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	6.4%	4.9%	6.9%	17.5%	3.5%	0.0%	2.5%	2.1%	7.0%	9.9%	31.3%



### <全体結果>

障がいのある人の人権を守るために必要なことについては、「就職機会の確保」をあげる人が最も多く4割台となっている。次いで「福祉施設の充実」が3割台、「障がいのある人へ配慮した防犯・防災対策の充実」、「バリアフリー化・ユニバーサルデザインの導入」が2割台で続いている。前回調査と比べ、「障がいのある人へ配慮した防犯・防災対策の充実」が増加し、「障がいのある人も一緒に学習できる学校教育」は減少している。

### <性別・年代別>

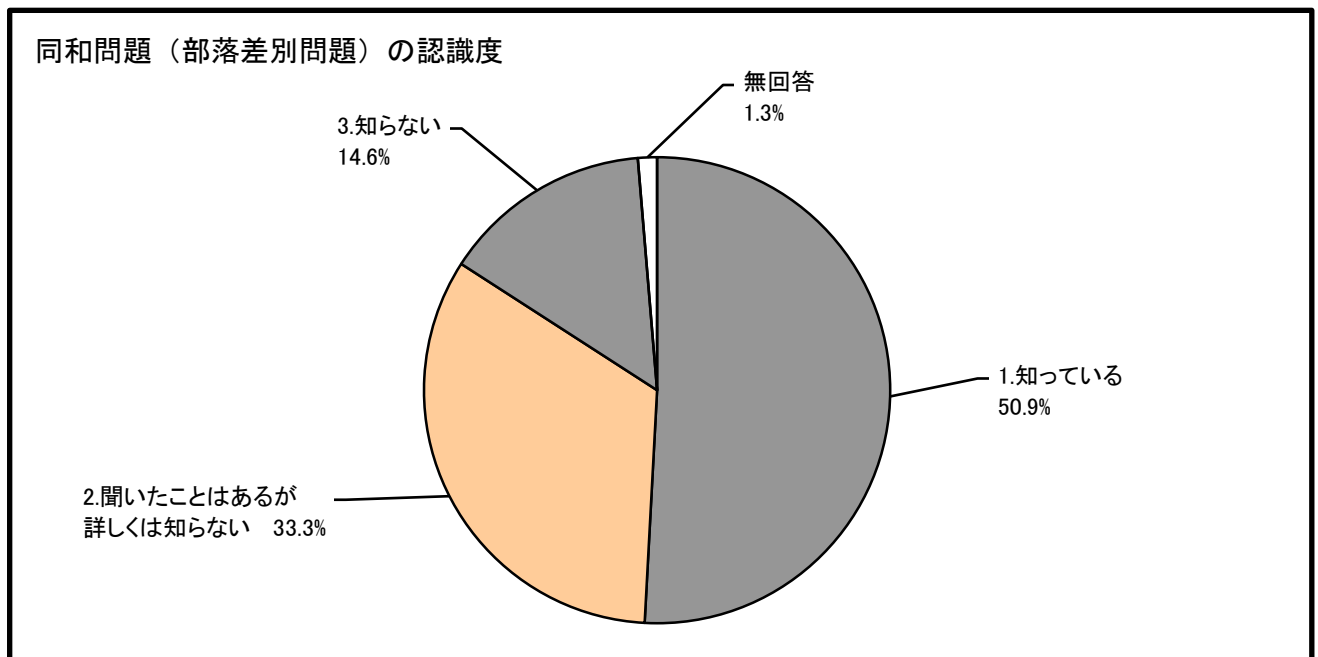
男女別では、「広報・啓発活動の促進」の割合は男性の方が高くなっている。年代別では、「就職機会の確保」の割合は、20代で高く6割弱となっている。「福祉施設の充実」の割合は、50代が高く、20代の割合が低くなっている。

## 6 同和問題（部落差別問題）について

問16 あなたは、日本の社会に同和問題(部落差別問題)などといわれる問題があることを知っていますか。  
(○は1つだけ)

番号	区 分	村上市 (2020)	村上市 (2011)
1	知っている	50.9%	48.4%
2	聞いたことはあるが詳しくは知らない	33.3%	33.1%
3	知らない	14.6%	15.4%
	無回答	1.3%	3.1%

区分	全体	男	女	不明	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明
回答者数	1,058人	468人	550人	40人	86人	84人	118人	144人	228人	382人	16人
1	50.9%	51.5%	51.3%	37.5%	39.5%	31.0%	41.5%	51.4%	61.4%	55.2%	25.0%
2	33.3%	34.0%	32.4%	37.5%	38.4%	46.4%	37.3%	36.1%	26.3%	30.6%	43.8%
3	14.6%	14.1%	14.7%	17.5%	20.9%	22.6%	21.2%	12.5%	12.3%	11.5%	12.5%
無回答	1.3%	0.4%	1.6%	7.5%	1.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.6%	18.8%



### <全体結果>

同和問題(部落差別問題)の認識度については、「知っている」と「聞いたことはあるが詳しくは知らない」の合計の割合が、8割を超えている。  
前回調査と比べ、特に大きな差は見られない。

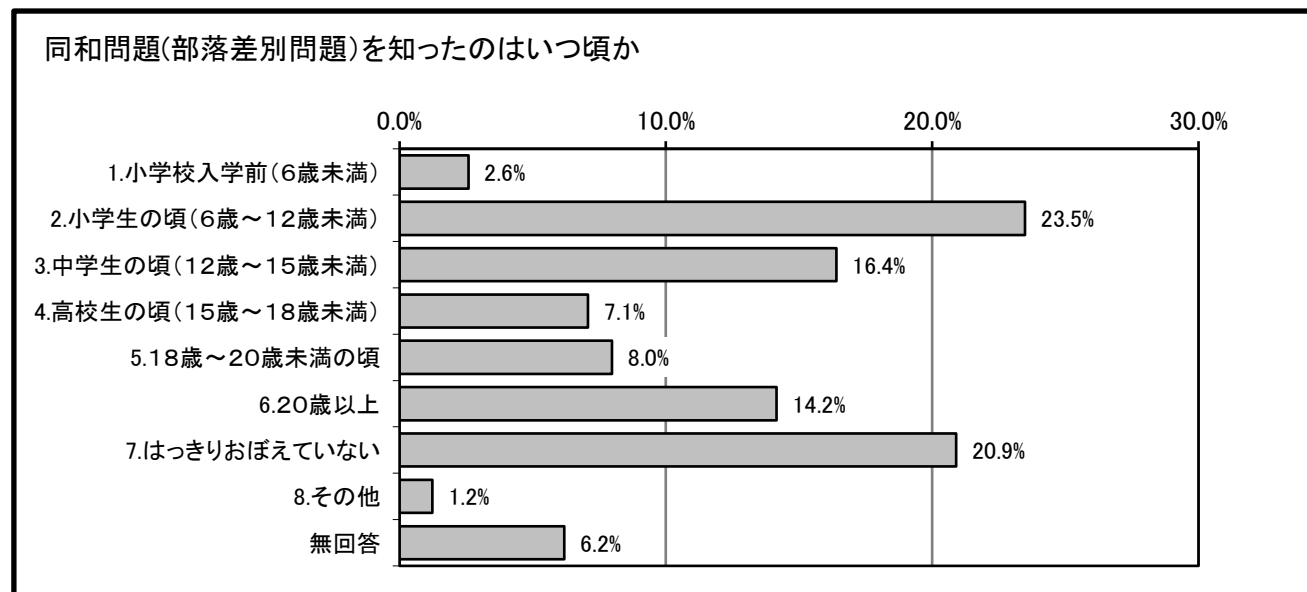
### <性別・年代別>

男女別では、特に大きな差は見られない。  
年代別では、「知らない」の割合が40代以下で比較的高く、2割を超えている。

問17 同和問題(部落差別問題)について、あなたがはじめて知った(聞いた)のは、いつ頃ですか。(〇は1つだけ)

番号	区 分	村上市 (2020)	村上市 (2011)
1	小学校入学前(6歳未満)	2.6%	4.6%
2	小学生の頃(6歳～12歳未満)	23.5%	23.9%
3	中学生の頃(12歳～15歳未満)	16.4%	17.6%
4	高校生の頃(15歳～18歳未満)	7.1%	7.2%
5	18歳～20歳未満の頃	8.0%	8.5%
6	20歳以上	14.2%	16.9%
7	はっきりおぼえていない	20.9%	19.4%
8	その他	1.2%	0.5%
	無回答	6.2%	1.4%

区分	全体	男	女	不明	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明
回答者数	890人	400人	460人	30人	67人	65人	93人	126人	200人	328人	11人
1	2.6%	1.8%	3.5%	0.0%	1.5%	1.5%	0.0%	2.4%	3.0%	3.7%	0.0%
2	23.5%	19.0%	27.4%	23.3%	35.8%	33.8%	36.6%	25.4%	19.0%	17.4%	18.2%
3	16.4%	18.8%	14.8%	10.0%	29.9%	13.8%	8.6%	15.1%	21.5%	14.3%	0.0%
4	7.1%	8.8%	6.1%	0.0%	9.0%	12.3%	8.6%	7.9%	6.0%	5.8%	0.0%
5	8.0%	8.3%	8.0%	3.3%	3.0%	1.5%	2.2%	6.3%	11.0%	10.7%	9.1%
6	14.2%	15.8%	12.8%	13.3%	4.5%	15.4%	16.1%	14.3%	16.5%	14.0%	9.1%
7	20.9%	20.5%	20.7%	30.0%	13.4%	21.5%	23.7%	25.4%	14.5%	23.2%	36.4%
8	1.2%	0.5%	2.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.0%	2.7%	0.0%
無回答	6.2%	6.8%	4.8%	20.0%	3.0%	0.0%	4.3%	3.2%	7.5%	8.2%	27.3%



### <全体結果>

同和問題(部落差別問題)を知ったのはいつ頃かについては、「小学生の頃(6歳～12歳未満)」が最も多く2割強となっている。次いで「はっきりおぼえていない」が2割台、「中学生の頃(12歳～15歳未満)」、「20歳以上」が1割台で続いている。前回調査と比べ、特に大きな差は見られない。

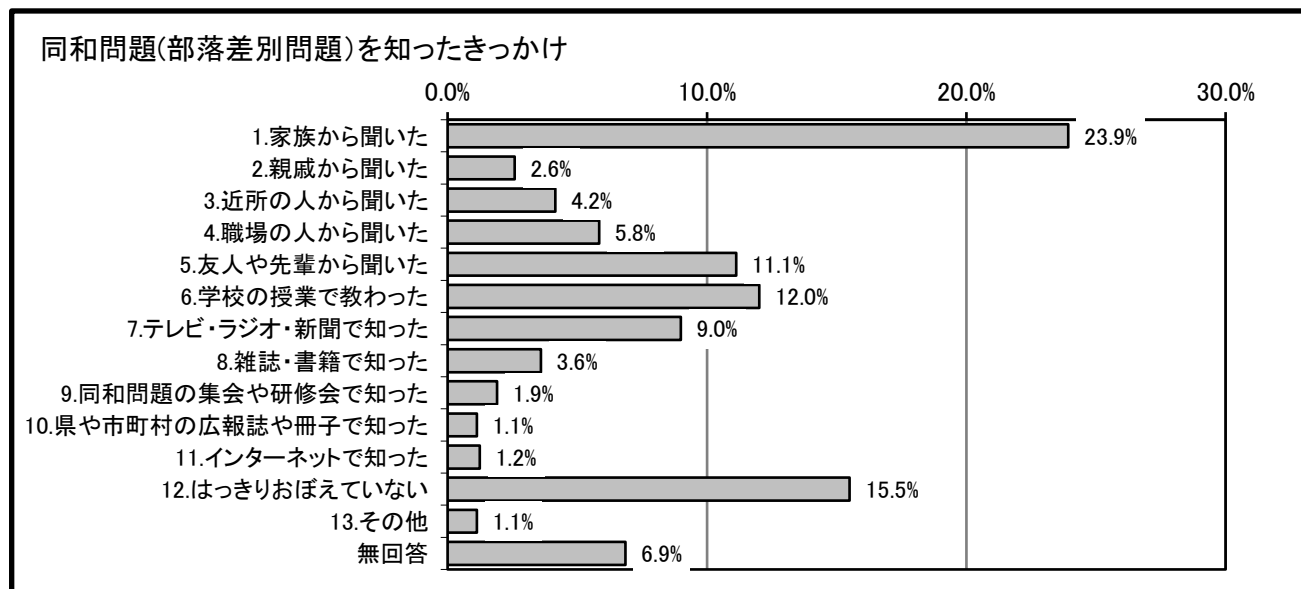
### <性別・年代別>

男女別では、「小学生の頃(6歳～12歳未満)」の割合は女性の方が高くなっている。年代別では、「小学生の頃(6歳～12歳未満)」は40代以下で、「中学生の頃(12歳～15歳未満)」は20代で、「18歳～20歳未満の頃」は60代と70代で、他年代層よりも高くなっている。

問18 あなたが、同和問題(部落差別問題)をはじめて知った(聞いた)きっかけはどのようなことからでしたか。  
(○は1つだけ)

番号	区 分	村上市 (2020)	村上市 (2011)
1	家族から聞いた	23.9%	28.0%
2	親戚から聞いた	2.6%	1.8%
3	近所の人から聞いた	4.2%	4.8%
4	職場の人から聞いた	5.8%	6.4%
5	友人や先輩から聞いた	11.1%	14.4%
6	学校の授業で教わった	12.0%	8.4%
7	テレビ・ラジオ・新聞で知った	9.0%	11.1%
8	雑誌・書籍で知った	3.6%	4.6%
9	同和問題の集会や研修会で知った	1.9%	2.3%
10	県や市町村の広報誌や冊子で知った	1.1%	0.8%
11	インターネットで知った	1.2%	
12	はっきりおぼえていない	15.5%	14.4%
13	その他	1.1%	1.0%
	無回答	6.9%	2.0%

区分	全体	男	女	不明	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明
回答者数	890人	400人	460人	30人	67人	65人	93人	126人	200人	328人	11人
1	23.9%	19.0%	28.7%	16.7%	17.9%	12.3%	21.5%	30.2%	28.0%	23.5%	18.2%
2	2.6%	2.3%	3.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.1%	0.8%	4.0%	4.0%	0.0%
3	4.2%	3.5%	4.8%	3.3%	1.5%	0.0%	1.1%	2.4%	3.5%	7.6%	0.0%
4	5.8%	7.3%	4.6%	6.7%	1.5%	6.2%	2.2%	7.9%	7.5%	5.8%	9.1%
5	11.1%	15.0%	7.8%	10.0%	3.0%	3.1%	10.8%	7.9%	11.0%	15.9%	9.1%
6	12.0%	11.0%	13.5%	3.3%	56.7%	30.8%	19.4%	7.9%	6.5%	2.4%	0.0%
7	9.0%	10.5%	7.0%	20.0%	4.5%	6.2%	9.7%	12.7%	7.0%	10.1%	9.1%
8	3.6%	2.3%	5.0%	0.0%	0.0%	4.6%	2.2%	3.2%	5.5%	3.7%	0.0%
9	1.9%	2.3%	1.7%	0.0%	1.5%	1.5%	3.2%	1.6%	3.5%	0.9%	0.0%
10	1.1%	2.0%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	1.1%	0.8%	1.0%	1.8%	0.0%
11	1.2%	1.8%	0.9%	0.0%	3.0%	10.8%	0.0%	1.6%	0.0%	0.0%	0.0%
12	15.5%	14.8%	16.3%	13.3%	6.0%	18.5%	18.3%	19.8%	12.5%	16.2%	18.2%
13	1.1%	1.0%	0.9%	6.7%	0.0%	1.5%	0.0%	0.0%	2.5%	1.2%	0.0%
無回答	6.9%	7.5%	5.4%	20.0%	4.5%	4.6%	9.7%	3.2%	7.5%	7.0%	36.4%



### <全体結果>

同和問題(部落差別問題)を知ったきっかけについては、「家族から聞いた」が最も多く2割強となっている。次いで「はっきりおぼえていない」、「学校の授業で教わった」、「友人や先輩から聞いた」が1割台で続いている。前回調査と比べ、特に大きな差は見られない。

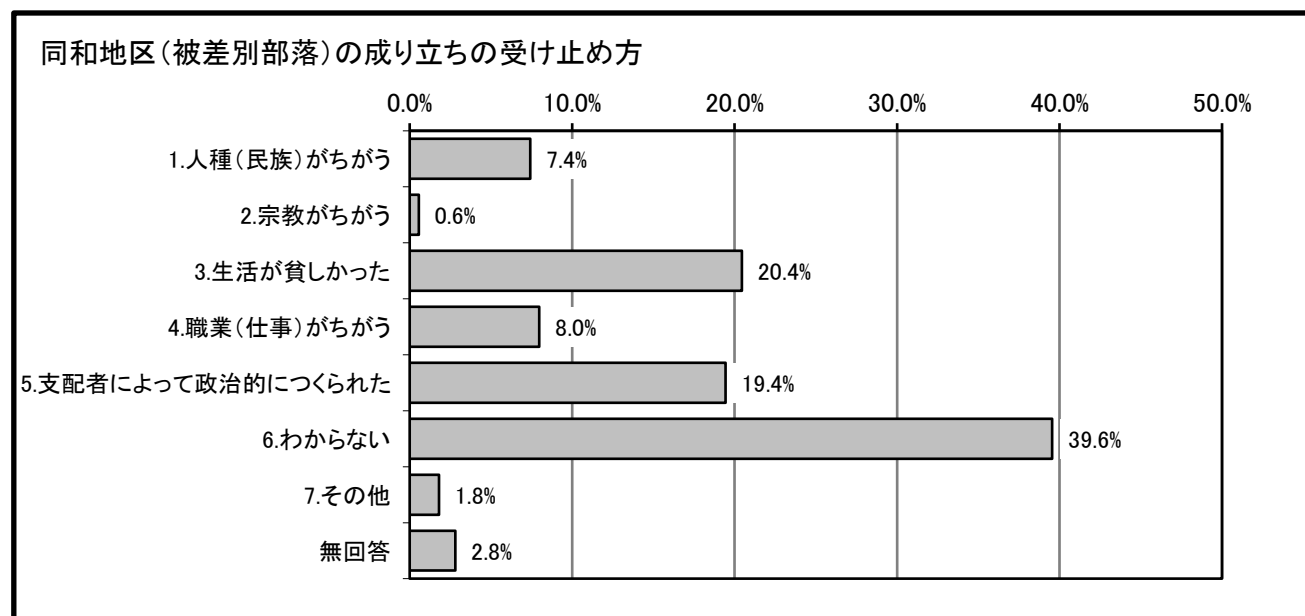
### <性別・年代別>

男女別では、男性は「友人や先輩から聞いた」などの割合が女性より高く、女性は「家族から聞いた」などが男性より高くなっている。年代別では、「学校の授業で教わった」は20代と30代で、「インターネットで知った」は30代で、他年代層よりも高くなっている。

問19 あなたは、同和地区(被差別部落)の成り立ちについて、どのように受け止めていますか。  
次の中から選んでください。(○は1つだけ)

番号	区 分	村上市 (2020)	村上市 (2011)
1	人種(民族)がちがう	7.4%	8.3%
2	宗教がちがう	0.6%	0.6%
3	生活が貧しかった	20.4%	18.4%
4	職業(仕事)がちがう	8.0%	6.4%
5	支配者によって政治的につくられた 江戸時代の身分制度によりつくられた	19.4%	28.8%
6	わからない	39.6%	33.3%
7	その他	1.8%	1.6%
	無回答	2.8%	2.6%

区分	全体	男	女	不明	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明
回答者数	890人	400人	460人	30人	67人	65人	93人	126人	200人	328人	11人
1	7.4%	7.0%	8.0%	3.3%	10.4%	7.7%	6.5%	12.7%	5.5%	6.1%	9.1%
2	0.6%	0.5%	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%	1.1%	0.0%	1.0%	0.6%	0.0%
3	20.4%	23.3%	18.0%	20.0%	13.4%	16.9%	19.4%	20.6%	22.5%	21.0%	36.4%
4	8.0%	8.3%	7.8%	6.7%	19.4%	1.5%	4.3%	4.0%	9.5%	8.2%	18.2%
5	19.4%	21.8%	17.4%	20.0%	20.9%	18.5%	20.4%	19.8%	22.5%	17.4%	9.1%
6	39.6%	34.8%	43.3%	46.7%	31.3%	49.2%	43.0%	36.5%	36.0%	42.1%	27.3%
7	1.8%	1.5%	2.2%	0.0%	4.5%	4.6%	2.2%	2.4%	0.5%	1.2%	0.0%
無回答	2.8%	3.0%	2.6%	3.3%	0.0%	1.5%	3.2%	4.0%	2.5%	3.4%	0.0%



#### <全体結果>

同和地区(被差別部落)の成り立ちの受け止め方については、「わからない」が最も多く4割弱となっている。次いで「生活が貧しかった」が2割台、「支配者によって政治的につくられた」が1割台で続いている。前回の調査と比べ、「わからない」の割合は、6.3%増加している。

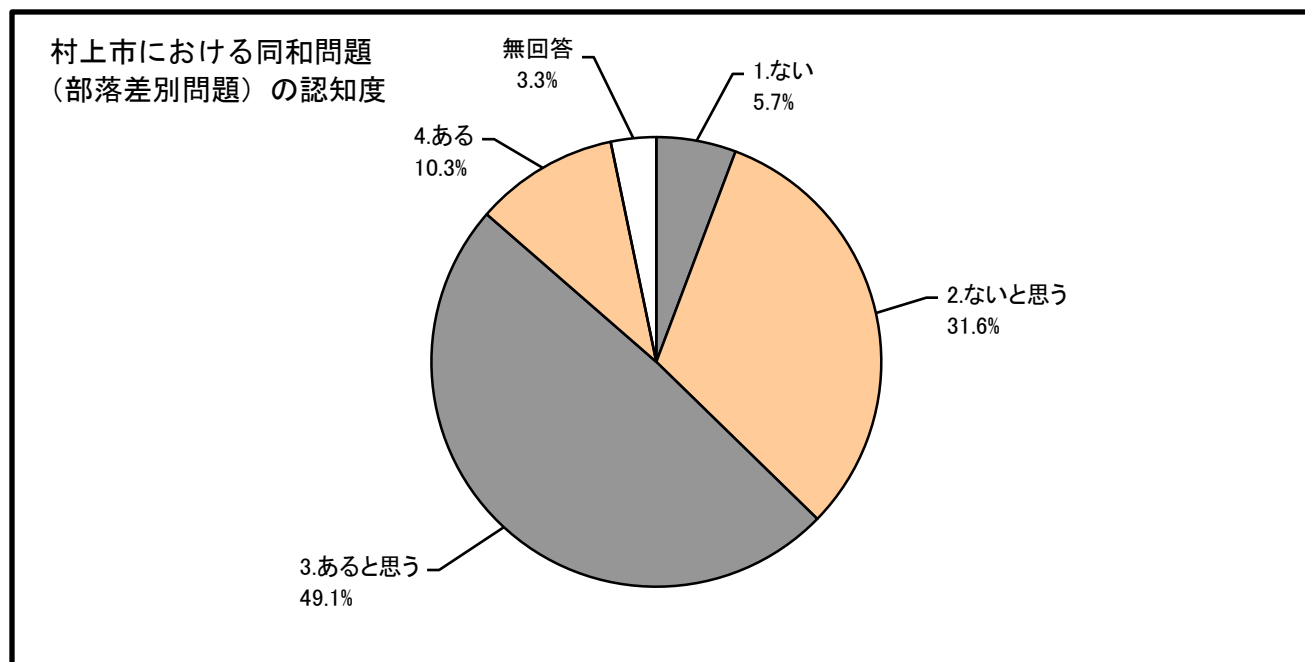
#### <性別・年代別>

男女別では、男性は「生活が貧しかった」などの割合が女性より高く、女性は「わからない」などが男性より高くなっている。年代別では、「職業(仕事)がちがう」の割合は20代で、他年代層よりも高くなっている。

問20 あなたは、村上市に同和問題(部落差別問題)があると思いますか。(〇は1つだけ)

番号	区 分	村上市 (2020)	村上市 (2011)
1	ない	5.7%	6.0%
2	ないと思う	31.6%	28.0%
3	あると思う	49.1%	51.6%
4	ある	10.3%	11.6%
	無回答	3.3%	2.8%

区分	全体	男	女	不明	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明
回答者数	890人	400人	460人	30人	67人	65人	93人	126人	200人	328人	11人
1	5.7%	5.5%	6.3%	0.0%	6.0%	3.1%	2.2%	4.0%	4.0%	8.8%	9.1%
2	31.6%	31.0%	31.7%	36.7%	46.3%	46.2%	26.9%	27.0%	27.0%	31.4%	36.4%
3	49.1%	47.8%	50.2%	50.0%	31.3%	40.0%	60.2%	52.4%	58.5%	44.5%	45.5%
4	10.3%	13.3%	7.8%	10.0%	16.4%	9.2%	7.5%	15.1%	9.5%	8.8%	9.1%
無回答	3.3%	2.5%	3.9%	3.3%	0.0%	1.5%	3.2%	1.6%	1.0%	6.4%	0.0%



### <全体結果>

村上市における同和問題(部落差別問題)については、「あると思う」と「ある」の合計の割合が高く、6割弱を占めている。前回の調査と比べ、「あると思う」と「ある」の合計の割合は、3.8%減少している。

### <性別・年代別>

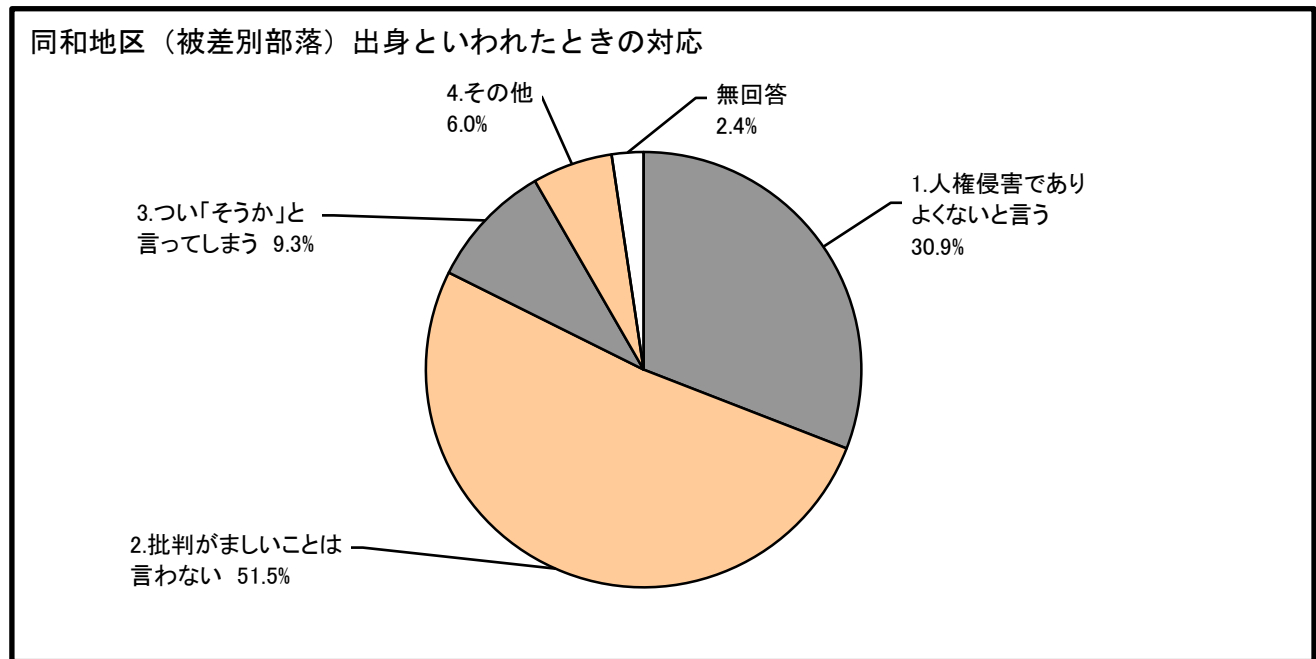
男女別では、「ある」の割合は男性の方が高くなっている。

年代別では、「あると思う」と「ある」の合計の割合が40代と50代、60代で高く6割を超えている。また、20代と30代では、「あると思う」と「ある」の合計と「ない」と「ないと思う」の合計を比べ、大きな差は見られない。

問21 親しい友人から知り合いのAさんが同和地区(被差別部落)出身といわれたとき、あなたはどのように対応しますか。(○は1つだけ)

番号	区 分	村上市 (2020)	村上市 (2011)
1	人権侵害でありよくないと言う	30.9%	29.7%
2	批判がましいことは言わない	51.5%	53.0%
3	つい「そうか」と言ってしまう	9.3%	8.8%
4	その他	6.0%	4.9%
	無回答	2.4%	3.6%

区分	全体	男	女	不明	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明
回答者数	890人	400人	460人	30人	67人	65人	93人	126人	200人	328人	11人
1	30.9%	31.0%	31.7%	16.7%	29.9%	12.3%	24.7%	26.2%	33.0%	37.2%	27.3%
2	51.5%	52.0%	50.2%	63.3%	50.7%	63.1%	54.8%	51.6%	55.5%	45.4%	63.6%
3	9.3%	9.5%	8.7%	16.7%	9.0%	10.8%	9.7%	9.5%	7.5%	10.1%	9.1%
4	6.0%	4.8%	7.2%	3.3%	10.4%	12.3%	8.6%	10.3%	3.5%	3.0%	0.0%
無回答	2.4%	2.8%	2.2%	0.0%	0.0%	1.5%	2.2%	2.4%	0.5%	4.3%	0.0%



### <全体結果>

同和地区(被差別部落)出身といわれたときの対応については、「批判がましいことは言わない」の割合が半数を超えている。前回調査と比べ、特に大きな差は見られない。

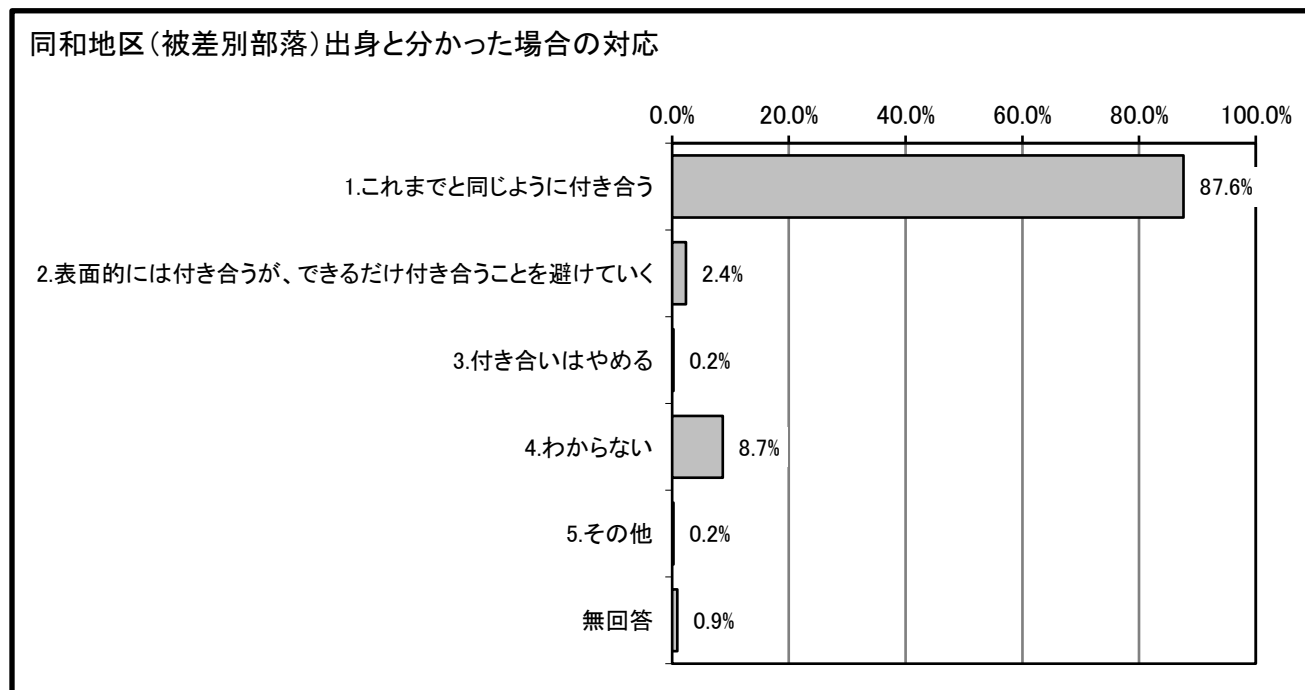
### <性別・年代別>

男女別では、特に大きな差は見られない。  
年代別では、「人権侵害でありよくないと言う」は60代と70代が高く、3割を超えている。30代では「批判がましいことは言わない」が、他年代層よりも高くなっている。

問22 親しく付き合いしている人が同和地区(被差別部落)出身者とわかった場合、あなたはどうしますか。  
(○は1つだけ)

番号	区 分	村上市 (2020)	村上市 (2011)
1	これまでと同じように付き合い	87.6%	90.1%
2	表面的には付き合いが、できるだけ付き合いを避けていく	2.4%	2.3%
3	付き合いはやめる	0.2%	0.0%
4	わからない	8.7%	5.9%
5	その他	0.2%	0.4%
	無回答	0.9%	1.3%

区分	全体	男	女	不明	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明
回答者数	890人	400人	460人	30人	67人	65人	93人	126人	200人	328人	11人
1	87.6%	89.8%	85.9%	86.7%	94.0%	84.6%	87.1%	89.7%	92.0%	83.8%	81.8%
2	2.4%	2.0%	2.6%	3.3%	1.5%	0.0%	2.2%	4.0%	1.5%	2.7%	9.1%
3	0.2%	0.3%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%	0.0%
4	8.7%	6.5%	10.4%	10.0%	4.5%	12.3%	10.8%	5.6%	6.0%	11.0%	9.1%
5	0.2%	0.0%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%	0.0%
無回答	0.9%	1.5%	0.4%	0.0%	0.0%	3.1%	0.0%	0.8%	0.5%	1.2%	0.0%



### <全体結果>

同和地区(被差別部落)出身と分かった場合の対応については、「これまでと同じように付き合い」の割合が9割弱を占めている。前回調査と比べ、特に大きな差は見られない。

### <性別・年代別>

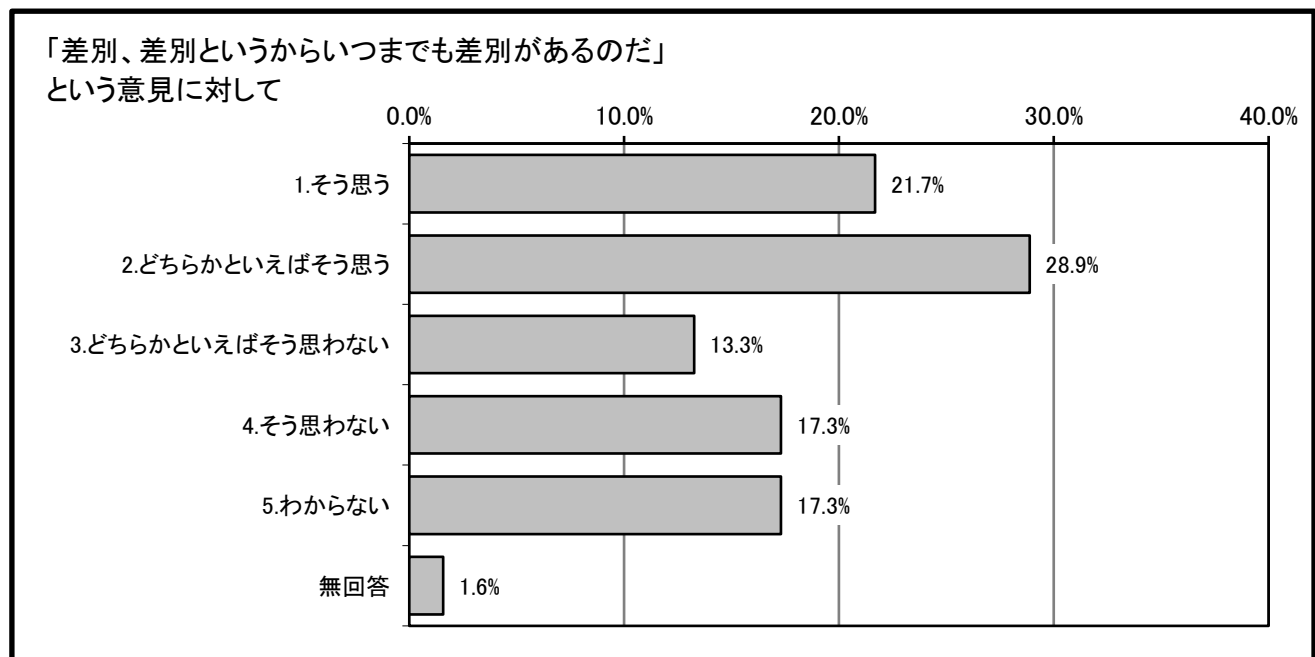
男女別では、特に大きな差は見られない。  
年代別では、「これまでと同じように付き合い」の割合は、20代と60代が高く、9割を超えている。「付き合いはやめる」は70代の0.6%以外は各年代で0%となっている。



問23 同和問題(部落差別問題)について、「差別、差別というから、いつまでも差別があるのだ。そっとしておけば部落差別は自然になくなる。」という意見があります。  
この意見に対して、あなたは、どう思いますか。(○は1つだけ)

番号	区 分	村上市 (2020)	村上市 (2011)
1	そう思う	21.7%	26.0%
2	どちらかといえばそう思う	28.9%	30.7%
3	どちらかといえばそう思わない	13.3%	12.0%
4	そう思わない	17.3%	15.7%
5	わからない	17.3%	14.2%
	無回答	1.6%	1.4%

区分	全体	男	女	不明	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明
回答者数	890人	400人	460人	30人	67人	65人	93人	126人	200人	328人	11人
1	21.7%	20.3%	22.8%	23.3%	14.9%	10.8%	14.0%	11.1%	24.5%	29.6%	27.3%
2	28.9%	28.8%	28.9%	30.0%	34.3%	32.3%	34.4%	31.7%	22.0%	29.0%	18.2%
3	13.3%	14.0%	12.8%	10.0%	14.9%	16.9%	9.7%	15.9%	14.5%	11.6%	9.1%
4	17.3%	19.8%	15.7%	10.0%	26.9%	26.2%	21.5%	22.2%	18.5%	9.8%	18.2%
5	17.3%	15.5%	18.3%	26.7%	7.5%	12.3%	20.4%	18.3%	18.0%	18.3%	27.3%
無回答	1.6%	1.8%	1.5%	0.0%	1.5%	1.5%	0.0%	0.8%	2.5%	1.8%	0.0%



#### <全体結果>

「差別、差別というからいつまでも差別があるのだ」という意見については、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計の割合が約5割を占めている。  
前回の調査と比べ、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計の割合は、6.1%減少している。

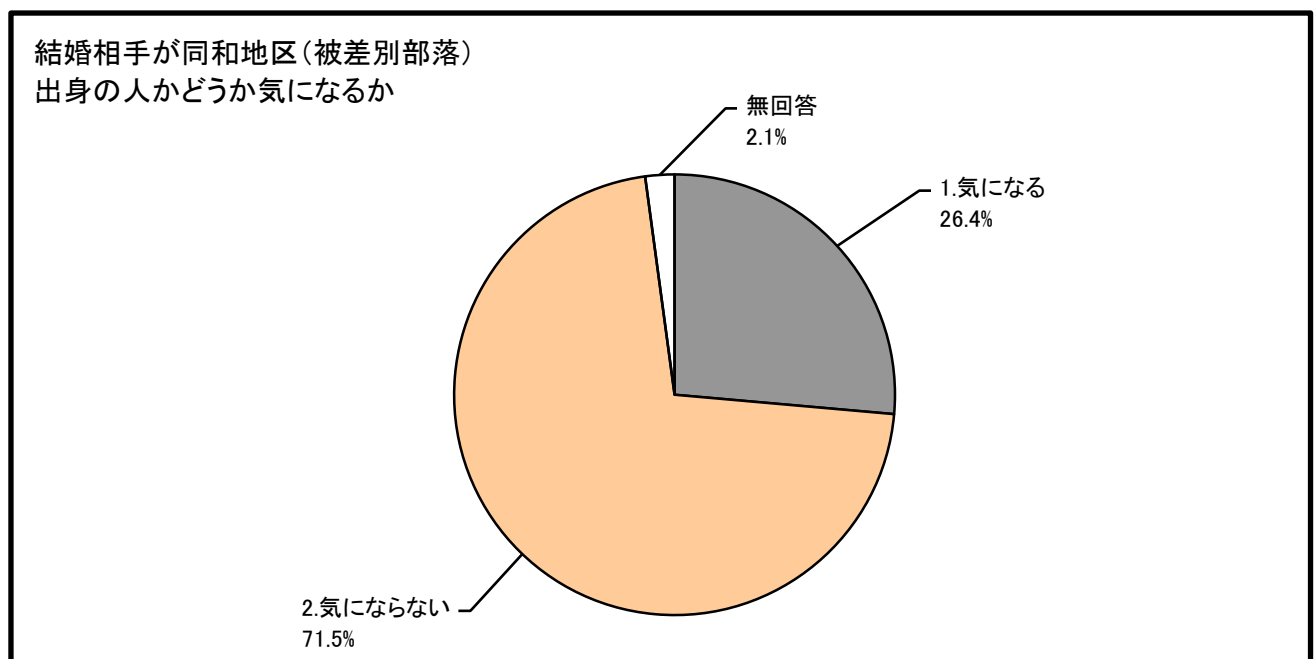
#### <性別・年代別>

男女別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計の割合は女性の方がやや高くなっている。  
年代別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計の割合は、70代で最も高く、6割弱を占めている。

問24-1 あなた自身やあなたの子ども、あるいはあなたの身内が結婚しようとするとき、相手が同和地区(被差別部落)出身の人かどうか、あなたは気になりますか。  
また、その一番の理由をお聞かせください。

番号	区 分	村上市 (2020)	村上市 (2011)
1	気になる	26.4%	30.5%
2	気にならない	71.5%	66.2%
	無回答	2.1%	3.3%

区分	全体	男	女	不明	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明
回答者数	890人	400人	460人	30人	67人	65人	93人	126人	200人	328人	11人
1	26.4%	24.3%	28.5%	23.3%	7.5%	15.4%	24.7%	35.7%	26.0%	30.2%	9.1%
2	71.5%	73.3%	69.6%	76.7%	92.5%	83.1%	75.3%	62.7%	72.5%	65.9%	90.9%
無回答	2.1%	2.5%	2.0%	0.0%	0.0%	1.5%	0.0%	1.6%	1.5%	4.0%	0.0%



### <全体結果>

結婚相手が同和地区(被差別部落)出身の人かどうか気になるかについては、「気にならない」の割合が7割強を占めている。前回の調査と比べ、「気にならない」の割合は、5.3%増加している。

※問22で「これまでと同じように付き合う」の割合は87.6%であったが、子どもや身内の結婚となると26.4%の人が「気になる」と回答している。

### <性別・年代別>

男女別では、特に大きな差は見られない。

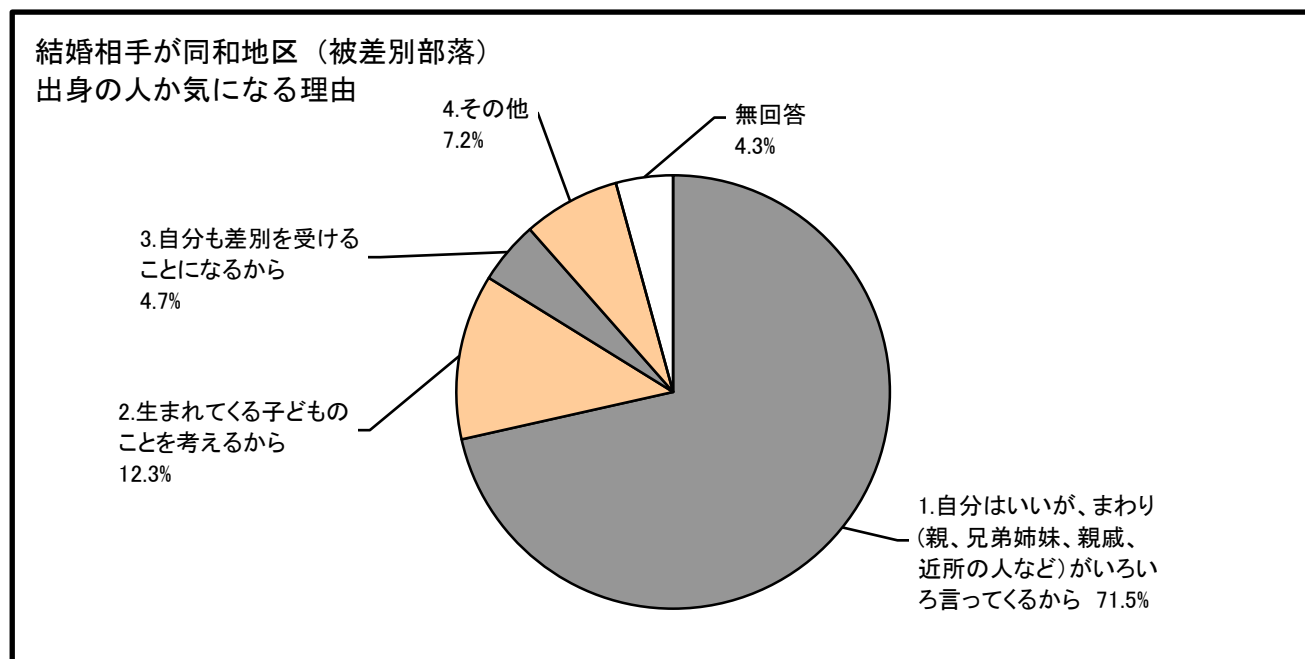
年代別では、「気にならない」の割合は、20代が高く、9割を超えている。

※問22で、20代は「これまでと同じように付き合う」の割合は94.0%となっている。

問24-2 気になる一番の理由は(○は1つだけ)

番号	区 分	村上市 (2020)	村上市 (2011)
1	自分はいいが、まわり(親、兄弟姉妹、親戚、近所の人など)がいろいろ言うてるから	71.5%	72.1%
2	生まれてくる子どものことを考えるから	12.3%	13.8%
3	自分も差別を受けることになるから	4.7%	3.5%
4	その他	7.2%	3.5%
	無回答	4.3%	7.1%

区分	全体	男	女	不明	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明
回答者数	235人	97人	131人	7人	5人	10人	23人	45人	52人	99人	1人
1	71.5%	72.2%	69.5%	100.0%	40.0%	70.0%	78.3%	64.4%	75.0%	72.7%	100.0%
2	12.3%	8.2%	16.0%	0.0%	40.0%	20.0%	4.3%	11.1%	15.4%	11.1%	0.0%
3	4.7%	5.2%	4.6%	0.0%	20.0%	0.0%	4.3%	4.4%	1.9%	6.1%	0.0%
4	7.2%	8.2%	6.9%	0.0%	0.0%	10.0%	13.0%	15.6%	1.9%	5.1%	0.0%
無回答	4.3%	6.2%	3.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.4%	5.8%	5.1%	0.0%



<全体結果>

結婚相手が同和地区(被差別部落)出身の人か気になる理由については、「自分はいいが、まわり(親、兄弟姉妹、親戚、近所の人など)がいろいろ言うてるから」の割合が7割強を占めている。前回調査と比べ、特に大きな差は見られない。

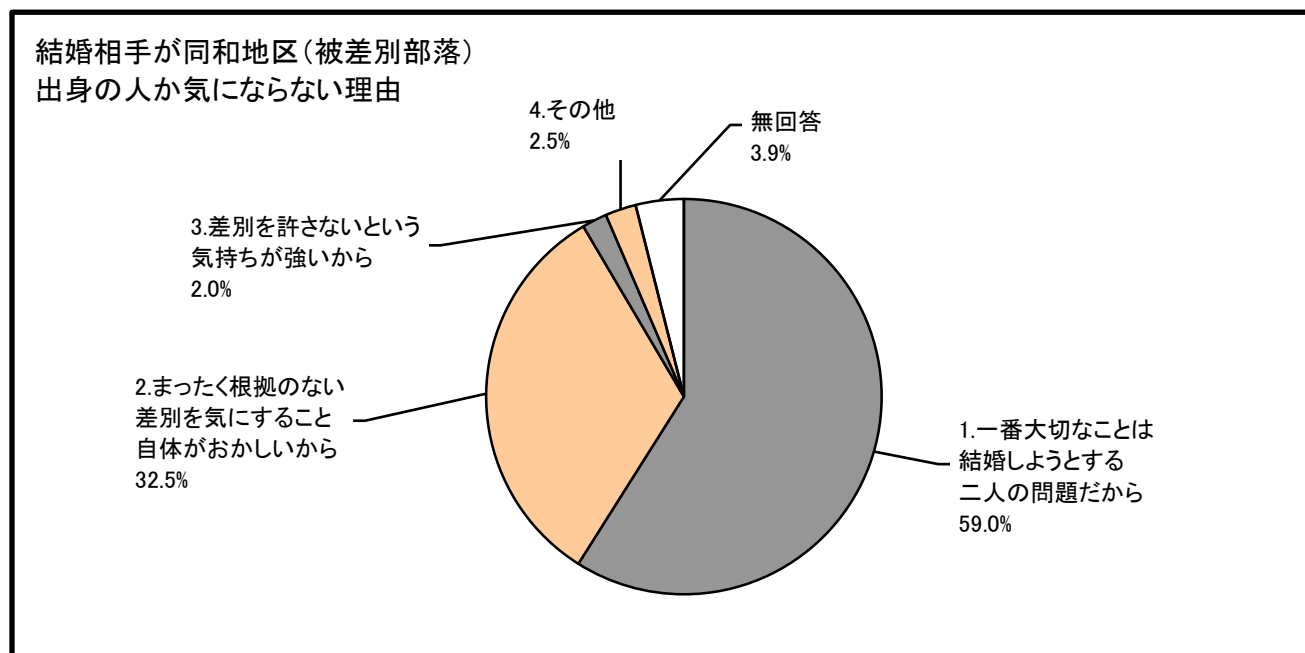
<性別・年代別>

男女別では、「生まれてくる子どものことを考えるから」の割合は女性の方が高くなっている。年代別では、「自分はいいが、まわり(親、兄弟姉妹、親戚、近所の人など)がいろいろ言うてるから」の割合が各年代とも高い。

問24-3 気にならない一番の理由は(○は1つだけ)

番号	区 分	村上市 (2020)	村上市 (2011)
1	一番大切なことは結婚しようとする二人の問題だから	59.0%	59.7%
2	まったく根拠のない差別を気にすること自体がおかしいから	32.5%	30.7%
3	差別を許さないという気持ちが強いから	2.0%	3.4%
4	その他	2.5%	1.5%
	無回答	3.9%	4.7%

区分	全体	男	女	不明	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明
回答者数	636人	293人	320人	23人	62人	54人	70人	79人	145人	216人	10人
1	59.0%	57.0%	60.0%	69.6%	48.4%	59.3%	65.7%	48.1%	56.6%	65.7%	50.0%
2	32.5%	34.1%	31.9%	21.7%	43.5%	31.5%	31.4%	44.3%	34.5%	24.5%	30.0%
3	2.0%	2.7%	1.3%	4.3%	3.2%	0.0%	0.0%	1.3%	3.4%	2.3%	0.0%
4	2.5%	3.1%	1.9%	4.3%	3.2%	5.6%	1.4%	3.8%	1.4%	1.9%	10.0%
無回答	3.9%	3.1%	5.0%	0.0%	1.6%	3.7%	1.4%	2.5%	4.1%	5.6%	10.0%



<全体結果>

結婚相手が同和地区(被差別部落)出身の人が気にならない理由については、「一番大切なことは結婚しようとする二人の問題だから」が最も多く6割弱となっている。次いで「まったく根拠のない差別を気にすること自体がおかしいから」が3割台で続いている。前回調査と比べ、特に大きな差は見られない。

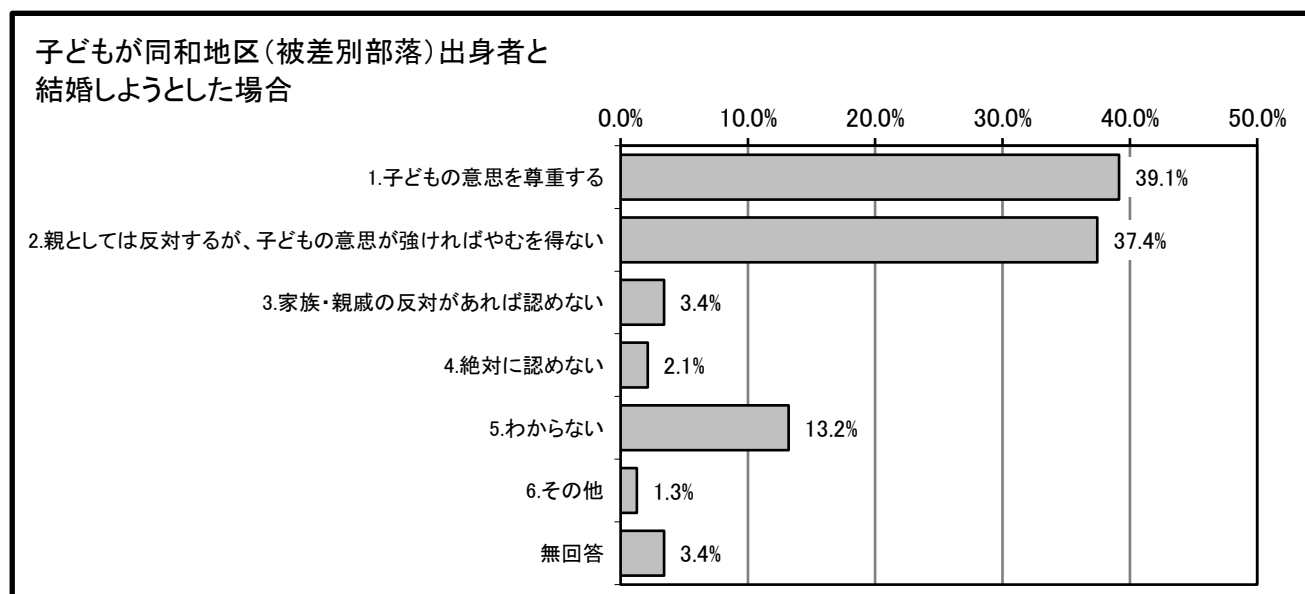
<性別・年代別>

男女別では、特に大きな差は見られない。  
年代別では、40代と70代では「一番大切なことは結婚しようとする二人の問題だから」、20代と50代では「まったく根拠のない差別を気にすること自体がおかしいから」が、他年代層よりも高くなっている。

問25 問24で「1気になる」とお答えの方にお聞きします。あなたのお子さんの結婚しようとする相手が同和地区(被差別部落)出身者であった場合、その結婚についてどのように思いますか。  
(○は1つだけ)

番号	区 分	村上市 (2020)	村上市 (2011)
1	子どもの意思を尊重する	39.1%	29.9%
2	親としては反対するが、子どもの意思が強ければやむを得ない	37.4%	46.8%
3	家族・親戚の反対があれば認めない	3.4%	6.3%
4	絶対に認めない	2.1%	2.8%
5	わからない	13.2%	11.0%
6	その他	1.3%	1.6%
	無回答	3.4%	1.6%

区分	全体	男	女	不明	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明
回答者数	235人	97人	131人	7人	5人	10人	23人	45人	52人	99人	1人
1	39.1%	43.3%	35.1%	57.1%	40.0%	50.0%	47.8%	46.7%	38.5%	32.3%	100.0%
2	37.4%	34.0%	42.0%	0.0%	40.0%	20.0%	17.4%	31.1%	44.2%	43.4%	0.0%
3	3.4%	2.1%	4.6%	0.0%	20.0%	0.0%	4.3%	2.2%	1.9%	4.0%	0.0%
4	2.1%	3.1%	1.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.4%	1.9%	2.0%	0.0%
5	13.2%	12.4%	13.0%	28.6%	0.0%	30.0%	17.4%	13.3%	13.5%	11.1%	0.0%
6	1.3%	1.0%	1.5%	0.0%	0.0%	0.0%	4.3%	0.0%	0.0%	2.0%	0.0%
無回答	3.4%	4.1%	2.3%	14.3%	0.0%	0.0%	8.7%	2.2%	0.0%	5.1%	0.0%



### <全体結果>

子どもが同和地区(被差別部落)出身者と結婚しようとした場合については、「子どもの意思を尊重する」が最も多く4割弱となっている。次いで「親としては反対するが、子どもの意思が強ければやむを得ない」が3割台で続いている。前回の調査と比べ、「子どもの意思を尊重する」が増加し、「親としては反対するが、子どもの意思が強ければやむを得ない」は減少している。

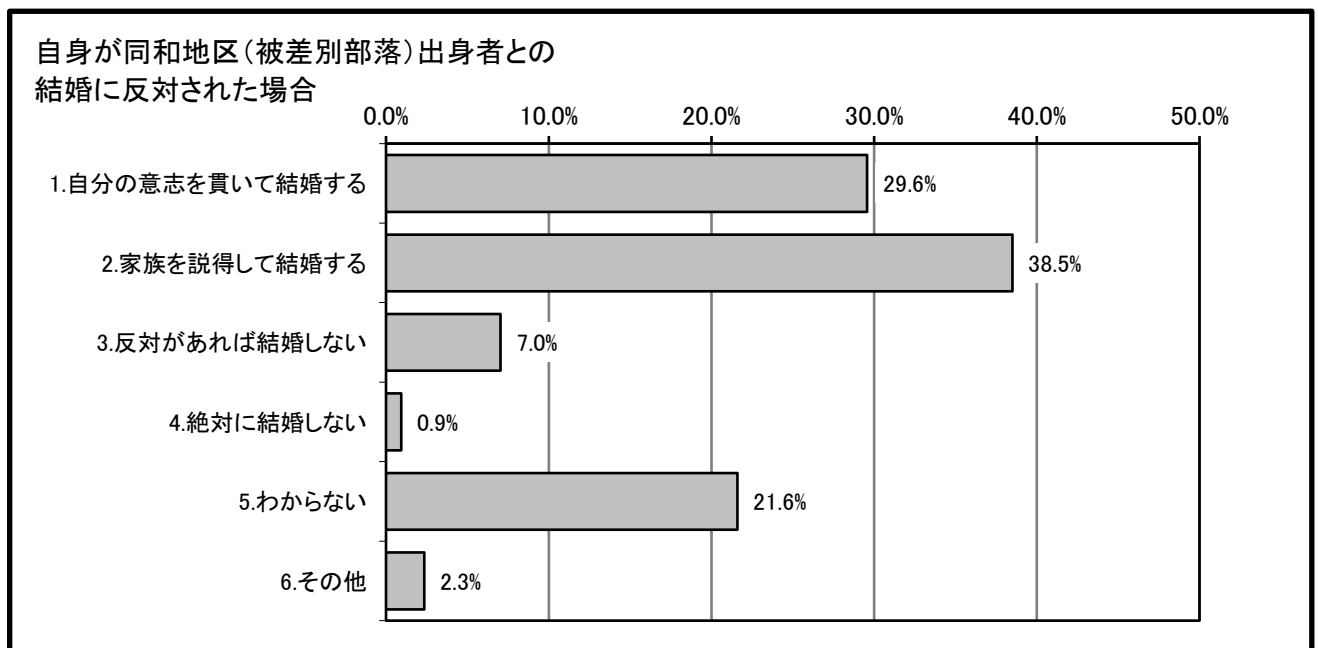
### <性別・年代別>

男女別では、男性は「子どもの意思を尊重する」などの割合が女性より高く、女性は「親としては反対するが、子どもの意思が強ければやむを得ない」などが男性より高くなっている。  
年代別では、30代と40代、50代では「子どもの意思を尊重する」、60代と70代では「親としては反対するが、子どもの意思が強ければやむを得ない」が、他年代層よりも高くなっている。

問26 未婚の方にお聞きます。あなたが、同和地区(被差別部落)出身者と結婚しようとしたとき、家族や親戚から強い反対を受けた場合、あなたはどのように思いますか。  
(〇は1つだけ)

番号	区 分	村上市 (2020)	村上市 (2011)
1	自分の意志を貫いて結婚する	29.6%	32.9%
2	家族を説得して結婚する	38.5%	38.3%
3	反対があれば結婚しない	7.0%	6.6%
4	絶対に結婚しない	0.9%	0.6%
5	わからない	21.6%	19.8%
6	その他	2.3%	1.8%

区分	全体	男	女	不明	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明
回答者数	213人	106人	100人	7人	49人	23人	30人	22人	33人	53人	3人
1	29.6%	34.0%	26.0%	14.3%	20.4%	30.4%	33.3%	22.7%	45.5%	28.3%	33.3%
2	38.5%	34.0%	44.0%	28.6%	55.1%	39.1%	40.0%	36.4%	36.4%	26.4%	0.0%
3	7.0%	5.7%	8.0%	14.3%	6.1%	4.3%	3.3%	9.1%	0.0%	13.2%	33.3%
4	0.9%	0.9%	1.0%	0.0%	2.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.9%	0.0%
5	21.6%	23.6%	18.0%	42.9%	14.3%	26.1%	16.7%	31.8%	18.2%	26.4%	33.3%
6	2.3%	1.9%	3.0%	0.0%	2.0%	0.0%	6.7%	0.0%	0.0%	3.8%	0.0%



### <全体結果>

自身が同和地区(被差別部落)出身者との結婚に反対された場合については、「家族を説得して結婚する」が最も多く4割弱となっている。次いで「自分の意志を貫いて結婚する」、「わからない」が2割台で続いている。前回調査と比べ、特に大きな差は見られない。

### <性別・年代別>

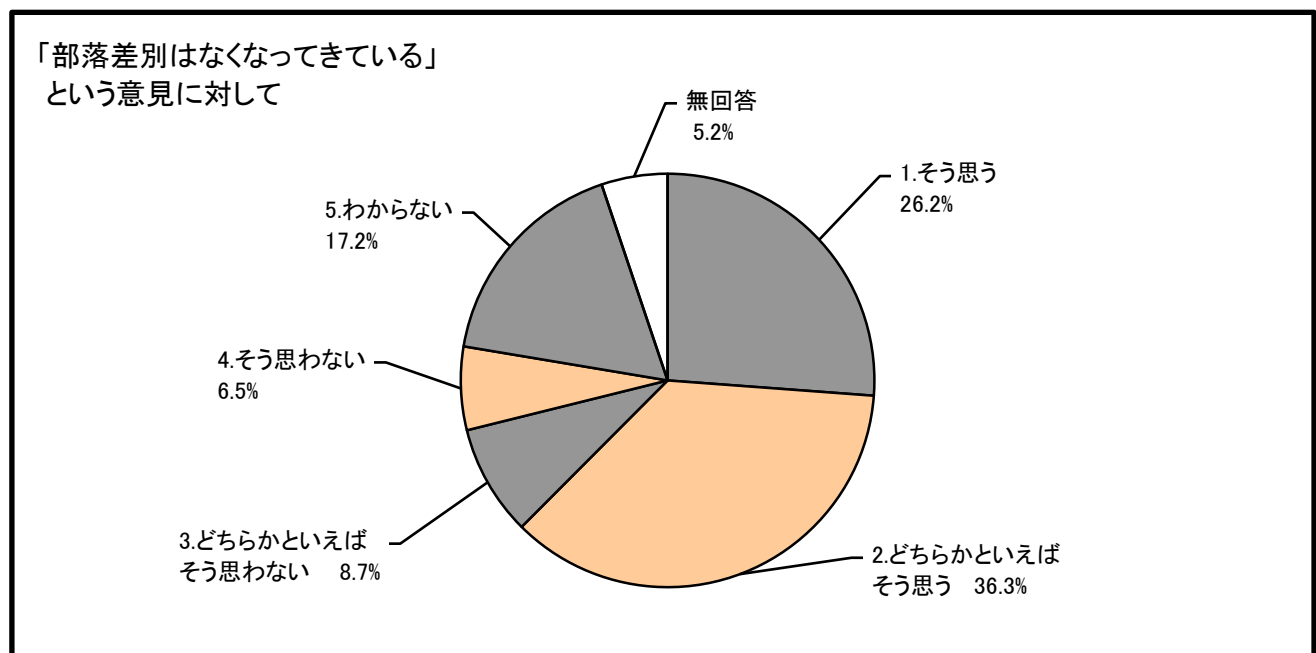
男女別では、男性は「自分の意志を貫いて結婚する」などの割合が女性より高く、女性は「家族を説得して結婚する」などが男性より高くなっている。  
年代別では、「自分の意志を貫いて結婚する」は60代で、「家族を説得して結婚する」は20代で、「わからない」は50代で、他年代層よりも高くなっている。

問27-1 あなたは、次の意見にどう思いますか。（○は1つだけ）

○ 部落差別はなくなってきている。

番号	区 分	村上市 (2020)	村上市 (2011)
1	そう思う	26.2%	28.6%
2	どちらかといえばそう思う	36.3%	37.7%
3	どちらかといえばそう思わない	8.7%	7.3%
4	そう思わない	6.5%	8.2%
5	わからない	17.2%	14.2%
	無回答	5.2%	4.0%

区分	全体	男	女	不明	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明
回答者数	890人	400人	460人	30人	67人	65人	93人	126人	200人	328人	11人
1	26.2%	27.3%	25.7%	20.0%	13.4%	15.4%	20.4%	16.7%	22.0%	38.7%	27.3%
2	36.3%	34.0%	38.9%	26.7%	31.3%	38.5%	38.7%	45.2%	38.0%	31.7%	36.4%
3	8.7%	9.5%	8.0%	6.7%	16.4%	6.2%	7.5%	11.1%	11.0%	5.8%	0.0%
4	6.5%	8.0%	5.4%	3.3%	9.0%	6.2%	8.6%	9.5%	7.5%	4.0%	0.0%
5	17.2%	14.8%	19.3%	16.7%	29.9%	30.8%	20.4%	16.7%	17.0%	11.3%	18.2%
無回答	5.2%	6.5%	2.6%	26.7%	0.0%	3.1%	4.3%	0.8%	4.5%	8.5%	18.2%



### <全体結果>

「部落差別はなくなってきている」という意見については、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計の割合が高く、6割強を占めている。  
 前回調査と比べ、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計の割合は、3.8%減少し、「わからない」の割合は、3.0%増加している。

### <性別・年代別>

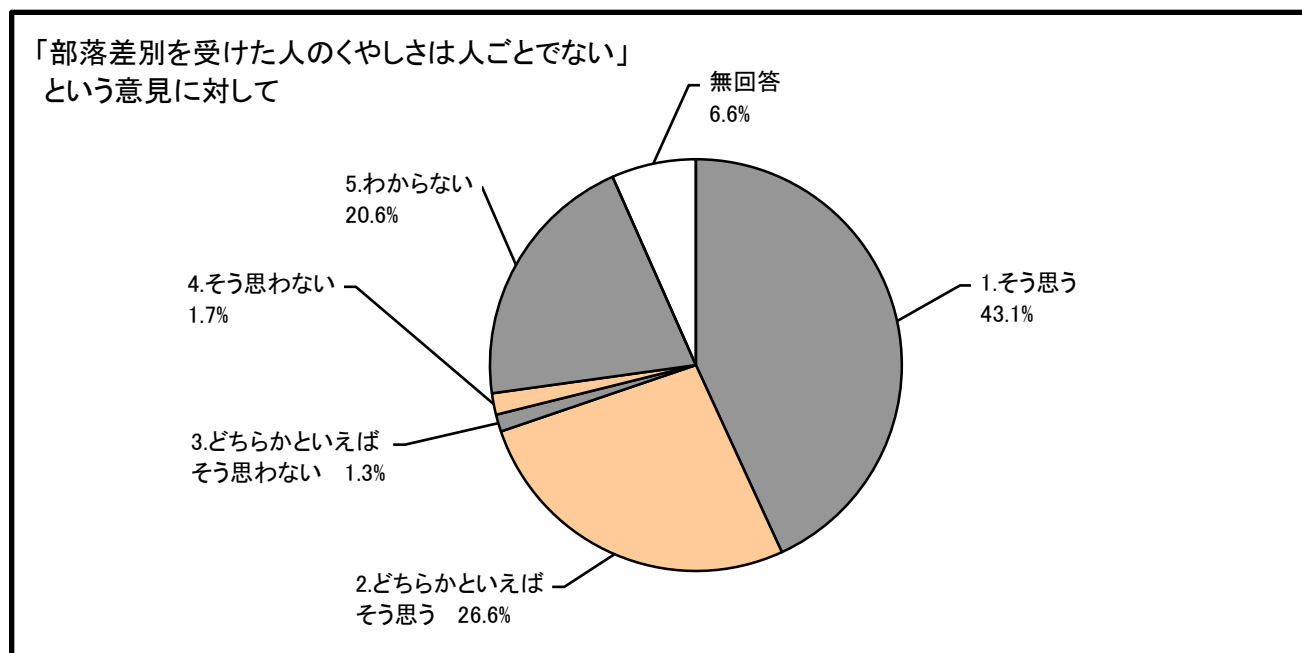
男女別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計の割合は女性の方がやや高くなっている。  
 年代別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計の割合は、70代が7割強で高く、年代が下がるにしたがいその割合は概ね減少し、20代では4割強となっている。「わからない」の割合は30代で高く、約3割となっている。

問27-2 あなたは、次の意見にどう思いますか。（○は1つだけ）

○ 部落差別を受けた人のくやしさは人ごとでない。

番号	区 分	村上市 (2020)	村上市 (2011)
1	そう思う	43.1%	47.0%
2	どちらかといえばそう思う	26.6%	25.0%
3	どちらかといえばそう思わない	1.3%	1.9%
4	そう思わない	1.7%	1.9%
5	わからない	20.6%	18.6%
	無回答	6.6%	5.6%

区分	全体	男	女	不明	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明
回答者数	890人	400人	460人	30人	67人	65人	93人	126人	200人	328人	11人
1	43.1%	44.5%	43.0%	26.7%	53.7%	33.8%	39.8%	35.7%	49.0%	43.0%	45.5%
2	26.6%	26.8%	27.2%	16.7%	26.9%	26.2%	30.1%	32.5%	27.0%	23.5%	18.2%
3	1.3%	1.8%	1.1%	0.0%	0.0%	6.2%	0.0%	2.4%	1.0%	0.9%	0.0%
4	1.7%	1.5%	1.7%	3.3%	3.0%	1.5%	0.0%	3.2%	1.0%	1.5%	9.1%
5	20.6%	17.8%	22.4%	30.0%	14.9%	29.2%	25.8%	24.6%	18.0%	18.9%	9.1%
無回答	6.6%	7.8%	4.6%	23.3%	1.5%	3.1%	4.3%	1.6%	4.0%	12.2%	18.2%



### <全体結果>

「部落差別を受けた人のくやしさは人ごとでない」という意見については、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計の割合が高く、約7割を占めている。  
 前回調査と比べ、特に大きな差は見られない。

### <性別・年代別>

男女別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計の割合は男性の方がやや高くなっている。  
 年代別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計の割合は、20代が8割強で高く、30代で低くなっている。

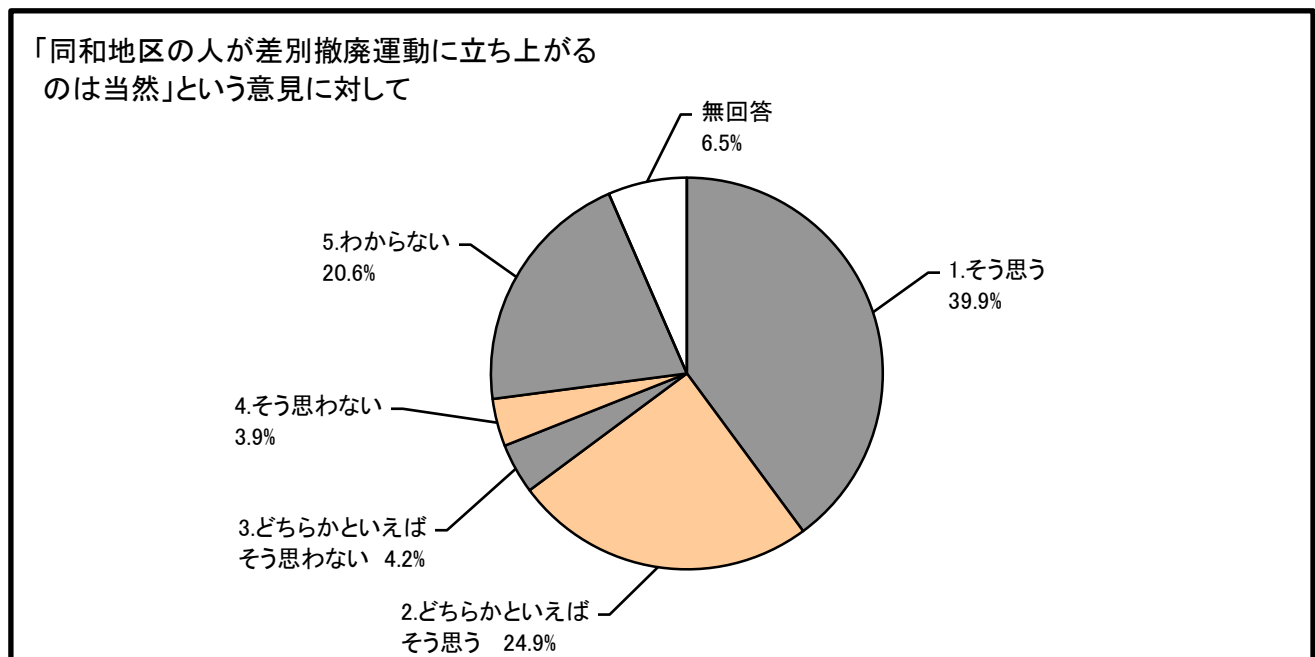


問27-3 あなたは、次の意見にどう思いますか。（〇は1つだけ）

○ 同和地区（被差別部落）の人が差別撤廃運動に立ち上がるのは当然である。

番号	区 分	村上市 (2020)	村上市 (2011)
1	そう思う	39.9%	42.5%
2	どちらかといえばそう思う	24.9%	24.6%
3	どちらかといえばそう思わない	4.2%	5.2%
4	そう思わない	3.9%	4.6%
5	わからない	20.6%	16.2%
	無回答	6.5%	6.9%

区分	全体	男	女	不明	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明
回答者数	890人	400人	460人	30人	67人	65人	93人	126人	200人	328人	11人
1	39.9%	39.0%	41.3%	30.0%	58.2%	40.0%	40.9%	34.1%	41.0%	37.2%	45.5%
2	24.9%	26.3%	24.3%	16.7%	26.9%	29.2%	30.1%	31.0%	25.0%	20.1%	18.2%
3	4.2%	4.8%	3.7%	3.3%	3.0%	4.6%	4.3%	6.3%	3.0%	4.0%	9.1%
4	3.9%	5.0%	3.0%	3.3%	7.5%	3.1%	3.2%	1.6%	6.0%	3.4%	0.0%
5	20.6%	17.5%	23.0%	23.3%	4.5%	20.0%	17.2%	26.2%	21.0%	22.9%	9.1%
無回答	6.5%	7.5%	4.6%	23.3%	0.0%	3.1%	4.3%	0.8%	4.0%	12.5%	18.2%



#### <全体結果>

「同和地区の人が差別撤廃運動に立ち上がるのは当然」という意見については、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計の割合が高く、6割強を占めている。前回調査と比べ、特に大きな差は見られない。

#### <性別・年代別>

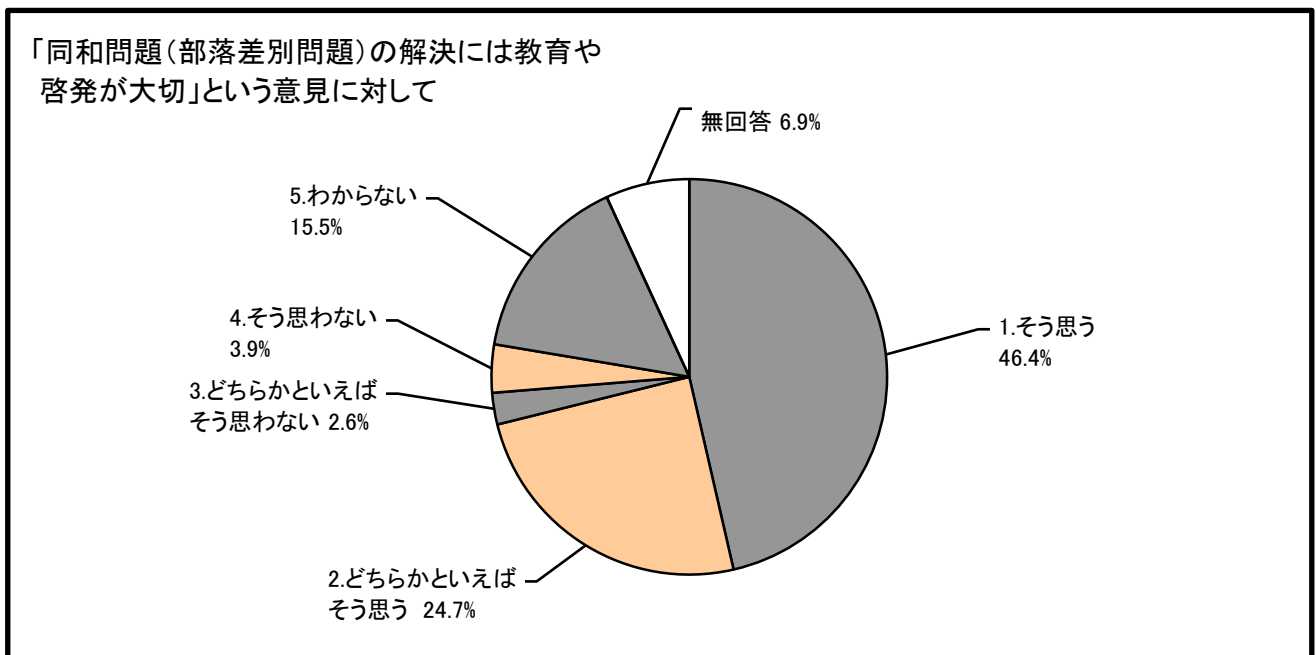
男女別では、「わからない」の割合は女性の方が高くなっている。年代別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計の割合は、20代が8割強で高く、70代で低くなっている。

問27-4 あなたは、次の意見にどう思いますか。（○は1つだけ）

○ 同和問題（部落差別問題）の解決には教育や啓発が大切である。

番号	区 分	村上市 (2020)	村上市 (2011)
1	そう思う	46.4%	49.3%
2	どちらかといえばそう思う	24.7%	20.3%
3	どちらかといえばそう思わない	2.6%	4.7%
4	そう思わない	3.9%	5.6%
5	わからない	15.5%	13.6%
	無回答	6.9%	6.5%

区分	全体	男	女	不明	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明
回答者数	890人	400人	460人	30人	67人	65人	93人	126人	200人	328人	11人
1	46.4%	51.3%	43.3%	30.0%	58.2%	44.6%	43.0%	41.3%	51.0%	44.8%	36.4%
2	24.7%	21.5%	27.4%	26.7%	25.4%	30.8%	35.5%	30.2%	23.5%	18.6%	36.4%
3	2.6%	2.5%	2.8%	0.0%	6.0%	1.5%	2.2%	3.2%	1.5%	2.7%	0.0%
4	3.9%	4.0%	4.1%	0.0%	3.0%	3.1%	2.2%	3.2%	5.5%	4.3%	0.0%
5	15.5%	13.3%	17.2%	20.0%	7.5%	15.4%	12.9%	20.6%	14.5%	16.8%	9.1%
無回答	6.9%	7.5%	5.2%	23.3%	0.0%	4.6%	4.3%	1.6%	4.0%	12.8%	18.2%



#### <全体結果>

「同和問題(部落差別問題)の解決には教育や啓発が大切」という意見については、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計の割合が高く、7割強を占めている。前回調査と比べ、特に大きな差は見られない。

#### <性別・年代別>

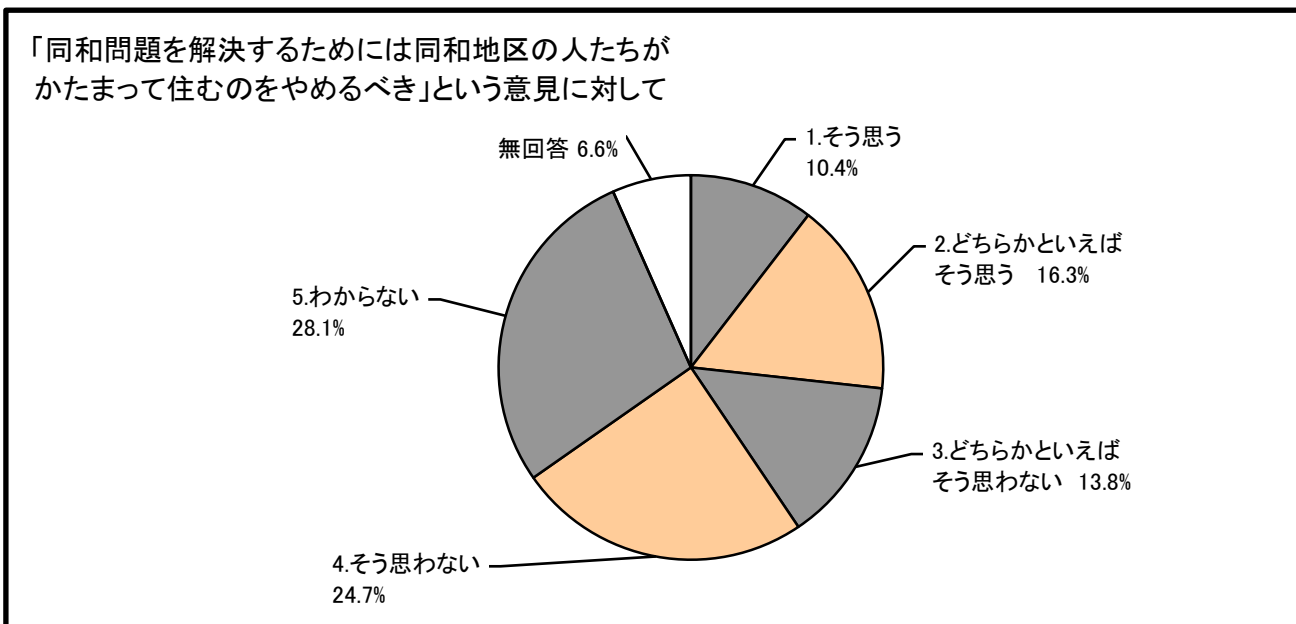
男女別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計の割合は男性の方がやや高くなっている。年代別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計の割合は、20代が8割強で高く、70代で低くなっている。

問27-5 あなたは、次の意見にどう思いますか。（〇は1つだけ）

- 同和問題（部落差別問題）を解決するには同和地区（被差別部落）の人たちが、かたまって住むのをやめるべきである。

番号	区 分	村上市 (2020)	村上市 (2011)
1	そう思う	10.4%	12.9%
2	どちらかといえばそう思う	16.3%	21.5%
3	どちらかといえばそう思わない	13.8%	12.9%
4	そう思わない	24.7%	22.5%
5	わからない	28.1%	24.4%
	無回答	6.6%	5.9%

区分	全体	男	女	不明	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明
回答者数	890人	400人	460人	30人	67人	65人	93人	126人	200人	328人	11人
1	10.4%	8.8%	12.0%	10.0%	7.5%	6.2%	9.7%	4.8%	11.0%	14.0%	9.1%
2	16.3%	19.8%	13.7%	10.0%	13.4%	15.4%	14.0%	23.0%	15.0%	15.9%	18.2%
3	13.8%	14.0%	13.9%	10.0%	22.4%	18.5%	18.3%	11.9%	11.5%	11.9%	18.2%
4	24.7%	25.8%	24.3%	16.7%	29.9%	24.6%	20.4%	31.7%	27.5%	20.4%	27.3%
5	28.1%	24.3%	31.3%	30.0%	26.9%	32.3%	33.3%	27.8%	30.0%	25.6%	9.1%
無回答	6.6%	7.5%	4.8%	23.3%	0.0%	3.1%	4.3%	0.8%	5.0%	12.2%	18.2%



#### <全体結果>

「同和問題を解決するためには同和地区の人たちがかたまって住むのをやめるべき」という意見については、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」の合計の割合が高く、4割強を占めている。前回の調査と比べ、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計の割合は、7.7%減少している。

#### <性別・年代別>

男女別では、「わからない」の割合は女性の方が高くなっている。年代別では、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」の合計の割合は、20代が5割強で高く、40代と60代、70代で低くなっている。「わからない」の割合は30代と40代、60代で高く、3割を超えている。

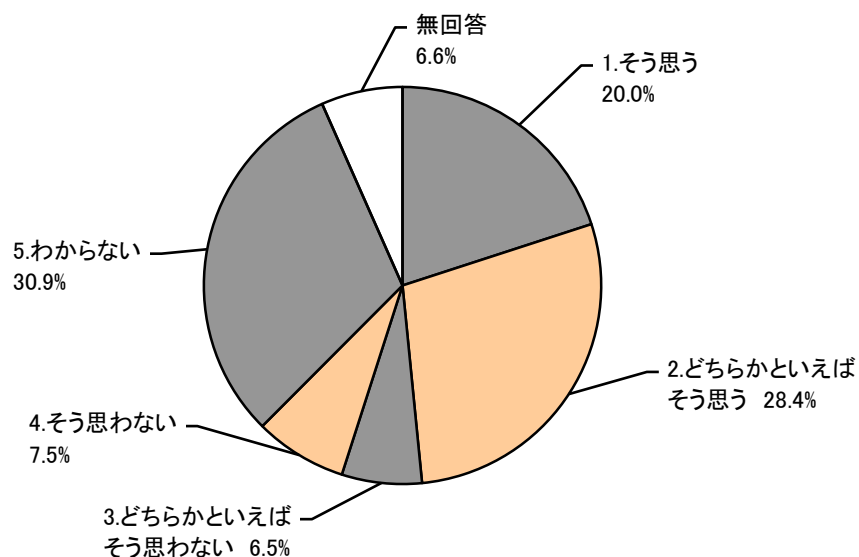
問27-6 あなたは、次の意見にどう思いますか。（○は1つだけ）

○ 部落差別をなくすためには、自分自身が積極的に向き合う必要がある。

番号	区 分	村上市 (2020)	村上市 (2011)
1	そう思う	20.0%	28.0%
2	どちらかといえばそう思う	28.4%	27.9%
3	どちらかといえばそう思わない	6.5%	7.3%
4	そう思わない	7.5%	6.2%
5	わからない	30.9%	24.2%
	無回答	6.6%	6.4%

区分	全体	男	女	不明	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明
回答者数	890人	400人	460人	30人	67人	65人	93人	126人	200人	328人	11人
1	20.0%	20.5%	20.7%	3.3%	22.4%	15.4%	15.1%	11.1%	15.5%	28.4%	9.1%
2	28.4%	30.8%	26.1%	33.3%	38.8%	33.8%	26.9%	29.4%	28.0%	25.0%	45.5%
3	6.5%	6.3%	7.0%	3.3%	4.5%	12.3%	5.4%	9.5%	8.0%	4.0%	9.1%
4	7.5%	8.5%	6.7%	6.7%	9.0%	7.7%	11.8%	11.1%	9.5%	3.7%	0.0%
5	30.9%	26.8%	34.6%	30.0%	25.4%	27.7%	35.5%	38.1%	35.0%	26.5%	18.2%
無回答	6.6%	7.3%	5.0%	23.3%	0.0%	3.1%	5.4%	0.8%	4.0%	12.5%	18.2%

「部落差別をなくすためには、自分自身が積極的に向き合う必要がある」との意見に対し



#### <全体結果>

「部落差別をなくすためには、自分自身が積極的に向き合う必要がある」との意見については、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計の割合が、5割弱を占めている。前回の調査と比べ、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計の割合は7.5%減少し、「わからない」の割合は、6.7%増加している。

#### <性別・年代別>

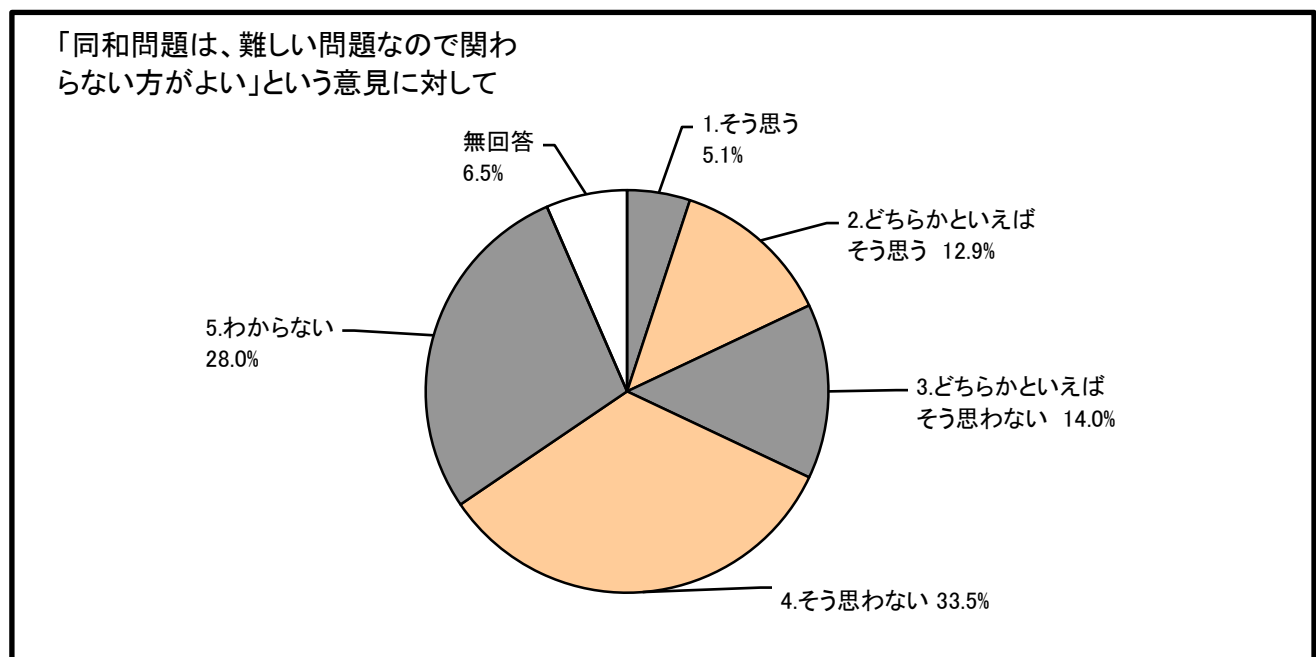
男女別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計の割合は男性の方がやや高く、「わからない」の割合は女性の方が高くなっている。年代別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計の割合は、20代が6割強で高く、30代と40代、50代、60代が4割台で低くなっている。

問27-7 あなたは、次の意見にどう思いますか。（○は1つだけ）

○ 同和問題（部落差別問題）は、難しい問題なので関わらない方がよい。

番号	区 分	村上市 (2020)	村上市 (2011)
1	そう思う	5.1%	4.7%
2	どちらかといえばそう思う	12.9%	12.2%
3	どちらかといえばそう思わない	14.0%	15.4%
4	そう思わない	33.5%	34.5%
5	わからない	28.0%	26.7%
	無回答	6.5%	6.5%

区分	全体	男	女	不明	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明
回答者数	890人	400人	460人	30人	67人	65人	93人	126人	200人	328人	11人
1	5.1%	6.0%	4.6%	0.0%	3.0%	0.0%	1.1%	4.0%	7.0%	7.0%	0.0%
2	12.9%	13.3%	12.6%	13.3%	13.4%	10.8%	14.0%	15.1%	12.5%	12.2%	18.2%
3	14.0%	14.5%	14.1%	6.7%	13.4%	13.8%	18.3%	17.5%	14.5%	11.6%	9.1%
4	33.5%	34.5%	32.8%	30.0%	58.2%	40.0%	28.0%	31.0%	33.0%	29.9%	36.4%
5	28.0%	24.5%	31.1%	26.7%	11.9%	32.3%	34.4%	31.7%	28.5%	27.1%	18.2%
無回答	6.5%	7.3%	4.8%	23.3%	0.0%	3.1%	4.3%	0.8%	4.5%	12.2%	18.2%



#### <全体結果>

「同和問題は、難しい問題なので関わらない方がよい」という意見については、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」の合計の割合が、5割弱を占めている。前回調査と比べ、特に大きな差は見られない。

#### <性別・年代別>

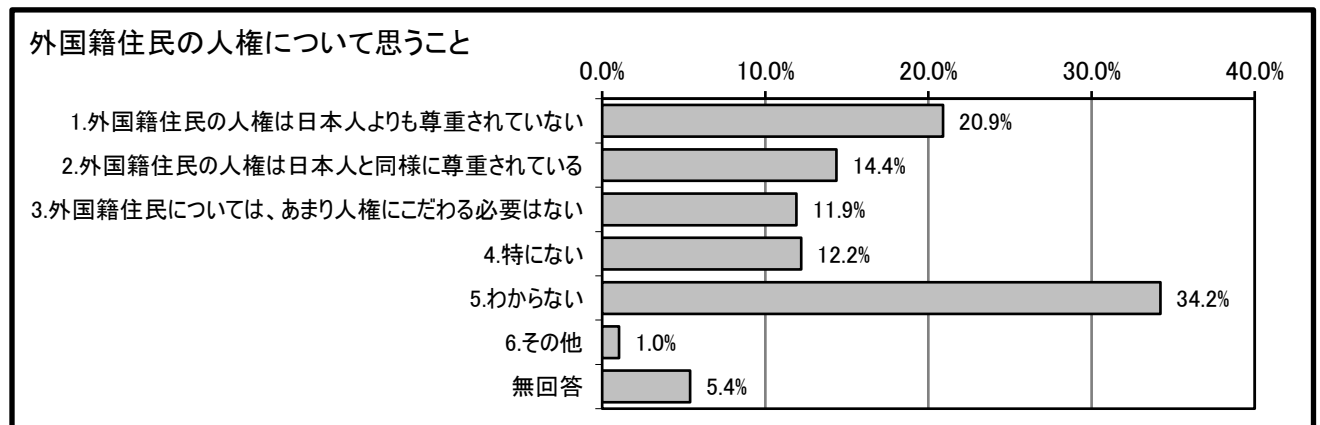
男女別では、「わからない」の割合は女性の方が高くなっている。年代別では、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」の合計の割合は、20代が7割強で高く、40代以上で低くなっている。「わからない」の割合は30代と40代、50代で高く、3割を超えている。

## 7 外国籍住民の人権について

問28 日本に居住する外国籍住民の人権について思うことを次の中から選んでください。  
(○は1つだけ)

番号	区 分	村上市 (2020)	村上市 (2011)
1	外国籍住民の人権は日本人よりも尊重されていない	20.9%	16.6%
2	外国籍住民の人権は日本人と同様に尊重されている	14.4%	15.8%
3	外国籍住民については、あまり人権にこだわる必要はない	11.9%	13.2%
4	特にない	12.2%	11.6%
5	わからない	34.2%	35.7%
6	その他	1.0%	0.3%
	無回答	5.4%	6.8%

区分	全体	男	女	不明	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明
回答者数	1,058人	468人	550人	40人	86人	84人	118人	144人	228人	382人	16人
1	20.9%	22.0%	19.3%	30.0%	43.0%	26.2%	23.7%	20.1%	20.6%	14.1%	25.0%
2	14.4%	17.3%	12.7%	2.5%	10.5%	22.6%	11.0%	16.7%	14.5%	13.9%	6.3%
3	11.9%	11.8%	11.8%	15.0%	5.8%	8.3%	5.1%	12.5%	11.0%	16.0%	25.0%
4	12.2%	13.9%	11.1%	7.5%	7.0%	14.3%	17.8%	6.9%	14.0%	12.3%	6.3%
5	34.2%	28.8%	38.9%	32.5%	31.4%	27.4%	36.4%	39.6%	35.5%	33.5%	18.8%
6	1.0%	1.3%	0.9%	0.0%	1.2%	0.0%	2.5%	2.8%	0.4%	0.5%	0.0%
無回答	5.4%	4.9%	5.3%	12.5%	1.2%	1.2%	3.4%	1.4%	3.9%	9.7%	18.8%



### <全体結果>

外国籍住民の人権については、「わからない」が最も多く3割強となっている。次いで「外国籍住民の人権は日本人よりも尊重されていない」が2割台で続いている。前回調査と比べ、特に大きな差は見られない。

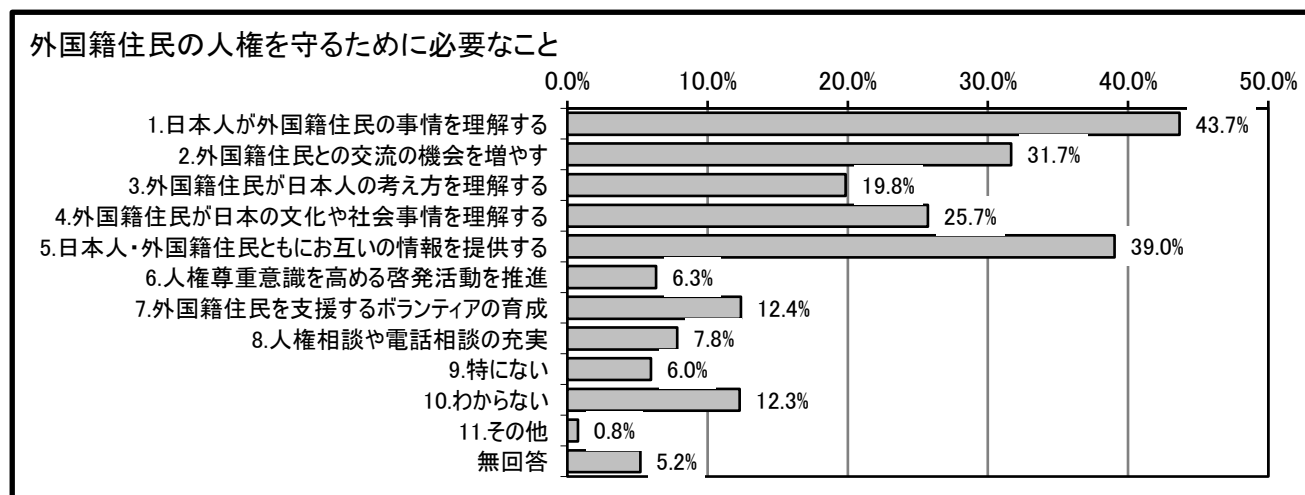
### <性別・年代別>

男女別では、男性は「外国籍住民の人権は日本人と同様に尊重されている」などの割合が女性よりやや高くなっているが、女性は「わからない」などが男性より高くなっている。年代別では、「外国籍住民の人権は日本人よりも尊重されていない」は20代で、「外国籍住民の人権は日本人と同様に尊重されている」は30代で、他年代層よりも高くなっている。

問29 日本に居住する外国籍住民の人権を守るために必要と思われることを次の中からお選びください。  
(○は3つまで)

番号	区 分	村上市 (2020)	村上市 (2011)
1	日本人が外国籍住民の事情を理解する	43.7%	37.5%
2	外国籍住民との交流の機会を増やす	31.7%	33.2%
3	外国籍住民が日本人の考え方を理解する	19.8%	19.2%
4	外国籍住民が日本の文化や社会事情を理解する	25.7%	26.8%
5	日本人・外国籍住民ともにお互いの情報を提供する	39.0%	35.7%
6	人権尊重意識を高める啓発活動を推進	6.3%	5.6%
7	外国籍住民を支援するボランティアの育成	12.4%	8.8%
8	人権相談や電話相談の充実	7.8%	6.7%
9	特にない	6.0%	7.6%
10	わからない	12.3%	15.7%
11	その他	0.8%	0.2%
	無回答	5.2%	7.0%

区分	全体	男	女	不明	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明
回答者数	1,058人	468人	550人	40人	86人	84人	118人	144人	228人	382人	16人
1	43.7%	42.7%	44.5%	42.5%	52.3%	54.8%	39.0%	47.9%	38.6%	42.1%	43.8%
2	31.7%	33.5%	30.0%	32.5%	29.1%	39.3%	37.3%	34.0%	30.3%	28.3%	43.8%
3	19.8%	22.2%	18.0%	17.5%	17.4%	23.8%	16.1%	28.5%	19.3%	17.8%	18.8%
4	25.7%	28.2%	24.2%	17.5%	18.6%	27.4%	19.5%	27.8%	28.9%	26.4%	18.8%
5	39.0%	38.7%	39.5%	37.5%	39.5%	52.4%	44.1%	38.9%	40.8%	33.5%	37.5%
6	6.3%	7.9%	5.3%	2.5%	12.8%	3.6%	5.1%	8.3%	5.7%	5.8%	0.0%
7	12.4%	10.9%	13.6%	12.5%	22.1%	11.9%	15.3%	11.8%	17.1%	7.1%	6.3%
8	7.8%	6.6%	9.3%	2.5%	10.5%	6.0%	3.4%	3.5%	11.4%	8.9%	0.0%
9	6.0%	7.3%	4.5%	10.0%	3.5%	1.2%	6.8%	4.2%	5.3%	8.1%	12.5%
10	12.3%	12.2%	12.4%	12.5%	11.6%	9.5%	8.5%	11.8%	12.7%	14.4%	6.3%
11	0.8%	0.9%	0.7%	0.0%	1.2%	0.0%	3.4%	1.4%	0.0%	0.3%	0.0%
無回答	5.2%	4.5%	5.1%	15.0%	1.2%	0.0%	2.5%	0.7%	3.9%	9.9%	18.8%



### <全体結果>

外国籍住民の人権については、「日本人が外国籍住民の事情を理解する」が最も多く4割強となっている。次いで「日本人・外国籍住民ともにお互いの情報を提供する」、「外国籍住民との交流の機会を増やす」が3割台で続いている。前回調査と比べ、「日本人が外国籍住民の事情を理解する」が増加している。

### <性別・年代別>

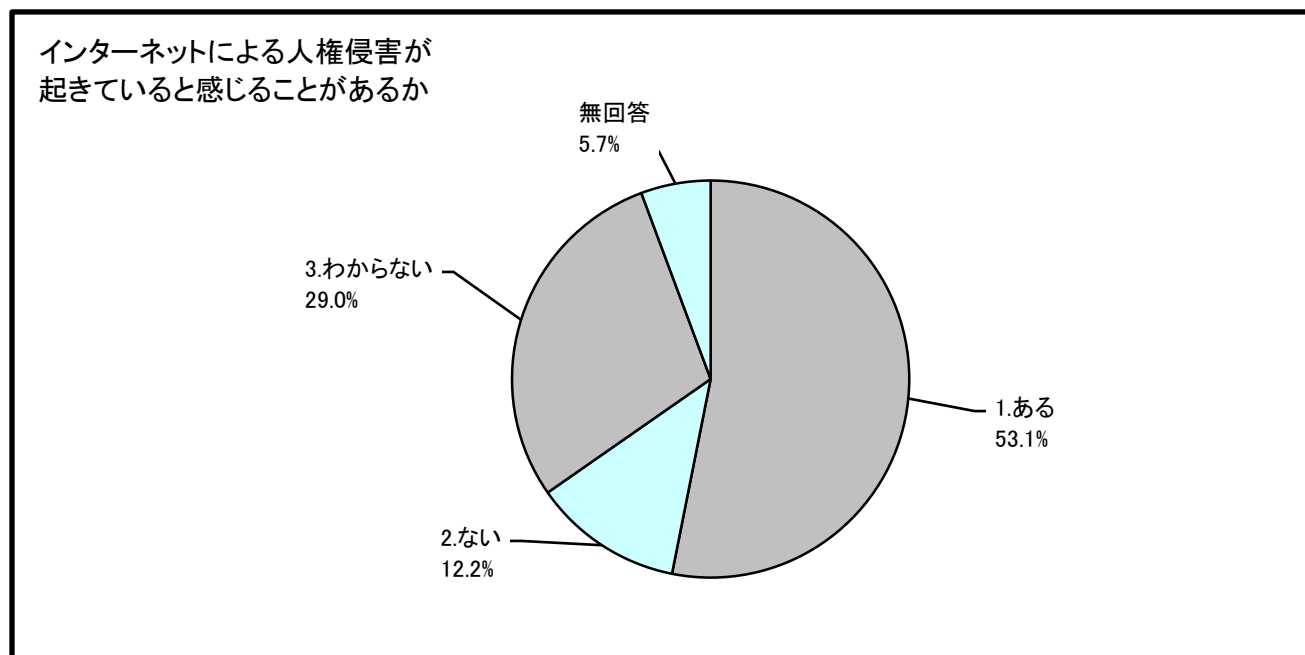
男女別では、特に大きな差は見られない。  
年代別では、「日本人が外国籍住民の事情を理解する」は30代以下で、「日本人・外国籍住民ともにお互いの情報を提供する」は30代で、いずれも半数を超えている。

## 8 インターネットによる人権侵害について

問30-1 あなたは、「インターネットによる人権侵害が起きている」と感じることはありますか。  
(〇は1つだけ)

番号	区 分	村上市 (2020)	村上市 (2011)
1	ある	53.1%	32.2%
2	ない	12.2%	15.7%
3	わからない	29.0%	43.2%
	無回答	5.7%	8.9%

区分	全体	男	女	不明	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明
回答者数	1,058人	468人	550人	40人	86人	84人	118人	144人	228人	382人	16人
1	53.1%	53.6%	53.5%	42.5%	72.1%	89.3%	75.4%	76.4%	53.1%	26.4%	25.0%
2	12.2%	15.4%	9.6%	10.0%	8.1%	1.2%	9.3%	7.6%	14.5%	16.2%	25.0%
3	29.0%	25.9%	31.3%	35.0%	18.6%	9.5%	11.9%	13.9%	29.4%	46.3%	31.3%
無回答	5.7%	5.1%	5.6%	12.5%	1.2%	0.0%	3.4%	2.1%	3.1%	11.0%	18.8%



### <全体結果>

インターネットによる人権侵害が起きていると感じることがあるかについては、「ある」の割合が、5割強を占めている。前回の調査と比べ、「ある」の割合が大きく増加し、「わからない」の割合が減少している。

### <性別・年代別>

男女別では、男性は「ない」の割合が女性より高くなっているが、女性は「わからない」が男性より高くなっている。年代別では、50代以下では「ある」の割合が7割を超え、特に30代では約9割を占めている。一方、70代では「わからない」が4割強を占めている。

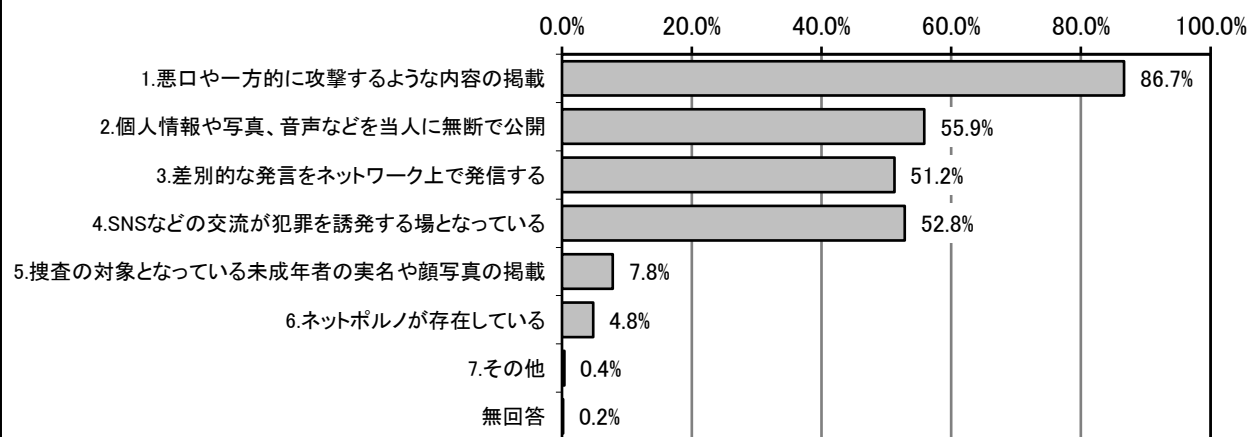


問30-2 (問30-1で)「ある」と回答された方にお聞きします。次のどのようなことで、そう感じますか。(〇は3つまで)

番号	区 分	村上市 (2020)	村上市 (2011)
1	悪口や一方的に攻撃するような内容の掲載	86.7%	76.8%
2	個人情報や写真、音声などを当人に無断で公開	55.9%	55.2%
3	差別的な発言をネットワーク上で発信する	51.2%	43.0%
4	SNSなどの交流が犯罪を誘発する場となっている	52.8%	
	出会い系サイトなどが犯罪を誘発する場となっている		43.6%
5	捜査の対象となっている未成年者の実名や顔写真の掲載	7.8%	8.8%
6	ネットポルノが存在している	4.8%	12.8%
7	その他	0.4%	0.9%
	無回答	0.2%	0.6%

区分	全体	男	女	不明	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明
回答者数	562人	251人	294人	17人	62人	75人	89人	110人	121人	101人	4人
1	86.7%	85.3%	87.4%	94.1%	80.6%	90.7%	89.9%	89.1%	87.6%	80.2%	100.0%
2	55.9%	52.6%	58.2%	64.7%	62.9%	69.3%	64.0%	58.2%	46.3%	44.6%	25.0%
3	51.2%	56.6%	46.6%	52.9%	51.6%	54.7%	47.2%	50.9%	57.9%	44.6%	50.0%
4	52.8%	55.4%	51.0%	47.1%	48.4%	33.3%	40.4%	55.5%	62.0%	67.3%	50.0%
5	7.8%	5.6%	9.2%	17.6%	9.7%	8.0%	5.6%	9.1%	6.6%	7.9%	25.0%
6	4.8%	4.0%	5.4%	5.9%	1.6%	2.7%	5.6%	3.6%	5.0%	7.9%	25.0%
7	0.4%	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.9%	0.0%	1.0%	0.0%
無回答	0.2%	0.0%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.0%	0.0%

### インターネットによる人権侵害が起きていると感じる理由



### <全体結果>

インターネットによる人権侵害が起きていると感じる理由については、「悪口や一方的に攻撃するような内容の掲載」が最も多く9割弱となっている。次いで「個人情報や写真、音声などを当人に無断で公開」、「SNSなどの交流が犯罪を誘発する場となっている」、「差別的な発言をネットワーク上で発信する」が5割台で続いている。前回調査と比べ、「悪口や一方的に攻撃するような内容の掲載」、「差別的な発言をネットワーク上で発信する」が増加し、「ネットポルノが存在している」などが減少している。

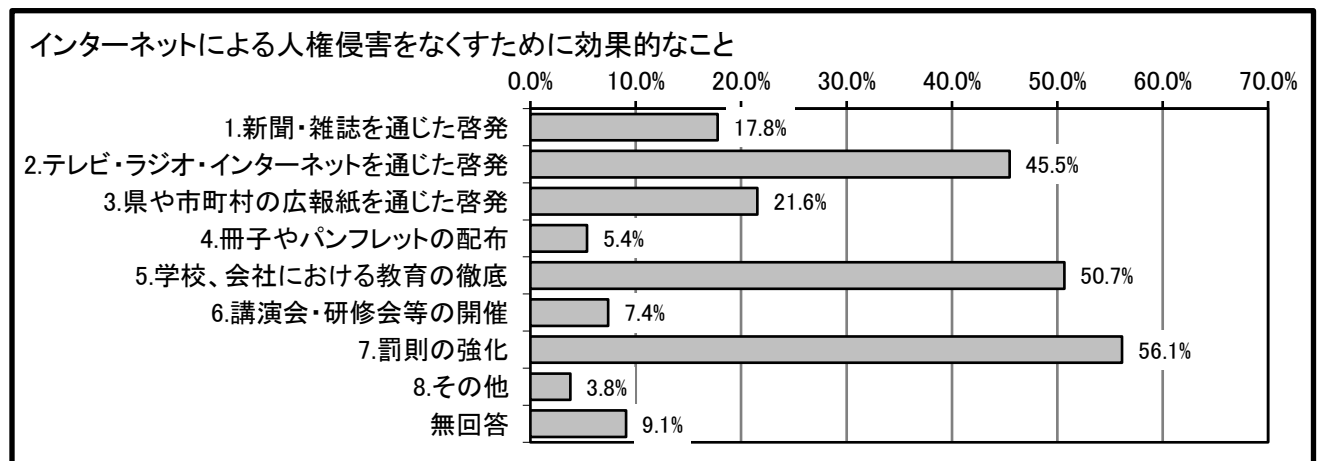
### <性別・年代別>

男女別では、男性は「差別的な発言をネットワーク上で発信する」などの割合が女性より高くなっているが、女性は「個人情報や写真、音声などを当人に無断で公開」などが男性より高くなっている。年代別では、「悪口や一方的に攻撃するような内容の掲載」は各年代で最も割合が高くなっているが、30代では約9割を占めている。「個人情報や写真、音声などを当人に無断で公開」は20代と30代、40代で、「SNSなどの交流が犯罪を誘発する場となっている」は60代と70代で、他年代層よりも高くなっている。

問31 インターネットによる人権侵害をなくすために、どのようなことが効果的だと思われますか。  
次の中からお選びください。(〇は3つまで)

番号	区 分	村上市 (2020)	村上市 (2011)
1	新聞・雑誌を通じた啓発	17.8%	20.3%
2	テレビ・ラジオ・インターネットを通じた啓発	45.5%	42.8%
3	県や市町村の広報紙を通じた啓発	21.6%	23.7%
4	冊子やパンフレットの配布	5.4%	5.4%
5	学校、会社における教育の徹底	50.7%	42.3%
6	講演会・研修会等の開催	7.4%	7.5%
7	罰則の強化	56.1%	38.8%
8	その他	3.8%	1.9%
	無回答	9.1%	17.3%

区分	全体	男	女	不明	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明
回答者数	1,058人	468人	550人	40人	86人	84人	118人	144人	228人	382人	16人
1	17.8%	18.8%	16.9%	17.5%	5.8%	10.7%	15.3%	15.3%	18.0%	23.6%	18.8%
2	45.5%	46.2%	45.3%	40.0%	36.0%	42.9%	39.8%	50.0%	52.6%	43.5%	56.3%
3	21.6%	22.2%	21.5%	15.0%	10.5%	8.3%	13.6%	13.2%	30.7%	27.2%	18.8%
4	5.4%	6.2%	4.5%	7.5%	0.0%	2.4%	2.5%	3.5%	3.9%	9.7%	6.3%
5	50.7%	49.6%	52.4%	40.0%	59.3%	69.0%	59.3%	59.7%	54.4%	37.4%	25.0%
6	7.4%	7.9%	7.1%	5.0%	14.0%	3.6%	6.8%	6.9%	3.5%	9.4%	6.3%
7	56.1%	61.1%	52.2%	52.5%	72.1%	77.4%	68.6%	68.1%	63.6%	35.9%	37.5%
8	3.8%	4.1%	3.6%	2.5%	4.7%	4.8%	5.1%	6.9%	0.9%	3.7%	0.0%
無回答	9.1%	7.5%	9.6%	20.0%	1.2%	0.0%	2.5%	2.8%	6.6%	17.8%	31.3%



### <全体結果>

インターネットによる人権侵害をなくすために効果的なことについては、「罰則の強化」が最も多く6割弱となっている。次いで「学校、会社における教育の徹底」が5割台、「テレビ・ラジオ・インターネットを通じた啓発」が4割台で続いている。前回調査と比べ、「罰則の強化」が大幅に増加している。

### <性別・年代別>

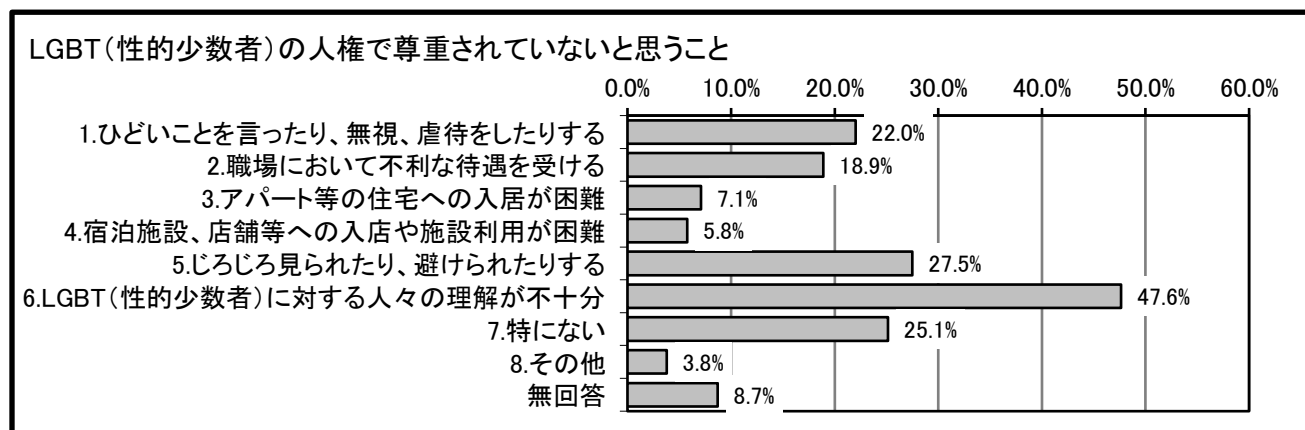
男女別では、男性は「罰則の強化」などの割合が女性より高くなっている。  
年代別では、「テレビ・ラジオ・インターネットを通じた啓発」は50代と60代で、他年代層よりも高くなっている。また、「罰則の強化」の割合は20代と30代が高く7割を超え、70代の割合が3割台と低くなっている。

## 9 LGBT（性的少数者）の人権について

問32 LGBT（性的少数者）の人権で尊重されていないと思うことを次の中から選んでください。  
（○は3つまで）

番号	区 分	村上市 (2020)
1	ひどいことを言ったり、無視、虐待をしたりする	22.0%
2	採用や給与・昇進、仕事内容など、職場において不利な待遇を受ける	18.9%
3	アパート等の住宅への入居が困難	7.1%
4	宿泊施設、店舗等への入店や施設利用が困難	5.8%
5	じろじろ見られたり、避けられたりする	27.5%
6	LGBT(性的少数者)に対する人々の理解が不十分	47.6%
7	特にない	25.1%
8	その他	3.8%
	無回答	8.7%

区分	全体	男	女	不明	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明
回答者数	1,058人	468人	550人	40人	86人	84人	118人	144人	228人	382人	16人
1	22.0%	23.7%	21.5%	10.0%	32.6%	26.2%	23.7%	25.0%	20.6%	18.3%	12.5%
2	18.9%	18.4%	19.8%	12.5%	12.8%	16.7%	19.5%	16.7%	25.0%	18.3%	6.3%
3	7.1%	6.6%	7.5%	7.5%	17.4%	3.6%	3.4%	6.3%	7.0%	6.8%	12.5%
4	5.8%	6.4%	5.3%	5.0%	10.5%	19.0%	2.5%	1.4%	3.5%	5.5%	12.5%
5	27.5%	30.6%	26.0%	12.5%	40.7%	26.2%	32.2%	30.6%	27.2%	23.0%	12.5%
6	47.6%	47.6%	48.0%	42.5%	66.3%	76.2%	61.0%	59.0%	47.8%	29.1%	37.5%
7	25.1%	27.6%	23.5%	20.0%	10.5%	10.7%	21.2%	20.1%	27.6%	33.5%	18.8%
8	3.8%	3.6%	3.8%	5.0%	4.7%	2.4%	2.5%	4.9%	3.9%	3.9%	0.0%
無回答	8.7%	5.8%	10.0%	25.0%	2.3%	1.2%	4.2%	2.8%	5.3%	16.5%	31.3%



### <全体結果>

LGBT(性的少数者)の人権で尊重されていないと思うことについては、「LGBT(性的少数者)に対する人々の理解が不十分」が最も多く5割弱となっている。次いで「じろじろ見られたり、避けられたりする」、「特にない」、「ひどいことを言ったり、無視、虐待をしたりする」が2割台で続いている。

### <性別・年代別>

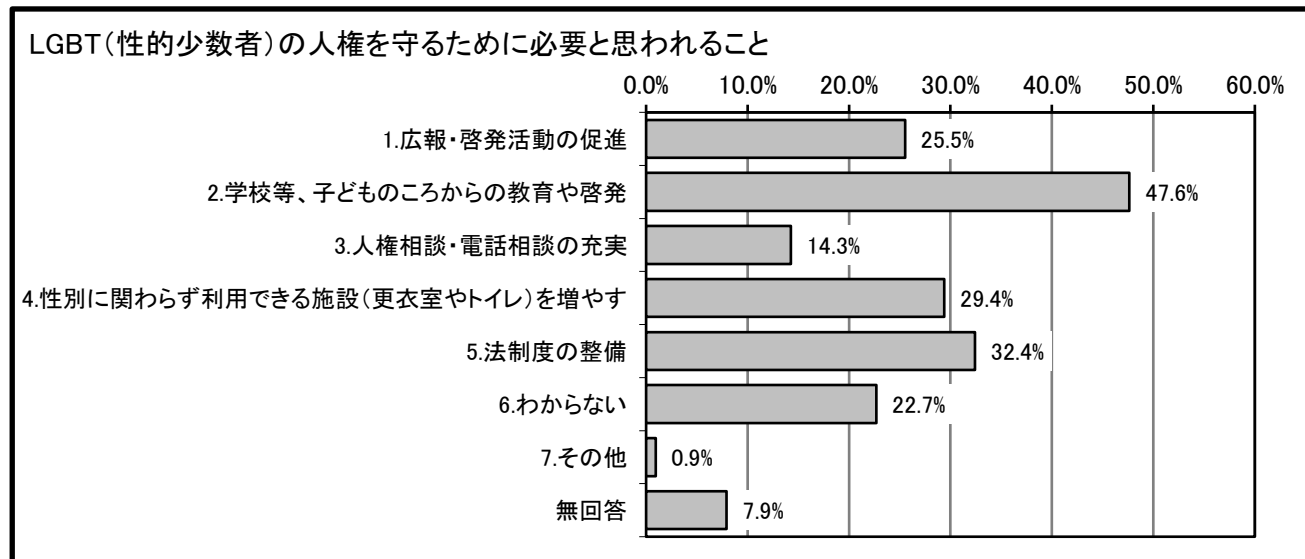
男女別では、特に大きな差は見られない。

年代別では、「じろじろ見られたり、避けられたりする」は20代で、「LGBT(性的少数者)に対する人々の理解が不十分」は30代で、「特にない」は70代で、他年代層よりも高くなっている。

問33 LGBT（性的少数者）の人権を守るために必要と思われることを次の中から選んでください。  
 （〇は3つまで）

番号	区 分	村上市 (2020)
1	広報・啓発活動の促進	25.5%
2	学校等、子どもたちからの教育や啓発	47.6%
3	人権相談・電話相談の充実	14.3%
4	性別に関わらず利用できる施設(更衣室やトイレ)を増やす	29.4%
5	法制度の整備	32.4%
6	わからない	22.7%
7	その他	0.9%
	無回答	7.9%

区分	全体	男	女	不明	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明
回答者数	1,058人	468人	550人	40人	86人	84人	118人	144人	228人	382人	16人
1	25.5%	30.1%	22.4%	15.0%	20.9%	19.0%	20.3%	26.4%	32.0%	25.4%	25.0%
2	47.6%	46.8%	49.1%	12.5%	66.3%	76.2%	52.5%	54.2%	46.1%	34.6%	37.5%
3	14.3%	17.3%	21.1%	7.5%	14.0%	9.5%	10.2%	9.7%	15.4%	17.0%	31.3%
4	29.4%	25.4%	33.3%	5.0%	52.3%	45.2%	33.1%	27.1%	20.6%	17.5%	18.8%
5	32.4%	38.5%	28.0%	12.5%	39.5%	52.4%	39.0%	31.9%	36.4%	22.5%	25.0%
6	22.7%	23.1%	22.7%	42.5%	11.6%	9.5%	17.8%	22.9%	24.6%	29.1%	6.3%
7	0.9%	1.1%	0.7%	20.0%	1.2%	0.0%	2.5%	1.4%	0.4%	0.8%	0.0%
無回答	7.9%	5.6%	8.5%	27.5%	2.3%	0.0%	3.4%	2.1%	5.3%	15.2%	31.3%



#### <全体結果>

LGBT(性的少数者)の人権を守るために必要と思われることについては、「学校等、子どもたちからの教育や啓発」が最も多く5割弱となっている。次いで「法制度の整備」が3割台、「性別に関わらず利用できる施設(更衣室やトイレ)を増やす」、「広報・啓発活動の促進」、「わからない」が2割台で続いている。

#### <性別・年代別>

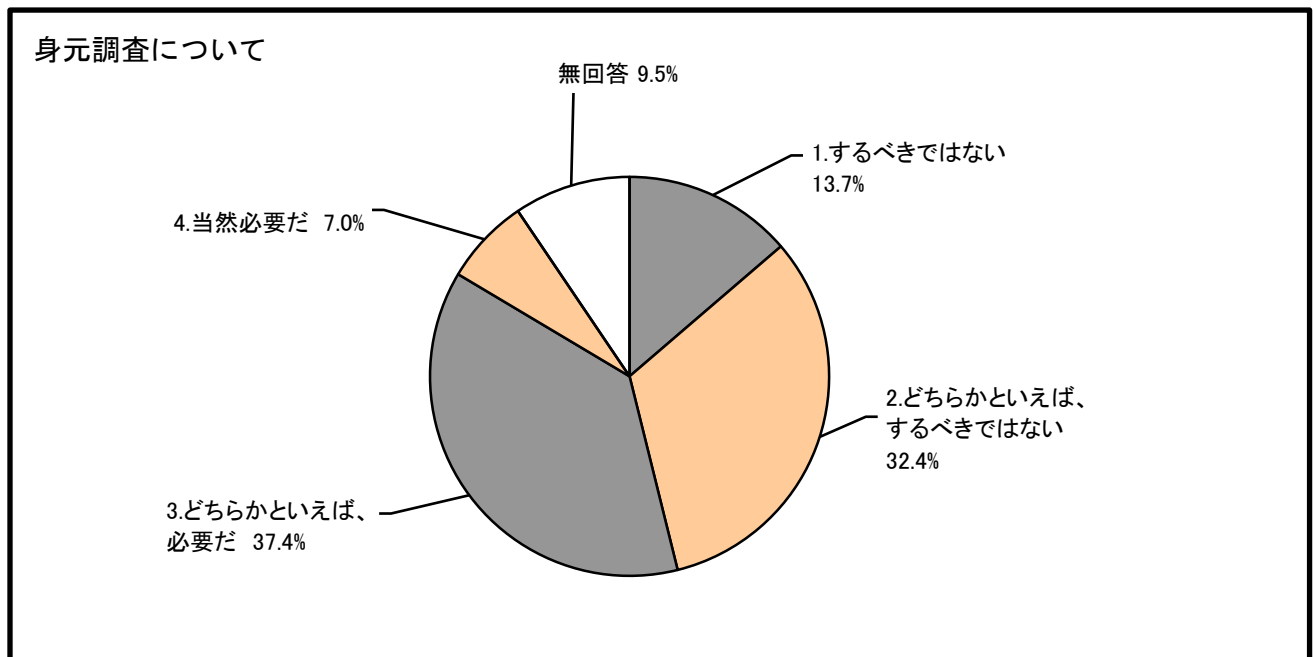
男女別では、男性は「広報・啓発活動の促進」、「法制度の整備」などの割合が女性より高くなっているが、女性は「性別に関わらず利用できる施設(更衣室やトイレ)を増やす」などが男性より高くなっている。  
 年代別では、「学校等、子どもたちからの教育や啓発」は20代と30代で、「性別に関わらず利用できる施設(更衣室やトイレ)を増やす」は20代で、「法制度の整備」は30代で、他年代層よりも高くなっている。

## 10 身元調査について

問34 身元調査について、あなたはどのように考えますか。(〇は1つだけ)

番号	区 分	村上市 (2020)
1	すべきではない	13.7%
2	どちらかといえば、すべきではない	32.4%
3	どちらかといえば、必要だ	37.4%
4	当然必要だ	7.0%
	無回答	9.5%

区分	全体	男	女	不明	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明
回答者数	1,058人	468人	550人	40人	86人	84人	118人	144人	228人	382人	16人
1	13.7%	14.1%	12.9%	20.0%	14.0%	16.7%	9.3%	13.2%	17.1%	12.6%	12.5%
2	32.4%	30.1%	34.9%	25.0%	32.6%	32.1%	29.7%	36.1%	37.3%	28.8%	37.5%
3	37.4%	39.7%	36.2%	27.5%	41.9%	41.7%	50.8%	37.5%	34.2%	33.8%	25.0%
4	7.0%	9.2%	5.5%	2.5%	9.3%	7.1%	5.1%	4.2%	6.1%	8.6%	6.3%
無回答	9.5%	6.8%	10.5%	25.0%	2.3%	2.4%	5.1%	9.0%	5.3%	16.2%	18.8%



### <全体結果>

身元調査については、「どちらかといえば、必要だ」が最も多く4割弱となっている。次いで「どちらかといえば、すべきではない」が3割台、「すべきではない」が1割台で続いている。

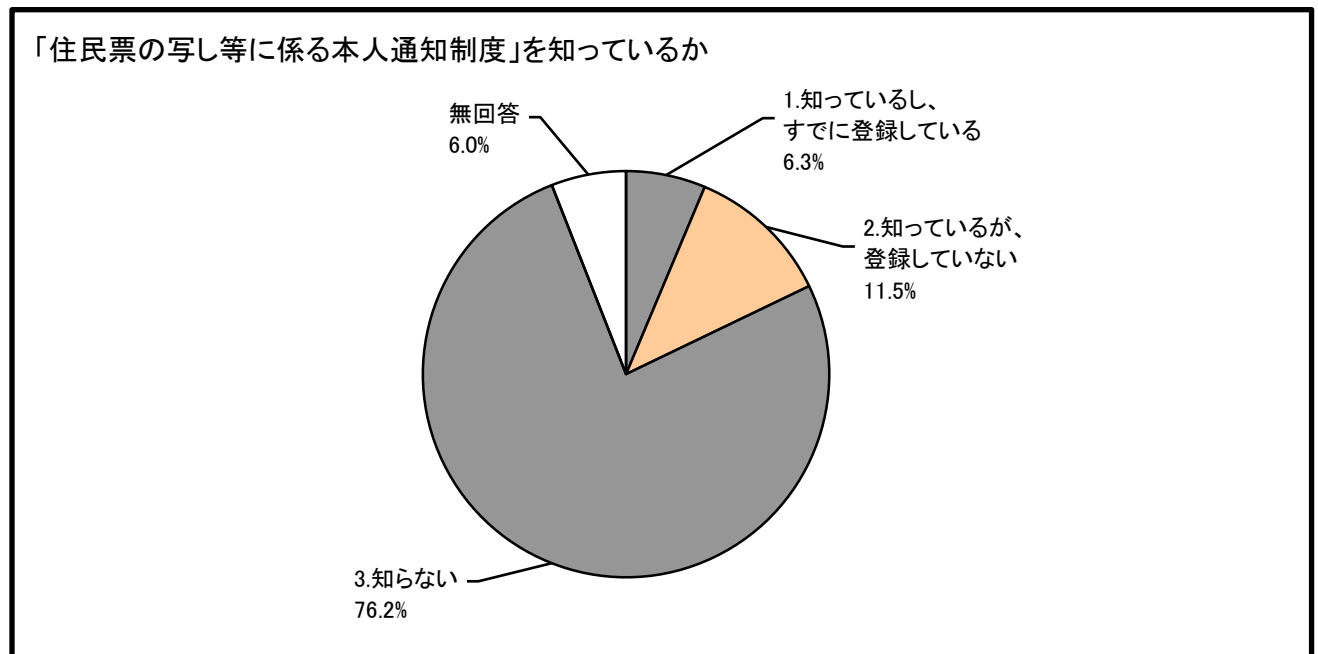
### <性別・年代別>

男女別では、女性は「どちらかといえば、すべきではない」が男性よりやや高くなっている。  
年代別では、「どちらかといえば、必要だ」の割合が、60代以外の各年代で一番高くなっている。

問35 村上市では「住民票の写し等に係る本人通知制度」を実施していることを知っていますか。  
 (〇は1つだけ)

番号	区 分	村上市 (2020)
1	知っているし、すでに登録している	6.3%
2	知っているが、登録していない	11.5%
3	知らない	76.2%
	無回答	6.0%

区分	全体	男	女	不明	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明
回答者数	1,058人	468人	550人	40人	86人	84人	118人	144人	228人	382人	16人
1	6.3%	7.9%	4.9%	7.5%	0.0%	2.4%	3.4%	2.1%	4.8%	11.8%	12.5%
2	11.5%	14.1%	9.8%	5.0%	14.0%	11.9%	11.9%	11.1%	8.8%	12.6%	12.5%
3	76.2%	73.7%	78.7%	70.0%	83.7%	85.7%	82.2%	84.0%	82.9%	64.4%	56.3%
無回答	6.0%	4.3%	6.5%	17.5%	2.3%	0.0%	2.5%	2.8%	3.5%	11.3%	18.8%



#### <全体結果>

「住民票の写し等に係る本人通知制度」を知っているかについては、「知らない」の割合が最も高く、8割弱を占めている。

#### <性別・年代別>

男女別では、女性は「知らない」の割合が男性よりやや高くなっている。  
 年代別では、「知らない」の割合が、70代以外の各年代で8割台と高くなっている。

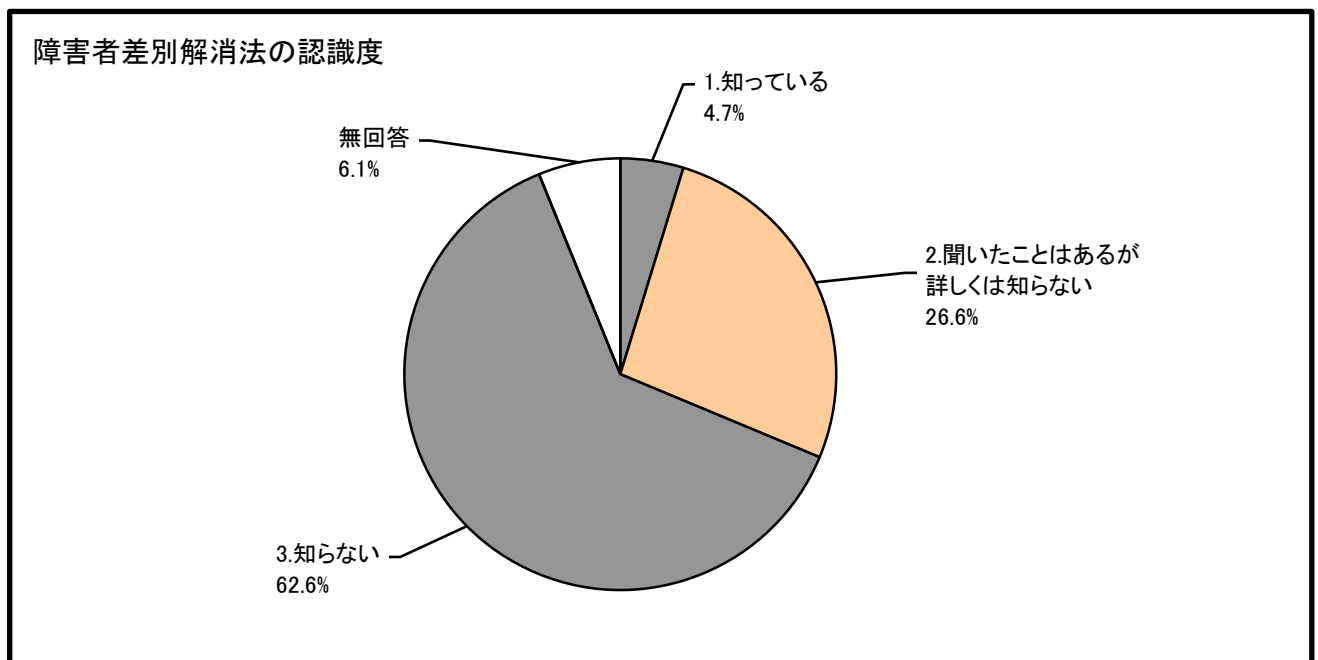
## 1.1 差別を解消するための法律について

問36-1 平成28年に施行された、差別を解消するための法律について、知っていますか。  
(○を1つだけ)

- 「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（障害者差別解消法）」

番号	区 分	村上市 (2020)
1	知っている	4.7%
2	聞いたことはあるが詳しくは知らない	26.6%
3	知らない	62.6%
	無回答	6.1%

区分	全体	男	女	不明	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明
回答者数	1,058人	468人	550人	40人	86人	84人	118人	144人	228人	382人	16人
1	4.7%	5.3%	4.4%	2.5%	5.8%	4.8%	6.8%	7.6%	5.7%	2.4%	0.0%
2	26.6%	28.4%	25.3%	22.5%	29.1%	17.9%	20.3%	25.7%	23.2%	32.2%	25.0%
3	62.6%	62.6%	62.9%	57.5%	62.8%	77.4%	69.5%	64.6%	67.1%	53.9%	56.3%
無回答	6.1%	3.6%	7.5%	17.5%	2.3%	0.0%	3.4%	2.1%	3.9%	11.5%	18.8%



### <全体結果>

障害者差別解消法の認識度については、「知らない」の割合が最も高く、6割強を占めている。

### <性別・年代別>

男女別では、特に大きな差は見られない。

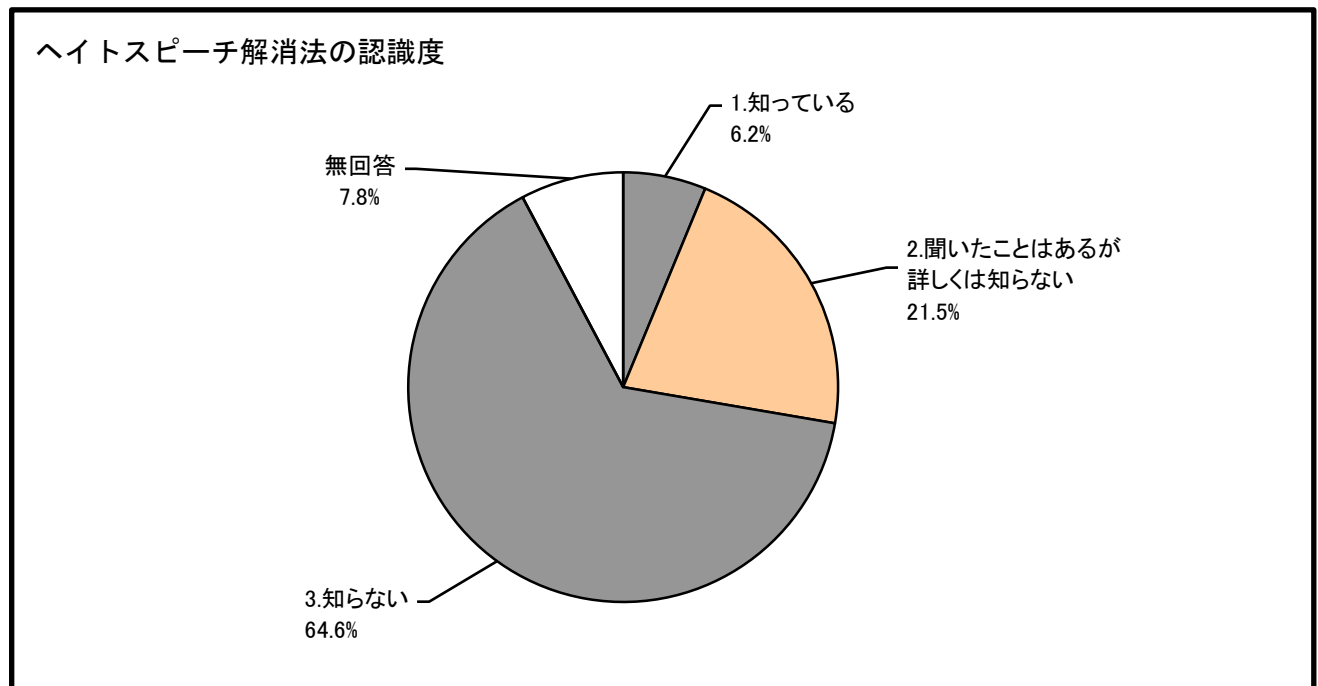
年代別では、「知らない」の割合は、30代で最も高く、8割弱を占めている。

問36-2 平成28年に施行された、差別を解消するための3つの法律について、知っていますか。  
 (○は1つだけ)

- 「本邦外出身者に対する不当な差別的言動の解消に向けた取組の推進に関する法律（ヘイトスピーチ解消法）」

番号	区 分	村上市 (2020)
1	知っている	6.2%
2	聞いたことはあるが詳しくは知らない	21.5%
3	知らない	64.6%
	無回答	7.8%

区分	全体	男	女	不明	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明
回答者数	1,058人	468人	550人	40人	86人	84人	118人	144人	228人	382人	16人
1	6.2%	7.7%	4.9%	7.5%	7.0%	7.1%	4.2%	9.0%	9.6%	3.7%	0.0%
2	21.5%	23.9%	19.8%	15.0%	19.8%	22.6%	25.4%	21.5%	22.4%	19.9%	18.8%
3	64.6%	63.0%	66.7%	52.5%	70.9%	70.2%	66.9%	67.4%	63.6%	61.0%	56.3%
無回答	7.8%	5.3%	8.5%	25.0%	2.3%	0.0%	3.4%	2.1%	4.4%	15.4%	25.0%



#### <全体結果>

ヘイトスピーチ解消法の認識度については、「知らない」の割合が最も高く、6割強を占めている。

#### <性別・年代別>

男女別では、特に大きな差は見られない。

年代別では、「知らない」の割合は、20代と30代で最も高く、約7割を占めている。

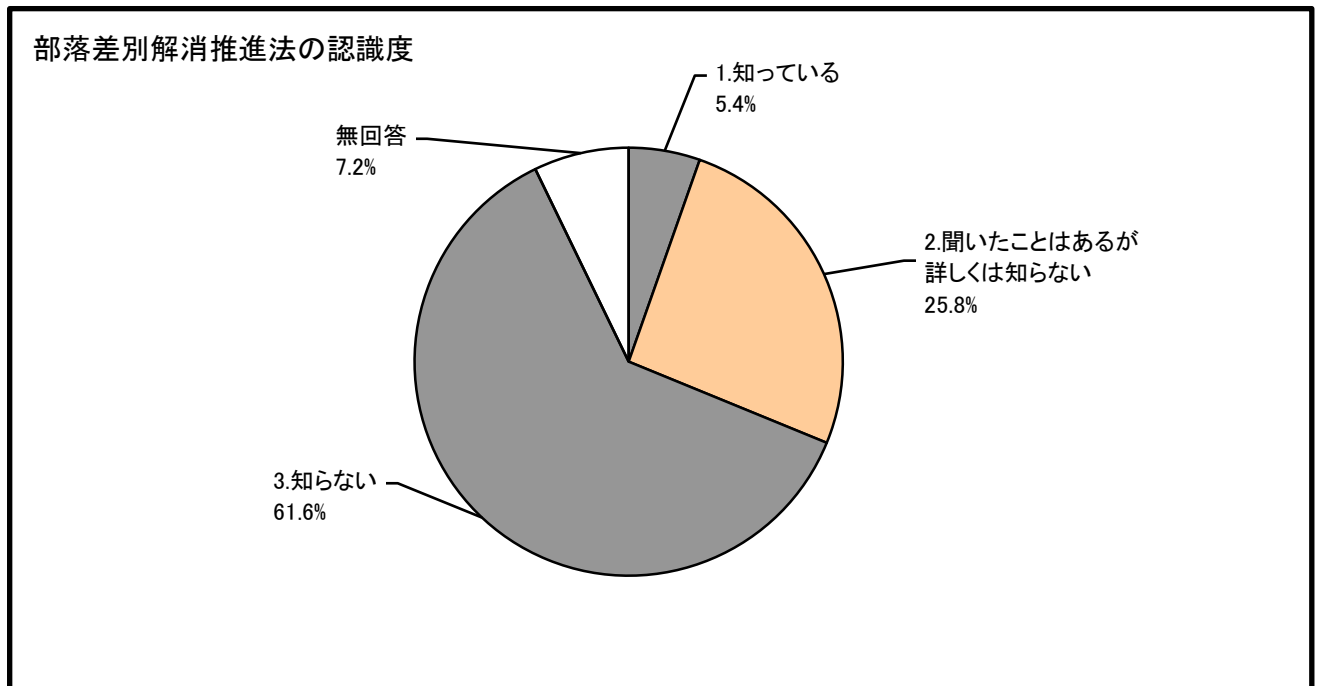


問36-3 平成28年に施行された、差別を解消するための3つの法律について、知っていますか。  
 (○は1つだけ)

○「部落差別の解消の推進に関する法律（部落差別解消推進法）」

番号	区 分	村上市 (2020)
1	知っている	5.4%
2	聞いたことはあるが詳しくは知らない	25.8%
3	知らない	61.6%
	無回答	7.2%

区分	全体	男	女	不明	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明
回答者数	1,058人	468人	550人	40人	86人	84人	118人	144人	228人	382人	16人
1	5.4%	6.8%	4.2%	5.0%	3.5%	6.0%	4.2%	6.9%	8.3%	3.9%	0.0%
2	25.8%	30.1%	22.9%	15.0%	31.4%	17.9%	24.6%	29.9%	23.7%	27.0%	12.5%
3	61.6%	57.9%	65.5%	52.5%	62.8%	76.2%	67.8%	61.1%	64.0%	55.2%	56.3%
無回答	7.2%	5.1%	7.5%	27.5%	2.3%	0.0%	3.4%	2.1%	3.9%	13.9%	31.3%



<全体結果>

部落差別解消推進法の認識度については、「知らない」の割合が最も高く、6割強を占めている。

<性別・年代別>

男女別では、男性は「聞いたことはあるが詳しくは知らない」などの割合が女性より高く、女性は「知らない」などが男性より高くなっている。

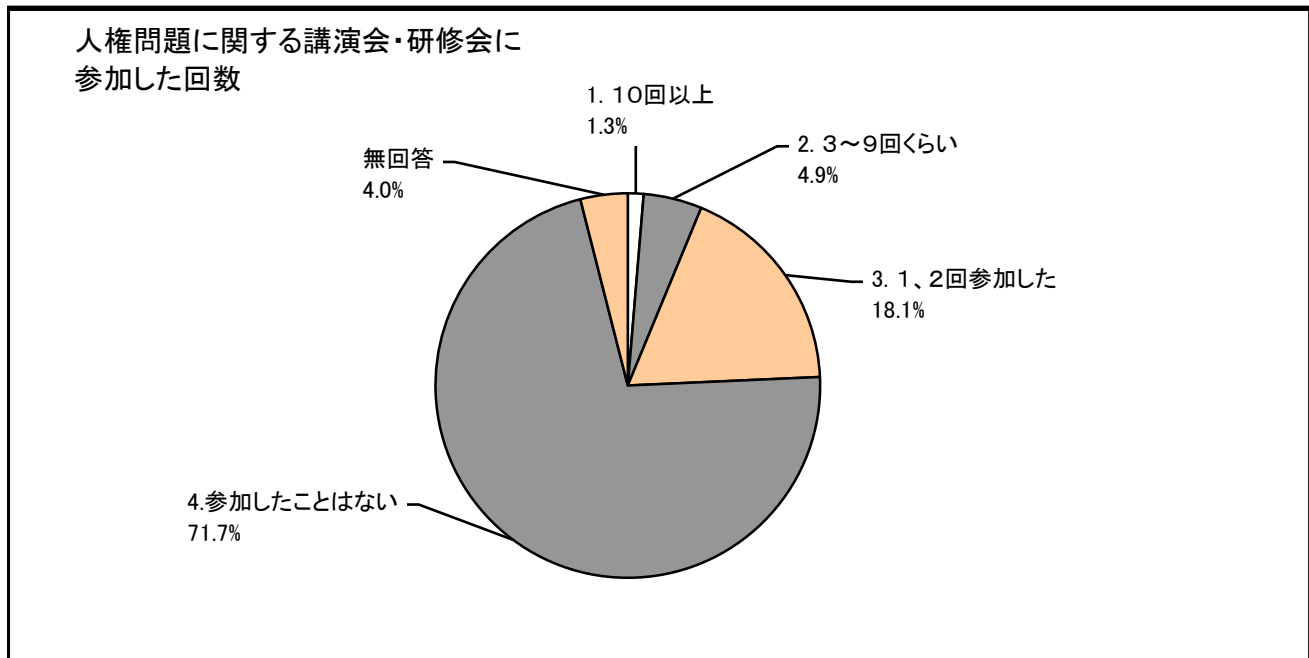
年代別では、「知らない」の割合は、30代で最も高く、8割弱を占めている。

## 1 2 人権問題に関する講演会・研修会について

問37 人権問題に関する講演会、研修会に参加したことがありますか。（〇は1つだけ）

番号	区 分	村上市 (2020)	村上市 (2011)
1	10回以上	1.3%	0.8%
2	3～9回くらい	4.9%	4.0%
3	1、2回参加した	18.1%	11.2%
4	参加したことはない	71.7%	78.3%
	無回答	4.0%	5.7%

区分	全体	男	女	不明	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明
回答者数	1,058人	468人	550人	40人	86人	84人	118人	144人	228人	382人	16人
1	1.3%	2.1%	0.7%	0.0%	1.2%	1.2%	0.8%	4.9%	1.8%	0.0%	0.0%
2	4.9%	5.8%	4.2%	5.0%	14.0%	3.6%	5.1%	5.6%	5.3%	2.9%	0.0%
3	18.1%	16.5%	20.4%	5.0%	38.4%	15.5%	18.6%	19.4%	14.5%	16.0%	6.3%
4	71.7%	73.3%	70.4%	72.5%	44.2%	79.8%	74.6%	68.8%	76.3%	73.3%	81.3%
無回答	4.0%	2.4%	4.4%	17.5%	2.3%	0.0%	0.8%	1.4%	2.2%	7.9%	12.5%



### <全体結果>

人権問題に関する講演会・研修会に参加した回数については、「参加したことはない」が最も多く7割強となっている。次いで「1、2回参加した」が1割台で続いている。

前回調査と比べ、「1、2回参加した」が増加し、「参加したことはない」は減少している。

### <性別・年代別>

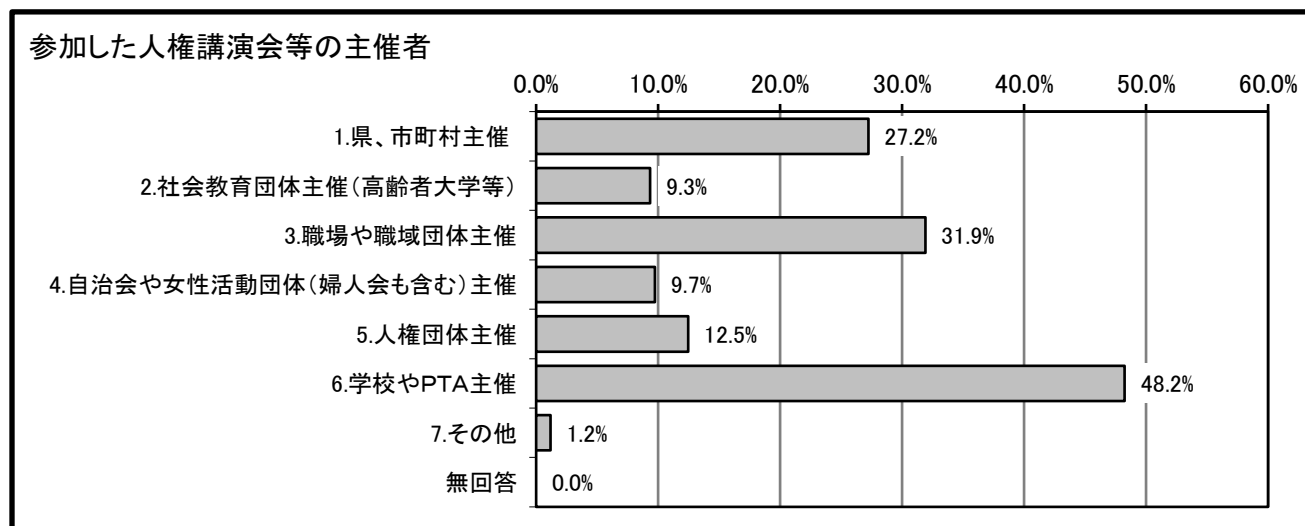
男女別では、女性は「1、2回参加した」の割合が男性よりやや高くなっている。

年代別では、20代では「1、2回参加した」が、他年代層よりも高くなっている。30代と40代、60代、70代では「参加したことはない」の割合が高く、7割を超えている。

問38 次の人権講演会・研修会のうち参加したことがあるものすべてを選んでください。  
(あてはまるものすべてに○)

番号	区 分	村上市 (2020)	村上市 (2011)
1	県、市町村主催	27.2%	43.6%
2	社会教育団体主催(高齢者大学等)	9.3%	9.8%
3	職場や職域団体主催	31.9%	39.3%
4	自治会や女性活動団体(婦人会も含む)主催	9.7%	13.5%
5	人権団体主催	12.5%	23.3%
6	学校やPTA主催	48.2%	33.1%
7	その他	1.2%	0.6%
	無回答	0.0%	1.2%

区分	全体	男	女	不明	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明
回答者数	257人	114人	139人	4人	46人	17人	29人	43人	49人	72人	1人
1	27.2%	39.5%	17.3%	25.0%	10.9%	5.9%	27.6%	34.9%	36.7%	30.6%	100.0%
2	9.3%	10.5%	8.6%	0.0%	2.2%	0.0%	0.0%	2.3%	4.1%	27.8%	0.0%
3	31.9%	37.7%	25.9%	75.0%	8.7%	41.2%	34.5%	48.8%	49.0%	22.2%	0.0%
4	9.7%	7.0%	11.5%	25.0%	2.2%	5.9%	0.0%	4.7%	14.3%	19.4%	0.0%
5	12.5%	14.9%	10.1%	25.0%	0.0%	17.6%	6.9%	11.6%	18.4%	18.1%	0.0%
6	48.2%	38.6%	56.8%	25.0%	87.0%	64.7%	65.5%	55.8%	30.6%	20.8%	0.0%
7	1.2%	1.8%	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.2%	0.0%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%



#### <全体結果>

参加した人権講演会等の主催者については、「学校やPTA主催」が最も多く5割弱となっている。次いで「職場や職域団体主催」が3割台、「県、市町村主催」が2割台で続いている。  
前回調査と比べ、「学校やPTA主催」が増加し、「県、市町村主催」などが減少している。

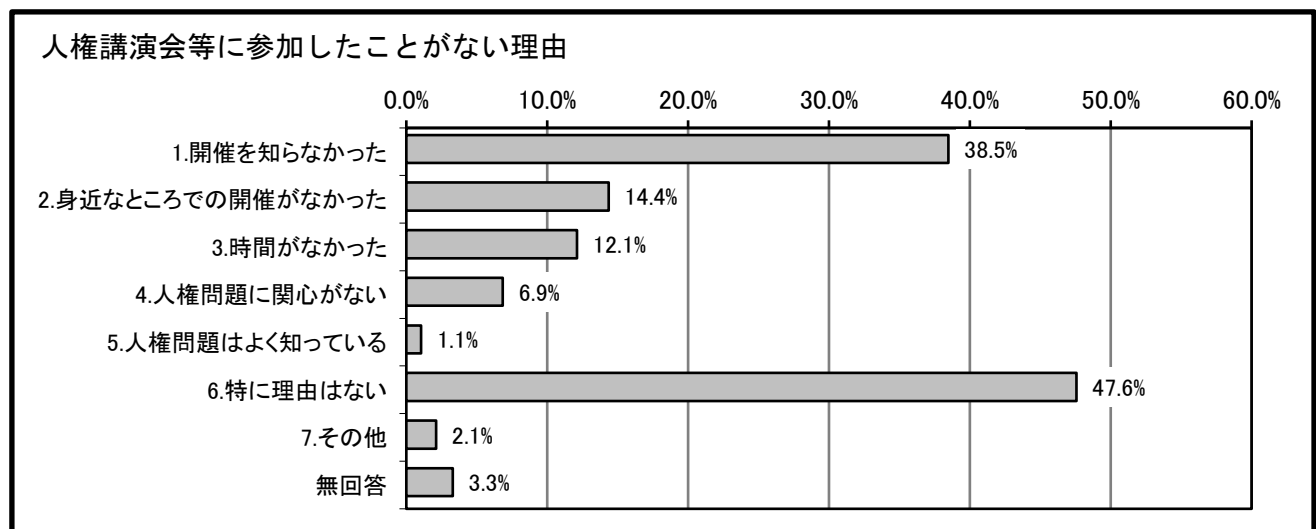
#### <性別・年代別>

男女別では、男性は「県、市町村主催」などの割合が女性より高くなっているが、女性は「学校やPTA主催」などが男性より高くなっている。  
年代別では、「県、市町村主催」は70代で、「職場や職域団体主催」は60代で、「学校やPTA主催」は50代以下が、年代別で最も高い割合を占めている。

問39 人権講演会・研修会に参加したことがない理由を次の中から選んでください。  
 (あてはまるものすべてに○)

番号	区 分	村上市 (2020)	村上市 (2011)
1	開催を知らなかった	38.5%	33.5%
2	身近なところでの開催がなかった	14.4%	19.0%
3	時間がなかった	12.1%	11.5%
4	人権問題に関心がない	6.9%	8.1%
5	人権問題はよく知っている	1.1%	1.8%
6	特に理由はない	47.6%	46.7%
7	その他	2.1%	0.9%
	無回答	3.3%	4.8%

区分	全体	男	女	不明	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明
回答者数	759人	343人	387人	29人	38人	67人	88人	99人	174人	280人	13人
1	38.5%	41.1%	37.2%	24.1%	47.4%	43.3%	31.8%	35.4%	42.5%	36.8%	38.5%
2	14.4%	13.4%	15.8%	6.9%	18.4%	6.0%	10.2%	14.1%	16.7%	16.4%	0.0%
3	12.1%	9.9%	14.0%	13.8%	21.1%	14.9%	13.6%	12.1%	13.2%	8.9%	15.4%
4	6.9%	8.7%	5.2%	6.9%	2.6%	9.0%	9.1%	4.0%	7.5%	7.1%	0.0%
5	1.1%	2.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.3%	1.0%	0.6%	1.4%	0.0%
6	47.6%	49.9%	44.4%	62.1%	31.6%	44.8%	53.4%	52.5%	46.6%	47.9%	38.5%
7	2.1%	2.0%	2.3%	0.0%	0.0%	1.5%	4.5%	3.0%	1.1%	2.1%	0.0%
無回答	3.3%	2.0%	4.1%	6.9%	5.3%	0.0%	0.0%	3.0%	1.7%	5.7%	7.7%



#### <全体結果>

人権講演会等に参加したことがない理由については、「特に理由はない」が最も多く5割弱となっている。次いで「開催を知らなかった」が3割台で続いている。前回調査と比べ、「開催を知らなかった」が増加している。

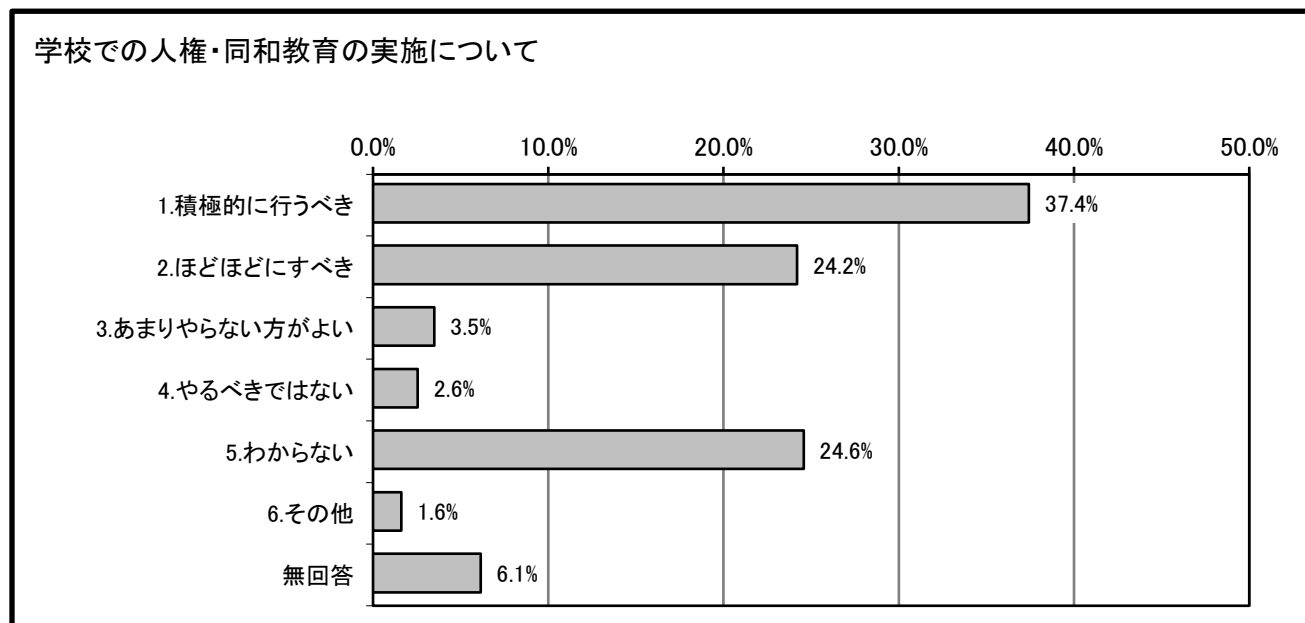
#### <性別・年代別>

男女別では、男性は「特に理由はない」などの割合が女性より高くなっている。年代別では、「開催を知らなかった」は20代と30代、60代で、他年代層よりも高くなっている。「特に理由はない」は40代と50代で半数を超えている。

問40 小・中・高等学校での人権・同和教育を行うことについてどう思いますか。  
次の中から選んでください。（○は1つだけ）

番号	区 分	村上市 (2020)	村上市 (2011)
1	積極的に行うべき	37.4%	30.8%
2	ほどほどにすべき	24.2%	26.4%
3	あまりやらない方がよい	3.5%	5.2%
4	やるべきではない	2.6%	4.1%
5	わからない	24.6%	24.4%
6	その他	1.6%	1.2%
	無回答	6.1%	7.9%

区分	全体	男	女	不明	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明
回答者数	1,058人	468人	550人	40人	86人	84人	118人	144人	228人	382人	16人
1	37.4%	38.0%	37.5%	30.0%	55.8%	44.0%	40.7%	37.5%	42.1%	28.3%	31.3%
2	24.2%	27.6%	21.5%	22.5%	27.9%	36.9%	32.2%	31.3%	19.7%	17.8%	31.3%
3	3.5%	4.5%	2.7%	2.5%	1.2%	1.2%	1.7%	4.9%	2.6%	5.2%	0.0%
4	2.6%	3.0%	2.4%	0.0%	1.2%	3.6%	1.7%	1.4%	3.9%	2.6%	0.0%
5	24.6%	21.8%	27.3%	20.0%	10.5%	13.1%	16.9%	18.1%	26.8%	34.0%	18.8%
6	1.6%	1.5%	1.6%	2.5%	0.0%	0.0%	5.1%	3.5%	0.4%	1.3%	0.0%
無回答	6.1%	3.6%	7.1%	22.5%	3.5%	1.2%	1.7%	3.5%	4.4%	10.7%	18.8%



<全体結果>

学校での人権・同和教育の実施については、「積極的に行うべき」が最も多く4割弱となっている。次いで「わからない」、「ほどほどにすべき」が2割台で続いている。前回調査と比べ、「積極的に行うべき」が増加している。

<性別・年代別>

男女別では、男性は「ほどほどにすべき」の割合が女性より高くなっているが、女性は「わからない」などが男性より高くなっている。年代別では、「積極的に行うべき」は20代で、「わからない」は70代で、他年代層よりも高くなっている。

### 13 人権問題に関するご意見・ご要望

問41 さまざまな人権侵害や部落差別をなくすために、市や学校等はどのような取組をすべきか、ご意見があればお聞かせください。

● この設問では、全体で175件の回答があり、主な意見については、次のとおりである。

#### 1 人権侵害や部落差別に対する取組についての意見・要望（128件）

##### (1) 市に対して（29件）

###### ① 広報・講演会等による啓発の実施（17件）

- ・ 正しく知る、知る機会を与える、お互いが触れ合い理解し合う機会を増やす事が大切である。(30代・男性)
- ・ 人権問題に触れる機会をもっと増やしてほしいです。身近な問題、日常に起こっている問題等、他人事ではなく自分の事と捉えられるような授業や講演会があるといいと思います。  
(40代・女性)
- ・ 問題があるのであれば、人権について様々な法律が成立し施行されているし、部落差別についても「解消の推進に関する法律」のもと、皆が一層理解を深めていかれるように研修や講演会の開催が必要である。(60代・男性)

###### ② その他（12件）

- ・ 人権侵害を受けた人が相談できる環境づくりや、相談先の周知、広報に力を入れて取り組んだ方が良いのではないかと思います。(30代・女性)
- ・ 困っている人や悩んでいる人が電話相談をする事は難しいと思うので、LINE の活用(学校、行政)等ネットをもっと活用する事で直接話せない事も相談しやすくなるかと思う。(学校、行政)(40代・女性)

##### (2) 学校に対して（28件）

###### ① 学習の進め方について（13件）

- ・ 学校では人権教育・同和教育をこれまでと同様、丁寧に取り組んでいってほしいと思います。授業を保護者・地域に公開することで、人権について改めて考える機会になり、大変良かったと感じた経験があります。(40代・女性)
- ・ 子どもへの教育を充実したものにしてほしいです。自分の世代では部落差別について教育があった事は覚えていますが、LGBT や外国人への差別については学校で教育がなかったです。(20代・女性)

## ② 道徳などの授業で取組を（6件）

- ・ いじめが一番の人権侵害だと思う。学校側は人に対する思いやりを一番に教えるべきである。(50代・男性)
- ・ 道徳の授業等で継続して取り上げながら、命の大切さや思いやりの心を育てていただきたい。(70代・女性)

## ③ 取組の必要なし（0件）

## ④ その他（9件）

- ・ 学校でのいじめ等の対応にしっかり取り組み、見逃さないようにするために、教職員の多忙化解消に取り組んで下さい。(60代・女性)

## (3) 市や学校等に対して（71件）

### ① 指導的立場の人の資質向上が必要（8件）

- ・ 子どももだが、教える大人の方がまずは勉強し、それから正しい(人間は差別してはいけない事等)事を子どもに教える。(70代・男性)
- ・ 市議会議員・市役所職員・市の上立つ立場の人が見本にならないといけないと思う。今の村上市は市民を見下していると感じる。再研修、きちんと理解してから市民に教えてほしい。(40代・男性)

### ② 正しい理解のために必要なこと（45件）

#### ○ 人権侵害等全般（42件）

- ・ 人権侵害については、周りの皆様方が少しずつでも関心を持ってもらえるような環境が作れたらと思います。部落差別問題は子どもと親、大人の方が一緒に少しずつ時間をかけて考えていくのが良いと思います。(60代・男性)
- ・ あまり関心がない、関係ないと思っている人達にも他人事ではないと呼びかけ、学校等でも学ぶ機会をもう少し増やすべきだと思います。(20代・女性)
- ・ 市や学校で教育・広報等で行うべきである。(70代以上・男性)
- ・ もしそのような問題が生じた場合、学校では子ども達との話し合いを行い、市報等によって家庭でも人権や差別について考えてもらえる機会をつくると思います。

(70代以上・女性)

### ○ 部落差別（3件）

- ・ 部落差別は、現在の村上市に至ってはなくなっていると思うが、まだ根強く残っているのであれば、その方達の生の声を届け、問題提起し、学校では子ども達の意見を聞き、親と話をしてもらい、大人の意識を変えていけたらと思う。(50代・女性)
- ・ 教育現場での同和教育は、以前より力を入れているように感じます。子どもより大人・地域を対象とした取組の改善が全く感じられません。研修会ではなく、地域誰もが触れられるよう市報等を活用する等工夫が必要だと思います。(30代・女性)

### ③ 人権侵害や部落差別の現状から学ぶ（9件）

- ・ 小学校のうちからいじめや差別について向き合うために、差別等を受けた事がある人からの話を聞き、生徒一人一人の考えを共有する場を積極的に設ける。(20代・男性)
- ・ 理不尽な虐待や人権侵害、部落差別は許されないという事を教育、啓発していく事は必要だと思います。また、個人を守りつつ被害の実態を知らせる事も必要ではないでしょうか。  
(60代・女性)

### ④ 子どもの頃からの教育が大切（9件）

- ・ 小学校低学年の小さいうちから、積極的に学校や家庭で差別について考えさせる環境をつくるべきと考えます。(30代・女性)
- ・ 人はそもそもそれぞれ個性があり、皆同じではない事。今、障がいがない健康体だったとしても自分だって事故や病気で、あるいは年を取っておじいさん・おばあさんになって人の手を借りないと生きられなくなる事があるかもしれない事を早くから教えてほしい。  
(50代・女性)

## 2 現状維持や消極的・否定的な意見（21件）

### ○ 人権侵害等全般（9件）

- ・ 人権侵害はなくならないと思う。たとえ表面上が良く見えても、根の方から解決しなければ繰り返す。(40代・男性)
- ・ 人権問題はあまり取り上げない方が良く思う。(70代以上・男性)
- ・ 言わなくてもいい事、知らなくてもいい事があると思うので何もなくていいと思う。  
(30代・女性)

### ○ 部落差別（12件）

- ・ 私は40代後半ですが、私自身部落差別について詳しく聞いた事がなく、子どもの頃に親に尋ねても、うやむやに流されていました。詳しく知らないため、関心が薄いまま現在に至ります。それを思うと我々の子ども世代等は更によく知らないまま大人になると思います。部落



差別について話題にしないというのも差別がなくなっていく事につながっていくのではと思います。(40代・女性)

- ・ 部落差別について若い人達は知らない人が多いと思うので、特に取り上げない方がいいかと思います。(70代以上・女性)
- ・ 積極的な取組は必要ないと思う。今の子ども達には部落差別という概念はなくなりつつあると思う。事実として歴史を教える必要はあると考えるが、今後減少に伴い、少数集落も消滅していくため、部落という言葉自体がなくなるのではないか。(30代・男性)

### 3 わからない、関心がない (10件)

- ・ 人権問題を身近に感じた事が全くない環境で生まれたので、知識としては感じて、実感は出来ない為によく分からないのが本音です。(60代・女性)

### 4 その他 (16件)

- ・ どのような障がいであろうと、どのような環境であろうと、健やかに生きる権利が全国民・全人民にあるという事を教える。(70代以上・男性)

**問42** さまざまな人権侵害や部落差別をなくすために、あなたやあなたの身近な人がどのような取組をすべきか、ご意見があればお聞かせください。

● この設問では、全体で142件の回答があり、主な意見については、次のとおりである。

#### 1 人権侵害に対する意見 (112件)

##### (1) 現状に対する取組方について (7件)

- ・ 実際にこのような悲しい事があるんだよと、自分達はそのような事をしないようにしていこうと話し合う。(30代・男性)
- ・ まずは人権侵害や部落差別の現状を理解し、自分達が差別的な考え方をしていないかを見直す必要がある。(20代・男性)

##### (2) 啓発や教育などの取組について (27件)

- ・ 子どもの人権に対しては、子育て広場等を利用し子育ての悩み等話せるよう誘ったり、地域の中で見守っていきたい。いじめ問題に対しても地域で遊んでいる子ども達に目を向け、疑わしく思えたら学校等に知らせたいと思うが、経験上学校では対応してくれないので、必ず助けていただけるような機関があると良いと思う。(50代・女性)
- ・ 侵害・差別について偏った見解、つまり偏見があると思えるので、お互いの情報を知る必要があると思う。(70代以上・男性)
- ・ 色々な人が正しい認識ができるよう広報啓発活動を通して学ぶ事が大切だと思います。日

常では何げなく発した言葉が相手を傷つける事が多々あります。気づきができるような研修等が、回数が少なくても開催されればいいと思います。(70代以上・女性)

### (3) 個々の対応や心構えについて (73件)

- ・ 人権侵害・部落差別等を聞いたり、知った時は町内・部落等で色々な会があり、その時に話し合いをし、人種差別等がいかにか無意味であるか話し合いをする。(70代以上・男性)
- ・ 人権侵害や差別をする人間を許さない・戦う気持ちを持つことが大切である。(50代・男性)
- ・ 私達親が知らない事も多いので学ばなければならないし、知っている事は子どもにも教えたりしていかなければならない。(30代・女性)
- ・ 常に個々の人格を尊重する。自分以外の意見を批判的態度で捉えるのではなく「そういう考え方の人もいる」と素直に受け止め、存在を認め合う。(40代・女性)
- ・ 自分で出来る事としては、差別について知識がないと知らず知らずのうちに差別をしている事に気がつかないと思うので、新しい情報を常に意識して取り入れていく事が大切ではないかと考えます。(20代・女性)

### (4) 現状維持や消極的考え (5件)

- ・ LGBT や部落差別は年代によって捉え方が違います。若者の考え方は高齢者よりも多様性があると思うので、そこまで人権侵害や差別の考えがないので、今の若い世代では特に問題にならないのではと思います。(20代・男性)

## 2 部落差別問題に対する意見 (13件)

### (1) 取組に対する考え (4件)

- ・ 血の濃い部落で「たいし、たいし」と悪口をいまだに言っている者が結構いて、親類にもいます。言われた者にしてみれば不快です。学校・職場で、この問題に対し講習等を行ってほしいです。(40代・男性)
- ・ 部落差別は同じ人間なので気にする必要はないと思われるが、普段の生活の中で部落差別をする様な話をするべきでないので、普段の生活の中での取組の啓発を行うべきである。(70代以上・男性)

### (2) 部落差別に対する考え (5件)

- ・ 私の近くにも同和の人だと言われている人がいますが、私は平常に付き合っていますし、これからもそのようにやっていきたいと考えています。(70代・男性)
- ・ まずは自分が部落差別をしない、というのが一番重要である。日常生活で差別の話題になる事が少ないので、やはり学校や職場での同和問題に対する意識の向上を図るべきである。  
(20代・男性)

### (3) 現状維持や消極的・否定的考え（4件）

- ・ 部落差別は私の子どもの頃と比べれば、徐々になくなってきていると思う。むしろ別な差別が出来てきているのではないかと思う。(50代・男性)
- ・ 学校というより家庭で、部落差別の話を子どもにしない方が良い。(部落差別)  
(60代・女性)

### 3 わからない・関心がない（11件）

- ・ 身近に人権・部落問題がないのでよく分かりません。(70代・男性)
- ・ 知らないだけかもしれないが、周りにあまり悩んでいる人がいないので特に分からない。  
(70代・女性)

### 4 その他（6件）

- ・ 人権侵害や差別は多かれ少なかれ必ず存在すると思う。侵害された人は、弁護士等に相談し、ペナルティーを与えて強制力を与えた方が良い。(50代・男性)

**問43 人権問題や同和問題(部落差別問題)、人権・同和教育について感じていること、普段考えていることがあったら記入してください。**

● この設問では、全体で161件の回答があり、主な意見については、次のとおりである。

#### 1 人権問題・人権教育について（125件）

##### (1) 現状・課題等（69件）

- ・ 人種差別は日本のみならず世界中で起こっています。教える大人が少ないが、小さい頃から道徳教育を行う事が重要である。本当の道徳とは安心・平和・幸福が永久的に続く事である。(70代・男性)
- ・ 罪を犯した人に対して、人々や行政の風当たりが強いと思う。家庭環境が悪かったり、病気等の理由があるだろうに本人が全て自分の意志で行動していると思われている。  
(20代・男性)
- ・ 自分がその立場だったらどう思うだろう。自分が嫌な事を言われたり、されたりして傷つく事は同和問題に限らない。常に相手の立場に置き換えて考え、行動していく。感情的な言動や行動はとらない。問題のある言動や行動を繰り返す人のほとんどは問題があったと認識できていないと思うので、もし自分が差別された場合、毅然とした対応をしたいです。  
(50代・女性)
- ・ 教育の機会があったとしても、教育する側が人権に理解を示さないまま教育するようでは、本当の意味では伝わらないし、教育にならないと思います。一人一人自分から差別につい

て理解しようとする姿勢が必要ではないでしょうか。(30代・女性)

- ・ LGBT に関しては、私自身受け入れできない気持ちがあります。ただ、差別的な行動はしないよう気をつけています。(60代・男性)
- ・ なぜ差別がなくなるのだろうかと考えた事がある。もし自分が人権侵害にあったらと考えればいいのと思った。人権侵害にあった人のために何も出来ない自分が嫌と感じる。力になりたいと思う。(20代・女性)

## (2) 取組方について (46件)

- ・ 人権問題の講演会に参加しても、その参加者の少なさに驚きます。また、特別な支援を要する児童に対するいじめが多い事、顔の見えないSNSを使ってのいじめ等も減らない事等も気になります。やはり堅苦しい講演会では、人は中々集まりませんから工夫が必要だと思えますし、やはり学校教育・家庭教育が重要だと思っています。(50代・男性)
- ・ 私は凶悪な殺傷事件がある度に、犯人のその生い立ちや生活環境を考えてしまいます。決して恵まれた生活ばかりではありません。身内・職場・学校等それぞれの間関係の中で、散々いじめられ、蔑まれた人も多いです。このような事も人権というものがないがしろにしてきた結果だと思っています。一人一人の思いやりこそ、生きていく上で一番必要な事だと思っています。  
(50代・男性)
- ・ 身内に性的少数者(LGBT)がいるので、周りや自分は受け入れられるけど、他人からしたら理解を得られないと思う。そういった情報をTVやSNSで得られる比較的若い世代にとってはある程度の理解はあると思うが、対象者がどこにいても過ごしやすい環境づくりをお願いしたい。今の世代が上になるまでは難しいのかもしれない。(20代・女性)

## (3) その他 (10件)

- ・ 昔からある問題で新しく発生する訳ではないから、あまり問題にすべきではないし、子どもには教えることもない。(30代・男性)

## 2 同和問題 (部落差別問題) ・ 同和教育について (23件)

### (1) 現状・課題等 (7件)

- ・ 遠くからお嫁に来て同和を初めて知り、今時この様に差別されるのかと驚いた。そこの出身という事で何も悪い事をしていないのに陰口を言われるのは誤っているし、可哀想だと思います。(60代・女性)
- ・ 部落差別という問題が昔からある事は知っているが、詳しい内容までは知らない。どのような歴史背景があり、どんな扱いを受けたのか等全然分からないが、なぜそんな事をする必要があったのかという所からして疑問である。島流しとか関係しているのだろうか。でも今どう思

うのかと聞かれれば、住んでいる場所がどうかくだらないし、人が住んでいる所に対して興味ないし、例えその場所の人だからといって何も思わない。好きでそこに住んだ訳じゃない人もいるんだろうし。大昔の人の問題を現世まで代々引きずるのはおかしい。(30代・女性)

- ・ 私の大親友が結婚した当時の話を涙ながらに話してくれました。それは同和問題(男性が差別を受けていた)でした。何の欠点もない人同士が周りから反対される。こんな話は許されることではありません。現在二人は幸せいっぱいです。(30代・女性)

## (2) 取組方について (8件)

- ・ 昔何を仕事にしていたのか、地域でそんな理由で差別されていい訳がないと思います。自分は20代後半ですが、自分の周りに部落差別はほぼありません。年寄りが噂しているのは聞いた事ありますが、学校での人権の講話等はすごく効果があると思います。“部落＝タブー”と考えること事態が差別だと思います。自分達“ゆとり世代”が部落差別をなくせるように努力する必要があるんだと、このアンケートで再認識させられました。(20代・男性)

## (3) あまり問題にする必要はないという考え (3件)

- ・ 若い世代や子ども達は、部落差別という事が遠い事のようにすでに身近ではないと思います。逆に差別をしないように伝える事で、差別する事に意識がいかないか心配です。  
(40代・女性)
- ・ 部落差別問題は私の集落にもありますが、全然気にせず同じように接しているし、皆さんの集落でもそうになっていくと思います。(60代・女性)

## (4) 話題にしなれば自然になくなるという考え (3件)

- ・ 同和教育も必要と思うが、今の若い人はあまり気にせず付き合っているので、年寄りがいなくなれば自然に消滅するようにも思う。また友人関係も社会人になっても良い関係になってきている。(70代・男性)

## (5) 被差別部落の人について (1件)

## (6) その他 (1件)

## 3 わからない・関心がない (9件)

- ・ 普通に生活してきた中で、身近に体験した事も聞き及んだ事ありませんので、全く何も考える機会がありませんでした。今後もそうと考えます。(60代・女性)

## 4 その他 (4件)

- ・ 生きているだけで素晴らしい事なのに、わざわざケチつけないでほしい。個性があるから世界は楽しい。(30代・男性)

### Ⅲ 調査結果のまとめ

#### 1 人権全般について

人権が尊重されている市であるかでは、「尊重されていると思う」が23.3%で前回調査と比べ4.6%増加した。しかし、「わからない」の割合は27.2%で前回調査と同様に高くなった。年代別では「尊重されていると思う」は20代で30.2%と高く、対して60代は16.7%と各年代で一番低くなった。

人権問題への関心では、「かなり関心がある」と「少し関心がある」の合計が77.5%と前回調査と比べ4.8%増加し、年代別では20代と40代が8割を超えた。全体的に関心はやや高まっていることから、家庭における人権教育の推進や若年層を対象としたイベントで講演会を開催するなど、多様な方法を用いた啓発活動を行うことにより、一人一人の人権意識をさらに高め、人権への理解を深めることができると考えられる。また、関心が低い年代では、人権に対しての気づきや、興味関心を持ってもらえるような発信をしていかなければならない。

関心のある人権問題では、「障がいのある人の差別問題」59.0%、「インターネットによる人権侵害」48.4%で続いている。前回調査でも「障がいのある人の差別問題」の関心度は最も高かったが、「インターネットによる人権侵害」が前回調査と比べ17.5%から大幅に増加したのは、インターネットの飛躍的な普及と実際に起きたインターネットによる人権侵害の事例が各方面で取り上げられたことが要因だと推測される。また、今回調査で新たに加えた「刑を終えて出所した人の人権問題」「東日本大震災に起因する人権問題」「LGBT（性的少数者）の差別問題」では比較的関心が高い結果となった。

「アイヌ民族差別問題」「エイズ患者・HIV（感染者）問題」「ハンセン病問題」「新潟水俣病問題」への関心は身近に感じていないためか10%を下回った。

人権侵害の有無では、「ある」が27.8%と前回調査と比べ4.8%増加し、その内容は「噂、悪口、かげ口」49.7%、「職場や家庭での様々なハラスメント など」33.7%、「仲間はずれ、嫌がらせ」24.1%、「職場での不当な待遇」21.8%で続いた。

男女別では人権侵害の有無で、「ある」は女性が30.4%で男性より5.6%高く、その内容は「職場や家庭での様々なハラスメント」「ドメスティック・バイオレンス」で女性が男性より高くなった。様々なハラスメントやドメスティック・バイオレンスの多くは女性が被害者であることが要因と考えられる。

年代別では人権侵害の有無で、「ある」が20代で41.9%と高く、その内容は「噂、悪口、かげ口」66.7%、「仲間はずれ、嫌がらせ」44.4%が他年代層より高くなった。一方、人権侵害の有無は年代が上がるにしたがい「ある」が減少し、70代では18.6%となった。20代と70代で差がついたのは、携帯電話などによるSNS等のソーシャルメディアの利用

頻度の高さが一つの要因と考えられ、問3の関心のある人権問題で「インターネットによる人権侵害」が大幅に増加しているのも頷ける。

人権侵害を受けた場合の対応では、「身近な人に相談する」62.8%、「友人、同僚、上司に相談する」39.6%、「自分で処理（解決）する」24.0%で続き、「友人、同僚、上司に相談する」は前回調査と比べ6.4%増加した。「市役所に相談する」15.9%、「県に相談する」2.4%、「警察に相談する」17.1%、「人権相談所に相談する」14.7%、「法務局に相談する」2.3%など、公共の相談窓口を利用すると回答した人は、前回調査と同様に低くなった。公共の相談窓口の周知・充実を図り、相談先として活用してもらうように取り組む必要がある。

## 2 女性の人権について

女性の人権で尊重されていないことでは、「男性との給料の格差」32.7%、「女性の仕事や役割を固定化させること」28.7%、「職場などにおけるセクシャル・ハラスメント」24.4%で続いている。「職場などにおけるセクシャル・ハラスメント」は前回調査と比べ6.3%増加した。性別による給与格差については、企業等の人権意識を高めるための啓発や人権課題に取り組む企業に対して、どのように支援していくかが今後の課題である。

また、前回調査と比べ増加した、セクシャル・ハラスメントや今回調査で新たに加えたドメスティック・バイオレンスは重大な人権侵害であるという認識を周知・啓発をしていくことが必要である。

女性の人権を守るために必要と思われることでは、「男女両方を対象に仕事と家庭の両立を支援する体制をつくる」48.5%、「学校で男女平等について教える」39.2%で続いている。「学校で男女平等について教える」が前回調査と比べ8.0%増加していることから、学校での授業のほか、学校生活においても男女の役割分担を同じにするなど適切な教育が求められている。男女別では、「家庭での負担（家事など）を夫にもっと担ってもらう」は女性が39.6%で男性より14.6%高くなった。「男は仕事、女は家庭」といった男女の役割を固定的にとらえる意識が男性に依然として残っていることが要因と思われ、家庭や職場において様々な差別を生む原因になっている。

## 3 子どもの人権について

子どもの人権で尊重されていないことでは、「子ども同士の暴力、仲間はずれ、無視などのいじめ」47.7%、「いじめをしている人やいじめられている人を見て見ぬふりする」35.6%、「親・同居者が身体的、心理的に虐待する」33.0%で続き、「親・同居者のしつけでの体罰」は前回調査に比べ6.3%増加した。

いじめと児童虐待に関するものが前回調査と同様に関心が高く、学校や家庭において

相手に対する「思いやり」や「やさしさ」などの人権教育・人権意識の向上が不可欠と考える。

子どもの人権を守るために必要なことでは、「家庭内の人間関係の安定」が57.4%と突出して高くなっている。いじめや児童虐待の背景が家庭でのストレスや人間関係に大きく影響していると考えているからではないかと思われる。また、年代別では「指導者や教師の人間性及び資質の向上」が40.5%と子どもを持つ親の世代である40代から60代で高くなった。子どもや家庭内の問題は複雑・多様化しているため、いじめなどの早期発見・早期対応、また、子どもや家庭に対するきめ細かな支援や相談体制の充実などが期待されていると考えられる。

いじめ問題をどのように思うかでは、「いじめる児童生徒が悪い」44.1%、「いじめる児童生徒が悪いが、いじめられる側にも原因がある」33.4%で続いている。

文部科学省のいじめ問題に関する基本的認識のなかでは、「どのような社会にあっても、いじめは許されない、いじめる側が悪いという明快な一事を毅然とした態度で行きわたらせる必要がある。」とされていることから、いじめは人間として絶対に許されないとの認識のもと、子どもたちが周囲の友人や教職員と信頼できる関係のなか、安心して過ごせる環境づくりを進める必要がある。近年では子どもたちが、SNSや無料通信アプリを利用する機会が増加しており、生活スタイルや人間関係づくりに多大な影響を与えている。一方、これらを使用し特定の子どものための誹謗・中傷が行われるなどの「ネット上のいじめ」という、新しい形のいじめ問題が深刻化していることも課題として大いに考えていかなければならない。

#### 4 高齢者の人権について

高齢者の人権で尊重されていないと思うことでは、「悪質商法による高齢者の被害」が33.6%で前回調査と比べ9.1%増加し、年代別では20代と30代で高くなった。高齢者の一人暮らしや高齢者世帯が増え、その高齢者を狙った悪徳商法や振り込め詐欺などが多発しているため、被害の心配をした高齢者本人及びその家族が前回調査より増加したのが理由ではないかと考えられる。次いで「高齢者が暮らしやすい街づくり・住宅づくりが進んでいない」が30.0%で、年代別では50代と60代で高くなった。高齢者になったときの体力の低下、病気、ケガにより動けない生活になったときの不安が要因ではないかと考えられる。

高齢者の人権を守るために必要なことでは、「緊急通報体制など、高齢者の見守り体制の強化」28.4%、「生きがい対策の整備充実」27.7%、「介護・緊急救急体制の整備」23.3%、「高齢者に配慮した防犯・防災対策の充実」22.1%、「病院・福祉施設での対応改善」20.8%で続いている。高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援の目的のもと、住み慣



れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築の実現を目指した取組を進める必要がある。

## 5 障がいのある人の人権について

障がいのある人の人権が尊重されていないと思うことでは、「働ける場所や機会が少なく、また不利なことが多い」52.0%、「障がいのある人に対する人々の理解が不十分」43.0%で続いている。

障がいのある人の人権を守るために必要なことでは、「就職機会の確保」43.8%、「福祉施設の充実」35.5%、「障がいのある人への配慮した防犯、防災対策の充実」は前回調査に比べ6.4%増加し25.8%で続いている。障がいのある人の社会参加への意識の高揚を図るため、働ける環境づくりや生活支援の取組、また、ノーマライゼーション（障がいのある人が障がいのない人と同等に生活し、ともにいきいきと活動できる社会を目指す）の理念を定着させ、家庭や学校、地域全体で障がいのある人に対する関心や理解を深めていくことが必要である。また、近年では、毎年のように全国各地で自然災害による甚大な被害が発生しているため、災害発生時から避難方法や避難所での生活の対応など、障がいのある人への配慮した防災対策を進める必要がある。

## 6 同和問題（部落差別問題）について

### (1) 同和問題（部落差別問題）に対する意識の現状

同和問題（部落差別問題）の認識度では、「知っている」50.9%、「聞いたことはあるが詳しくは知らない」33.3%で、何らかの形で知っている人は84.2%となった。年代別では「知っている」が50代以上で5割を超えたが、一方で「知らない」と回答した人は14.6%で、40代以下では2割を超えている。

同和問題（部落差別問題）を知ったのはいつ頃かでは、「はっきりおぼえていない」を除くと「小学生の頃（6歳～12歳未満）」23.5%、「中学生の頃（12歳～15歳未満）」16.4%で続いた。

同和問題（部落差別問題）を知ったきっかけでは、「はっきりおぼえていない」を除くと「家族から聞いた」23.9%、「学校の授業で教わった」12.0%で続いた。「家族から聞いた」「親戚から聞いた」「近所の人から聞いた」「職場の人から聞いた」「友人や先輩から聞いた」など周囲の人から聞いたと回答した人の合計は47.6%に対し、「学校の授業で教わった」12.0%「同和問題の集会や研修会で知った」1.9%「県や市町村の広報誌や冊子で知った」1.1%の合計は15.0%と低い結果であった。年代別でみると、20代では「学校の授業で教わった」が56.7%であり、学校での同和教育の成果が表れている。「知った

のはいつ頃か」と「知ったきっかけ」の結果を年代別で見ると、30代以下が「小・中学校の頃」に「学校の授業で教わった」の割合が高く、40代以上は「小・中学校の頃」に「家族から聞いた」が高い結果となった。

同和地区（被差別部落）の成り立ちの受け止め方では、「わからない」が39.6%で前回調査に比べ6.3%増加し、年代別では、「わからない」の割合が30代と40代、70代で他年代層よりも高くなった。これは、同和問題（部落差別問題）を知ったきっかけの約半数が家族や友人、先輩から聞いたなど周囲の人になっていることから、複数の人からさまざまな成り立ちを聞いたことにより、何が本当の成り立ちなのかが分からなくなっているのではないと思われるため、引き続き、同和地区（被差別部落）に対する正しい知識と理解の啓発・教育に取り組む必要がある。

## (2) 結婚に関すること

結婚相手が同和地区（被差別部落）出身の人かどうか気になるかでは、「気にならない」が71.5%で前回調査に比べ5.3%増加した。年代別では30代以下が8割を超え、50代、70代は6割台で大きな差がついた。これは、若年層では小・中学校での同和問題学習により、正確な知識や理解を深める取組が進められた成果だと考える。

結婚相手が同和地区（被差別部落）出身の人か気になる理由では、「自分はいいが、まわり（親、兄弟姉妹、親戚、近所の人など）がいろいろ言うから」が71.5%で、各年代でも高い割合になった。

未婚者に対して質問した、自身が同和地区（被差別部落）出身者との結婚に反対された場合では、「家族を説得して結婚する」38.5%、「自分の意志を貫いて結婚する」29.6%と続いた。一方で「反対があれば結婚しない」7.0%、「絶対に結婚しない」0.9%、「わからない」21.6%を合計すると約3割を占めた。憲法第24条では「婚姻は、両性の合意のみに基いて成立し…」と定められているが、現実には本人の問題だけでなく、まわりの人（親、兄弟姉妹、親戚）によって影響を受ける場合もあるため、結婚差別は重大な人権侵害で、ときには人の命を奪うことがあるということを引き続き周知・啓発していく必要がある。

## (3) 同和問題（部落差別問題）の正しい理解のために

村上市における同和問題（部落差別問題）の認知度では、「あると思う」と「ある」の合計が59.4%となった。年代別では30代以下で「あると思う」と「ある」の合計と「ない」と「ないと思う」の合計は大きな差が見られないが、40代以上で「あると思う」と「ある」の合計が高い傾向となった。

同和問題（部落差別問題）の解決には教育や啓発が大切では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計が71.1%となった。年代別では20代で「そう思う」と「ど

ちらかといえそう思う」の合計は 83.6%と高い割合となったが、年代があがるに従い低くなる傾向となった。40 代以上では村上市の同和問題の認知度は高いものの、その教育や啓発の大切さの割合が低いのは、「寝た子を起こすな論（そっと放置しておけば、自然に解消する。知らない人にわざわざ知らせ差別意識を目覚めさせしまうという考え）」が残っているためと考えられる。

同和問題(部落差別問題)は、誤った知識を持っている人から誤った情報が広がってしまうと、差別を助長させることにもなりかねないため、人権教育・啓発活動及び学校での同和教育を引き続き推進していかなければならない。

## 7 外国籍住民の人権について

外国籍住民の人権では、「わからない」34.2%、「外国籍住民の人権は日本人よりも尊重されていない」20.9%で続いている。「わからない」「国籍住民について、あまり人権にこだわる必要はない」「特になし」を合計すると回答の6割弱を占めていることから、関心の低さを表している。年代別で「外国籍住民の人権は日本人よりも尊重されていない」が20代で43.0%と他年代層より大幅に高くなったのは、インターネット上の掲示板などにヘイトスピーチの書き込みがされることがあり、利用頻度の高い20代の目に触れる機会が多いのが一因だと考えられる。

外国籍住民の人権を守るために必要なことでは、「日本人が外国籍住民の事情を理解する」43.7%、「日本人・外国籍住民ともにお互いの情報を提供する」39.0%、「外国籍住民との交流の機会を増やす」31.7%、で続いた。「日本人が外国籍住民の事情を理解する」は前回調査に比べ6.2%増加し、年代別では30代以下で半数を超えた。村上市の外国人籍の居住者は25カ国、345人(R2.10.1現在)と年々増加しているなか、特に若年層にあっては、子どもの頃から外国籍の人と触れ合う機会が多くあり、多文化共生社会(国籍や民族の異なる人々が、互いの違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら生きていける社会)の考え方について浸透しているため、関心が高くなっているのではないかと考えられる。

## 8 インターネットによる人権侵害について

インターネットによる人権侵害では、「ある」が53.1%で前回調査と比べ20.9%増加し、年代別では50代以下で7割を超え、30代では約9割を占めた。

どのようなことで、そう感じたかでは、「悪口や一方的に攻撃するような内容の掲載」が86.7%で前回調査に比べ9.9%増加し、年代別でもすべての年代で8割を超え最も割合が高くなった。男女別では、男性は「差別的な発言をネットワーク上で発信する」、女性は「個人情報や写真、音声などを当人に無断で公開」が高くなった。

インターネットによる人権侵害をなくすために効果的なことでは、「罰則の強化」が最も多く 56.1%で前回調査に比べ 17.3%増加した。

インターネットの普及によりコミュニケーションの場は広がったが、誹謗中傷などの書き込み、ネット上のいじめ、新型コロナウイルス感染症による医療者・従事者などへの差別、プライバシー情報の無断掲示、同和問題（部落差別問題）を助長する書き込みなど匿名性を悪用した被害は増加・深刻化しているため、「罰則の強化」により人権侵害の抑止につなげたいとの表われから割合が高くなっていると思われる。

## 9 LGBT（性的少数者）の人権について

LGBT（性的少数者）の人権で尊重されていないと思うことでは、「LGBT（性的少数者）に対する人々の理解が不十分」が 47.6%で圧倒的に高く、次いで「じろじろ見られたり、避けられたりする」27.5%、「ひどいことを言ったり、無視、虐待をしたりする」22.0%で続いた。若年層は学校の授業で取り上げられるようになっていることから、ある程度の知識を持っているかもしれないが、学習の機会がなかった中高年層以上では知識や理解が低い可能性がある。特にトランスジェンダーは性自認と身体的な性が一致していない人の全般を指し、複雑で理解が難しいという方もいることが考えられるため、周知を目的とした教育や啓発を考えていかなければならない。

LGBT（性的少数者）の人権を守るために必要と思われることでは、「学校等、子どものころからの教育や啓発」が 47.6%で最も多くなった。年代別でもすべての年代で「学校等、子どものころからの教育や啓発」という考え方が多いことから、早い時期からの教育によって理解を深める取組をしていくことが必要である。LGBT（性的少数者）について学校教育で取り上げる場合には、正確な知識を伝えるとともに、差別的な発言をするのは人権侵害にあたること、LGBT であることはおかしいことではないことを理解してもらう必要がある。また、次いで「法制度の整備」も 32.4%と高い割合となっていることから、法制度の整備がされ、行政による支援が求められているのではないかと考えられる。

## 10 身元調査について

身元調査では、「どちらかといえば、必要だ」が 37.4%で最も高く、「当然必要だ」7.0%を含めると、44.4%の人が身元調査を容認する結果となった。

本人の経歴や思想・信条、家柄、資産などを調べる身元調査は、プライバシーの侵害や結婚差別、就職差別などの人権侵害につながるため、「身元調査は差別行為・人権侵害である」という認識を周知・啓発していくことが必要である。

「住民票の写し等に係る本人通知制度」を知っているかでは、「知らない」が 76.2%で最も高く、年代別でも 70 代以外の各年代で 8 割台となった。

この制度は、住民票の写しなどの不正請求や不正取得を抑制し、個人の権利侵害の防止を図ることを目的としており、本市では平成 28 年 8 月 1 日より実施しているが、制度については浸透していない結果となった。

多くの人登録することにより、不正取得する側が警戒し不正取得を抑止する効果が期待できると考えるため、多くの人に周知し本人通知制度の登録者を増加させる取組を推進する必要がある。

## 1 1 差別を解消するための法律について

差別を解消するための法律では、「知らない」の割合が「障害者差別解消法」62.6%、「ヘイトスピーチ解消法」64.6%、「部落差別解消推進法」61.6%とすべて高い割合を占めた。差別を解消するための3つの法律は平成28年に施行されたが、認知度は低い結果となっているため、この3つの法律の周知を目的とした教育や啓発を課題として考えていかなければならない。

## 1 2 人権問題に関する講演会・研修会について

人権問題に関する講演会・研修会では、「参加したことがない」が71.7%で前回調査に比べ6.6%減少したが高い割合となった。また、「1、2回参加した」は前回調査と比べ6.9%増加しているが、「3～9回くらい」と回答した人は前回調査と比べ大きな差は見られなかった。参加の機会や参加人数を増やすことはもとより、講演会等への参加回数を増やすため、どのような取組を進めていくかが大切であり、今後の大きな課題である。

参加した研修会では、「学校やPTA主催」が48.2%で前回調査に比べ15.1%増加し、年代別でも50代以下で最も高くなった。「県、市町村主催」は70代、「職場や職域団体主催」は60代で他年代層より高く、それぞれの年代で参加先に違いがあることが分かった。回答の約半数は「学校やPTA主催」で参加したが占めており、問40の学校で人権・同和教育の実施でも、「積極的に行うべき」という考えが37.4%で多くみられることから、就学前の早い時期からの発達段階に応じた教育によって差別や偏見の解消について教えていくことが必要である。

人権講演会等に参加したことがない理由では、「特に理由はない」が47.6%で最も高かった。問2の人権問題への関心では「かなり関心がある」と「少し関心がある」の合計の割合が高かったが、参加したことがない理由では「特に理由はない」となった要因は、問4の人権侵害の有無で「ない」「気づかなかった」と回答している人が7割弱を占めていることから、「自分には関係ないもの」「関心はあるが、何となく難しい」と捉えている人が多いからではないかと考えられる。

講演会等の開催については、2020年上半期頃から新型コロナウイルスの感染症対策と

して、インターネット上でオンライン講演会等が行われている。これは感染症対策だけに限らず、パソコンやスマホなどがあれば、誰でも、どこからでも、気軽に参加することができるため、今後、積極的に取り入れていく必要がある。

### 1.3 おわりに

市民の人権問題に対する意識の現状を把握し、今後の人権施策を効果的に推進していくうえでの基礎資料にするため、「人権に関する市民意識調査」を実施した。この調査の結果から見えてきた多くの人権課題については、「第2次人権教育・啓発推進計画」の策定に生かし、一人一人の人権が尊重される社会づくりに向け、人権教育・啓発を推進していくことが必要となる。

この意識調査の実施にあたりまして、ご協力いただきました市民の皆様をはじめ、本報告書の作成にご尽力いただきました関係者の方々に対し、心からお礼申し上げます。

◎ 村上市人権教育・啓発推進計画策定委員名簿

氏 名	所 属	備 考
渡 辺 豊	新潟大学 法学部長・教授	委員長
野 田 尚 道	NPO 法人自殺防止ネットワーク風	副委員長
稲 葉 眞知子	村上人権擁護委員協議会	
室 橋 春 季	新潟県人権・同和センター 事務局長	
小 池 武 志	部落解放同盟新潟県連合会 書記長	
細 野 清 子	村上市民生委員・児童委員協議会連合会 主任児童委員	
山 口 治 雄	第2次村上市男女共同参画計画策定委員会 会長	
菅 静 子	村上・岩船地域自立支援協議会 会長	
片 桐 博 文	村上公共職業安定所 求人・学卒部門 総括職業指導官	
高 橋 明	平林小学校 校長	
宮 川 佳代子	神林中学校 校長	
小 池 ユリ子	部落解放同盟新潟県連合会 湯ノ沢支部長	

◎ 事務局

氏 名	所 属	備 考
八藤後 茂 樹	市民課長	
林 洋 一	市民課 生活人権室長	
本 間 武 志	市民課 生活人権室 係長	
菅 原 明	学校教育課長	
船 山 幸 文	学校教育課 教育総務室長	
板 垣 敏 幸	生涯学習課長	
太 田 秀 哉	生涯学習課 社会教育推進室長	

村上市人権に関する市民意識調査結果報告書

発行 令和3年（2021年）4月  
編集 村上市・村上市教育委員会